

激江

'90

大阪経済大学同窓会



グラフィア 新構想へ向け、さらに前進 … 1

特集 座談会 明日へ向かう、大阪経済大学 … 3
— 新学科増設と将来計画 —

◆ キャンパスだより … 16
究極のゼミ探し・勉強だけのゼミなんかいらぬ
監督紹介・陸上競技部監督 八木田恭輔氏 … 20

◆ 同窓会本部だより … 22

◆ 学園の近況 … 28

◆ ゼミ短信・先生の近況 … 41

◆ 同期生クラブOB会 … 50
卒業生直撃インタビュー
大阪府花の万博儀典長 山口義孝氏 … 58
国際証券㈱社長 松谷嘉隆氏 … 59
㈱幸福銀行取締役企画調査部長 坂口良三氏 … 59
箕面市議会議長 西河哲三氏 … 60

◆ 北から南から … 62
話題の同窓生 丹有支部 円増浩之氏 … 62
" 東海支部 河盛富三氏 … 63
" 北海道支部 長崎史明氏 … 64

◆ 事務局だより … 71

民学的精神のもと

新構想へ向け

さらに前進しよう

学校法人 大阪経済大学 理事長 鈴木 亨



F館(経営情報学科新館)完成模型



作者よりのメッセージ

日本画への転向は速水御舟画伯『名樹散椿』との出会いでした。山種美術館において実物の絵を前にした時、しばし動くことも出来ない程の感銘を受けました。その椿のモデルは京都の地蔵院、通称椿寺にあり、400年前加藤清正が朝鮮から持ち帰ったと言われたものです。惜しくも10年前に枯れてしまい今はその子供が前庭で大事に育てられています。私の作品はその子供をモデルにしたものです。「近寄ると根が痛むさかい遠くから画いとくれやす」と、寺の奥さんに呪まれながらも時々目をぬすんでスケッチした作品です。『名樹散椿』は昭和の日本画で唯一の国の重要文化財になっていますが、私の『散り椿』は、我が家の文化財にしたいくなる程愛着のある作品です。



作者紹介

伊藤雄康(知剛)【いとう・ゆうこう(ちこう)】氏/昭和3年9月28日、大阪生まれ、62歳/昭和25年(16回)大阪経済専門学校卒業、演劇部所属/同年中山製鋼㈱就職、60年9月定年退職、現在喫茶「ぼみえ」を吹田市にて経営/幼少の頃から絵画に親しみ、10年前に洋画から日本画に転向、水墨画もはじめる。昭和60年より毎年吹田市展入選、昭和62年には吹田ロータリークラブ賞受賞/趣味は菊作り、ゴルフ、謡曲、小唄/一男一女、吹田市在住、「ぼみえ」ではママの絵画、写真、工芸等の作品を展示、市民の安らぎの場となっている。



▲総会(支部長紹介)



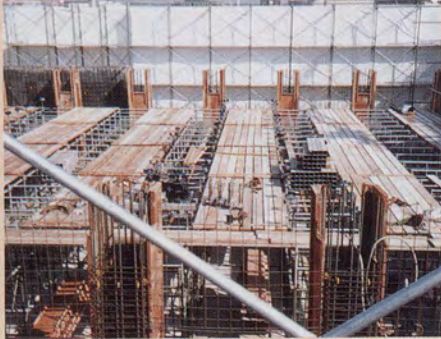
▶パーティ(鏡開き)



▲展示・茶席



◀受付(吹奏楽総部演奏)



▲F館(経営情報学科新館)工事風景

特集
座談会

明日へ向かう、大阪経済大学
— 新学科増設と将来計画 —



1990年9月8日(土) 大阪経済大学「同窓会ホール」

- 鈴木 亨 学校法人大阪経済大学理事長
- 山本晴義 大阪経済大学学長・新学科増設準備委員長
- 香川一男 学校法人大阪経済大学理事・教授
- 渡辺 泉 大阪経済大学経営学部長・新学科増設準備委員長
- 磯野 斉 大阪経済大学同窓会会長(3)
- 加藤正秋 同 理事・東海支部長・名古屋文理短期大学講師・元中日新聞記者(10)
- 柴田悦子 同 理事・大阪市立大学商学部教授(14)
- 鶴谷利一 同 常任理事・広報副部長・興国高等学校教諭(28)

オブザーバー

- 田所清市 学校法人大阪経済大学理事・大学事務局長
- 前田悦子 大阪経済大学企画広報課長・同窓会常任理事(13)
- 陰下嘉典 同窓会常任理事・事務局長(16)
- 司会 波根伸俊 同 常任理事・広報部長・大阪経済大学学事課(32)
- 記録 大門由秀 同 広報部・大阪経済大学経理部(46)

司会（波根） 本日は、お忙しい中、同窓会誌「澗江」の特集座談会にお集まりいただき、どうもありがとうございます。

おかげさまで「澗江」も、母校の五十周年を機に「デラックス版」になりました。卒業生ならびに母校教職員にも親しまれる雑誌として毎年発行を続けております。

さて、現在5万名を超えます卒業生は非常に母校の発展、隆盛を願い、その母校の一挙手一投足に大きな関心を払っております。また、母校は、まもなく（2年先に）60周年を迎えるわけですが、ちょうど時を同じくして18歳人口の激減期が訪れるということもあります。そんな時、新聞紙上でもご存じのように、来春、母校に新しい学科が増設されるということがございます。

そこで本日は、母校と同窓会の代表者にお集まりいただいて、「明日へ向かう、大阪経済大学—新学科増設と将来計画—」というテーマで十分お話し合いたいと思います。読者に明日の母校がどう変わっていくのか、そういう夢をお伝えしたいと思っております。

それではまず、鈴木理事長より長期的な大学経営についての抱負をお話してください。

塾的精神から新学部構想へ

鈴木理事長 どの私立大学でも皆それぞれ個性というものを持っているわけでありまして、本学も黒正先生が開かれてそのモットーとさ

れるところは、「自由と融和の精神」ということが中心になっております。

翻ってみますと、江戸時代、徳川幕府は言わば官立の大学、そういった学問が中心になっておりました。それに対して関西のほうは、町衆の塾が中心になっておりました。江戸時代、皆さんよくご存じのように、緒方洪庵の開いた適塾とか、あるいは中井覺庵が町人の出資を得て設立した懐徳堂などがござい



鈴木理事長

そういう塾で町衆の人たちが働きながら研究する。そして、決して関東の江戸幕府に劣らない人物を出しておりました。緒方洪庵の適塾からは大村益次郎であるとか、その他明治維新を推進した錚々たる人物が出ています。また、懐徳堂からも多くの人材が出ております。そういう意味で関西というのは、特に大阪は江戸幕府の官学に対してむしろ民学の精神を持っていて、塾的精神を持っていたという



▲国際文化公園都市中心地区、施設導入地区のイメージ図

るというふうな長期的なものであります。それで、私どもはそれにどう対応するかというのを考えまして、学内に企画検討委員会を設置し、理事長・学長名で諮問いたしました。そして、それに対する「答申」を昭和63年9月16日に得ました。

その答申は、短期・中期計画、長期計画の二つに分かれておりまして、その短期・中期の構想の中に大隅キャンパスの整備ということと、それから新学科増設というものが含まれております。さらに教学を中心として、直ちに解決すべき問題がいろいろあります。

長期計画でありますけれども、この計画は新学部の増設。従って、その新学部構想は、先ほどの国際文化公園都市と称される茨木の校地へ移転しようという構想でございます。

そういう構想を実現するために、昨年から理事会ではまず新学部の増設。その短期・中期計画の実現としての経営情報学科を新設するというのを、基本方針に従って進めてまいっております。その詳細は渡辺経営学部長に話していただきたいと思っております。それから、茨木への移転については香川理事からお話していただけたらと思います。

そこに校舎の模型がありますが、それが理事会が考えている経営情報学科の建物（3階建）でございます。その教育の構想とかはまた学長からお話があると思っております。

本学は民学的精神を持った塾的精神のもとに、小人数でできる細かい教育をしてみましたけれども、これから国際文化公園都市の構想に乗って新しい学部をつくって、そしてその精神を生かしながらさらに前進していきたい

いというふうな考えているしだいで。

茨木校地への戦略的展開

司会 ありがとうございます。

まず長期計画では、今お話のありましたように、茨木に校地があつて、その活用ということが同窓生にとつても興味があるんじゃないかと思っております。その茨木校地の今後の活用、あるいは現在の状況等を香川理事のほうからご説明いただきたいと思っております。

香川理事 今理事長から、「将来計画に関する答申」が出て、その中で全面的移転ということが可能になってきたというお話がございましたが、移転というのは引越しいということだけではなくて、むしろ、国際文化公園都市、学術研究の言わば大阪の拠点となっていく地



香川理事

域に、我々が「いかに戦略的な展開を図っていくか」というふうにとらえております。ですから、もちろんそこへ移って行くことを検討するわけですが、特に、この大隅校地をどういうふうに生かすかということも今後大きな問題になると思います。内容はもちろん決まっておりますが、移転ということとこの現有地の生かし方ということがこれからの検討課題になってくると思います。

司会 では、移転の可能性は十分にある？
香川 はい。

柴田 ちよつと質問をさせていただきたいんですが、これは大阪府の方では、この茨木地域の開発プランというのを持ってるのでしょうか。かなり具体的なものを。



田所事務局長

田所事務局長 それは、大阪府の「開発計画の経過」というのがお手元の資料に載っていますが、1982年8月からこういう形で大隅校が計画を始めたということですが、渡辺経営学部長 江戸文化に対して上方文化の拠点ということですが、意外と今、ご承知の通り大阪市内には大学がほとんどなくなつてしまつた。京都、神戸には文化都市がつくられる。ところが大阪には何もなくなるといふので、こういう計画が浮かび上がってきたように思います。

中々、本学が移転する時には、「文部省が定める広さになるまでの土地はお譲りします」ということになっております。もし我々が行くことと決めれば、最小限、文部省が定める校地基準面積は確保できるわけです。「何坪あるから行ける」というわけではないのです。我々の計画に従って土地の面積が決まることになりません。

渡辺 現実問題といたしましては、大学側としてはこれだけの構想を練るには文部省の設置基準上これだけの広さがある、これだけ

しいということがあるわけです。当然それは買い戻しということになりますから資金がいります。ですから、果たしてこちらが要望しているだけのものを得るのに、本学にその時点で資金力があるかどうかというのが、非常に大きな問題になるわけです。

ただ、設置基準というのは、この12月にまた変更される予定です。ですから、今は校舎面積の6倍の土地が必要になっておりますが、その緩和がおそらく出てくるんじゃないかなということ。そうしますと、12ヘクタールであれば、当初の予定よりもっと多くの学生数を抱えることも可能になるということだと思います。

1学部増えて3学部

山本学長 先般、実は理事長と香川理事と私と事務局とで公団の支社長にお会いいたしました。設置基準に基づいて12ヘクタールというのは、これは当然のことでありましょう。これがなければ結局大学をつくるわけにはいかない。

そこで「答申」では、一応長期的には「国際文化学部」、そしてこの度実現します「経営情報学部」ということになるわけですが、先日9月20日に、教授会で学長が諮問しました国際交流準備委員会の答申が出ました。そこで提案されております留学生・研究生の受け入れ体制や学術交流の諸施設など展望します



山本学長

と、12ヘクタールではとても足りません。「国際文化公園都市」と言ってるわけですから、そこへそれにふさわしい学部ができる、あるいは国際交流センターができるとすれば、大阪府としても、あるいは公団としても、これは願つたりかなつたりじゃないかと思ひます。しかもこちら側は公共的な教育機関でありますから、その趣旨は大いに尊重してほしいということにつきましては、支社長もよく

理解していると言われていました。できるだけフラットな土地をその時点で相談しましょうということ。その点、理事会、教授会とも、全く意見が一致しております。大阪府のほうも協力するということをおっしゃっていただいております。加藤 香川先生のご説明については、一般の卒業生としては全く初耳なんです。だから、卒業生としては、茨木に4万5千坪あると、

広大な大阪経大ができる、それしか思つてないと思ふんです。

基準が緩和されない限りは、今の経営情報学科、定員50名として、これが認められれば、もうそれ以上は学部増も何もできないということですか。

鈴木 ここ大隅校地にいるとするならばね。今香川理事が言われたことは、茨木へ移ればもう1学部増えて3学部ができるということ。この1年以上の苦勞は大変なものでして、その総仕上げとして大阪府副知事の中川さんにお会いすることになってますが、公団関西支社長とトップ会議もしました。「協定書」というものをつくるためにこの1年間で、私も何回か公団の人と会いましたけれども、香川理事は四、五十回公団と折衝しております。

もう喧嘩したり和解したり、その連続でした。だから、皆さんが今聞かれてびっくりされるのも無理ないんですが、この1年間というのは大変なものでした。そしてようやくここまで来れたんです。ですから、「都市開発のために本学の茨木校地の一部は供出します。けれども、大学として3学部を増設してもやっていけるような形をつくってください」と、そういう方向が今できたと言つてよろしいと思ひます。

鶴谷 この9千坪の大隅の土地は全部なくなるんですか。
香川 いえいえ、たとえ移転しましても、こども残すべく努力してまいります。
鶴谷 資金的な面でめどはあるんですか。

国際文化公園都市構想のあゆみ

- 1982. 8 大阪府総合計画において「国際文化ゾーン」の中で「国際文化エリア」に位置付け、国際交流と学術文化活動拠点づくりをめざす。
- 1984. 10 茨木市総合計画において「開発整備ゾーン」に位置づけ、多様な都市機能を持つまちづくりをめざす。
- 1985. 6 箕面市総合計画において「国際交流文化ゾーン」に位置づけ、多彩な国際交流をはかれる拠点づくりをめざす。
- 1986. 11 大阪府が「国際文化公園都市基本構想(案)」を発表。「国際文化公園都市建設協議会」が発足。
- 1987. 3 新しい近畿の創生計画(すばるプラン)において「近畿リサーチコンプレックス構想」の重要なプロジェクトとして位置づけ。
- 1987. 6 第4次全国総合開発計画において「北大阪等における産業、研究開発の複合プロジェクトを推進し、国際的な文化、学術研究の拠点を形成する」と位置づけ。
- 1988. 2 近畿圏基本整備計画において「北大阪での研究開発機能、国際交流機能等特色ある機能を核とした「新しい開発拠点」と位置づけ。
- 1988. 12 国際文化施設地区の現実等をめざして「国際文化公園都市株式会社」を設立。
- 1989. 1 茨木市、箕面市が建設省より「インテリジェント・シティ」の指定を受ける。

香川 あります。それは今申しあげても簡単には説明できませんので、敢えて申しませんでしたが……。

司会 茨木校地に関し、いろいろご苦労いただいていることが良く分かりましたが、本学の特に教学上の計画案を早急にまとめる必要に迫られているように受け取れました。そこで学長に、長期的な教学面での抱負と言いますか、「こういう段取りでこういうことをしなぐちやいかんのだ」ということをお話しただいて、次の短期的な学科増の話に移りたいと思います。

経営情報学科から 国際文化学部への展開

山本 現在、端的に申しまして、国際化と情報化ということを徹底的に先取りしていくということが大学の課題であるというふうを考えております。

教授会サイド、理事会サイド、職員サイドにおきましても、基本的に「答申」を尊重するということが合意されまして、まず短期的なものとして経営情報学科ができます。それは現在の経営学部定員500名。これを二つにわけまして、経営学部経営学科250名、それから経営学部経営情報学科250名とする。

現在大阪市内において、経営情報学部あるいは経営情報学科のある大学は1校もございません。それから、近畿2府4県をみてまいりますとも、4校しかございません。

学科というのができた。三つの科を教えますと、情報処理学科の子はやっぱり頭がいいです。だから、これはもう間違いのないと思うんです。いかにも経大らしい堅実な学科増であるなあと。もう一つ将来計画としては発想を転換して、「こんな考え方があったか」という、何か今ある学部と違うものが出てこないかと思うんですが……。

渡辺 経大らしいというお褒めをいただきましたが、逆に、他の大学で既につくった後から追っかけているという点でも、また経大らしいのでございまして、できればこれからは他がつくる前に、一番最初につくっていききたいというふうには思っているわけです。



渡辺 経営学部長

ですから、今度の新学部構想は、できれば時代の先端を走るようなものを是非考えていきたいと思えます。その引き金に今回この経営情報学科がなってくればと思っております。

18歳人口は平成3年をピークといたしましてそれから漸減していくという状況の中で、私立大学ではサバイバルという問題が前々から叫ばれているわけですが、一方、平成5年度には、情報処理の技術者が20万人不足すると言われていたわけです。受験者が激減すると同時に、情報処理の技術者がマイナス20万人という状態が訪れます。

しかも関西は、ご承知のように例の国際新空港という問題などがございまして、なんらかの形で東京の一極集中を大阪に移していくという問題もございまして、大阪が国際情報文化都市という形で活性化していくためには、どうしても経営情報学科というものが社会的に要望されておるといふ確信に基づきまして、経営学部長を中心に優秀な教授陣を集め来年度から開設するわけです。

経営学部も現在のこういう情勢に対応いたしまして、まだプロセスでございしますが、経済学部のカリキュラムの改訂につきまして委員会をつくって真剣にやられております。例えば近代経済学の充実、あるいは国際関連科目の充実、あるいは情報関連科目の充実等で、いろんなコースを設け時代の要請にこたえるような経済学部にする。なにしろものすごいスピードで情報化、国際化が進んでおりますので、毎年カリキュラムを検討する必要がありますと言っても過言ではないと思えます。

先ほどの新学部問題でございしますが、これは答申では現在36名おおいになる教養部を一つの基盤として「国際文化学部」という名称になっており、教養部でも委員会をつくって

精神的に検討されていますが、この名称はまだ十分討議して合意を得たわけではございません。早急にそれぞれの学部・教養部の代表、理事会の代表、それに事務局を構成いたしまして、全学的な委員会をつくる予定でおります。

少なくとも2年ほどの間に、全学的に協力一致して個人的なカリキュラム、「何学部」というようなことも決め、教授陣も充実していくつもりです。

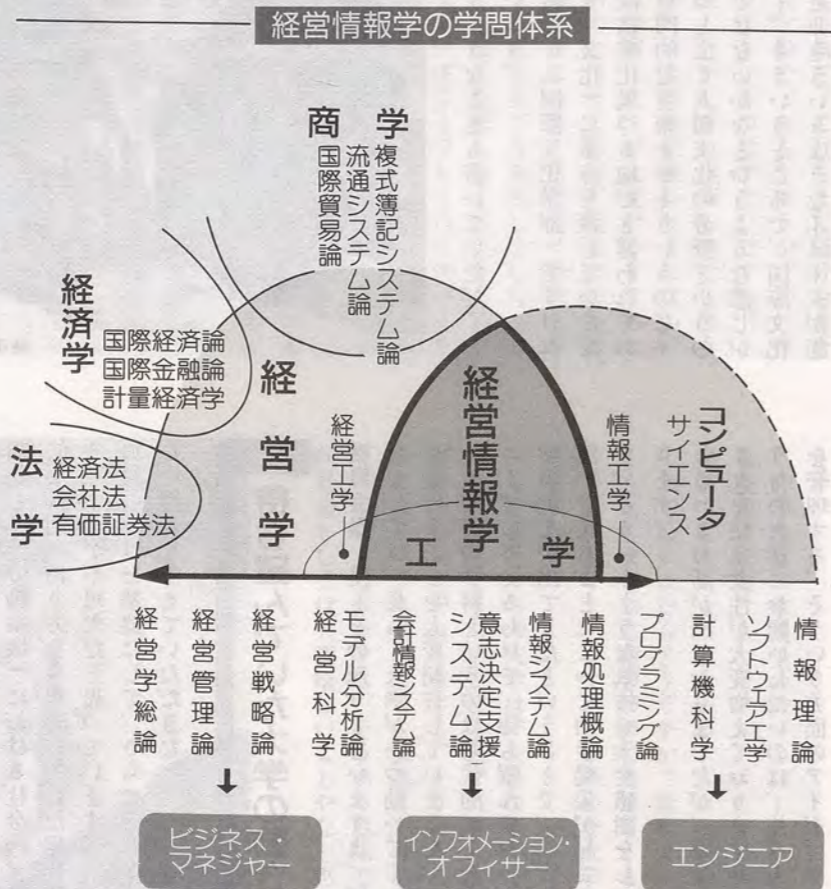
司会 ありがとうございます。それでは目の前に経営情報学科の新館模型がありますが、新学科のことについてお話し合いしていただきたいと思えます。

経大らしい経営情報学科

加藤 端的に申しあげて、僕は非常にいいアイデアだと思つたんです。この経営情報学科というのは、誠に経大らしいですね。要するに、石橋をたたいてお考えになった間違いのない良い方向だと思つたんです。

実は私が今勤めております短大が、3年前情報処理学科をつくつたんです。そうしましたら、その受験生が他の学科より偏差値が0.3高いんですよ。それと同時に、去年から卒業生が出ておりますが、就職がうんと変わってきたんです。今まで少なかった一部上場の企業からの求人申込みが非常に増えました。

今までは生活科学科と食物栄養科と二つだけあつたんですね。そこへ今度情報処理



具体的に経営情報学科がどうなるのかという点では、大阪経済大学は、あくまでも昭和商以来経済・経営系統の専門の大学としてやってまいりましたから、社会科学を基盤に置いた経営情報学科。だから、人間の行動を基盤に置いた、社会科学を基礎に置いた経営情報学を本学の特徴としてやっていきたいと考えております。

鶴谷 OBとして嬉しい限りです。パンフは

高等学校にはもう配布されているわけですか。渡辺 はい。

鶴谷 私のところは商業科のある高校でございすけれども、既に高等学校の場合は生徒数が減るといふ時期に入っており、今特に商業高校で脚光を浴びて毎週問題になるのは、公立、私立とも商業科というのは男子がほとんどいなくなつていく。ほとんど壊滅状態に近い。商業というのは女子と、こういう感じ

が現実にあるわけなんです。そうした中で、私も大阪の商業教育研究会のメンバーですが、調査部会で毎回問題になるのは、商業高校の生きる道というのは、大学への進学あるいはスポーツのどちらかしかない。これに商業高校はどう対応していくのかということをお話し合っておるわけです。

そんなことで、実業高校でもユニークなものを打ち出そうとしているわけなんです。そういった時に、母校に経営情報学科ができるというのは、ある意味では遅すぎたという感もありますが、しかし素晴らしいものができるなああと喜んでる一人でございます。

柴田 私、諸先輩がおっしゃったように、新しい学科の創設に大変期待をしてる一人なんです。以前から同窓会の総会等で山本学長からお話を聞きまして、どういうふうに関心していかのかなと思って大変関心を持って見ておりました。

私の専攻は海上交通ですけども、海運だけやったらもう話にならないんです。物の輸送は海陸通しで行きますからね。空で行って、今度は鉄道に乗り換えて、それから場合によっては海も使つてというつなぎで行きますから、地球が随分小さくなってしまった。そういう時代ですから、やはりこの場合でも鍵は情報なんです。

ただ、情報化時代という人間が介在していく分野が狭くなりがちですので、先ほどからの学長先生や渡辺先生のお話を聞いていてこれは随分期待できるなあと思えました。「この大学の特質というのを忘れないで」とい



磯野 斉

願いたいなど。なにせ人間がやることですから、間違いが当然起こってくる。その間違いをどうコレクトしていくか。そして教えこんでいくか。そういう指導調整する立場の技術者を目指してほしいなど、私はそういうことをお願いしたいと感じておるんです。

鈴木 たぶん経営情報学科ができれば女性がさらに、増えてくるであろうと思います。実は、ここ数年、女性が来ないダサイ大学だと盛んに言われておったんですが、ここ2、3年随分増えてきて、今年なんか女子入学者だけで100名を超えています。

ところが、ウーマン・パワーというのはすごいんですよ。もうそれだけ増えたと思つたら、例えばトイレ。トイレをつくりまして、すぐまた「あんな汚いところどうするんだ」と言われて、もう今はパート並みの化粧室になってます。それから、続いては女子更衣

うふうなお言葉がございましたので、やはり人間が一体それをどう使い、どう判断するか特にどう判断するかという部分がとても重要になってまいりまして、そういうようなことを目頃から感じております。

例えば、消費経済の分野への情報の適用が進めば、女子学生が大変うけるんじゃないかという気がいたします。「女子学生、もつと



柴田悦子

いで」というようなことも書いていただくと嬉しいと思います。

それと、新しい「国際文化学部」ですけども、もつと「文化」に重点を置いていただきたい。大阪は文化果つる地だと言われておりますが、専門的な音楽とかそういうのじゃなくて、もっと広く人間文化の分野というのはこれからはないかなという感じがしております。そういうところで、国際文化学部には、是非そういうようなイメージが膨

らむようなものができる大変嬉しいですね。山本 結局、学部が増えていけば総合大学になるという発想は大学を良くしないわけ、むしろ一体この大学は何を狙おうとしているのかという問題。そうすると、やっぱり経済にしても経営にしても基本的には人間だという本学独自のユニバーシティ・アイデンティティを、しっかり持つ必要があります。確かに、今問題になっている消費生活とか余暇の問題、家族、性、地域社会、環境の問題など「非労働領域」における社会的・文化的な人間のあり方をも視野に入れた総合的なイメージが不可欠だと思っております。

加藤 これを基盤にして、さらにそれから新しい何かを考えていただきたい。

待ち望んでいた大学の動き

磯野会長 僕もその通りと思いますよ。同窓会としては、長らく大学がいつ動いてくれるかということをお待ちしてました。

経営情報学科というのは時代的にも社会のニーズに應えるわけで、待ち望んでおった大学の動きが出てきたということで、全国に「激江」を送ることによって拍手喝采が起るかと、そういうような気持ちで大変感謝をしております。

さつきお話が出ておりましたが、コンピュータを使う女性が大変増えておりますから、うちの大学にお願いしたいのは、使う人たちを管理する、そういう方面のアイデアをお願いします。

ます。

昨年度は、卒業生の37・4パーセントが上場企業に就職しました。

磯野 もうちょっと女子のトイレを今からつくっておかれたらどうですか。来年はおそらくんと女子の志願者が押し寄せてくる、そう思いますよ。ますます華やかな大学になりますね。

もともとうちの大学は、女子によって途切つなぎをしてもらってますね。大変に立派な女子の卒業生がおりますし、そういうことも今度入ってくる学生たちに認識を深めてもらう機会にもなりますし、そういう意味でも同窓会としては大変嬉しいことやなと思

加藤 経営情報学科ができると、就職先が変わってきます。今まで来ない一部上場企業が来るはずですよ。

山本 その点については同窓会にも感謝しなくちやいかんと思うんです。ある週刊誌なんですけれども、そこで全国で100校挙がってるんですけれども、本学は、86年度が部課長の数が171だったのが、90年度は241、それから役員の数も86年度は23人であったのが、90年度に42人というように増えております。

結局就職部の指導もあって、学生がまず行くのはやっぱり先輩のところなんです。先輩のところへ行つて、「この会社はどんな会社ですか」というようなことで、そうすると「何年卒には誰々がおる、それならおまえも来い」ということで、結局卒業生がここだと決めるのは、先輩がおるところというケースが多いんです。本当にありがたいことだと思います。



情報処理授業風景

経営学部にも大学院を

加藤 私は思ったんですが、経済学部と経営学部と、学部としては二つだけです。

鈴木 そうです。加藤 経営学部の中に経営情報学科と経営学科と二つ。どうしてそんなにいいものを学部にされないんですか。そうしたほうがPRがいないんじゃないですか。

山本 急にはできないんですよ。渡辺 やはり平成3年につくるということではありませんから、平成3年となりますと1年しかない。学部申請になりますと2年申請になりますのでね。ともかく1年でも早く動かなければ、眠れる獅子で何十年も眠ってまいりましたので、とりあえず動くことが大切だと。そういう意味で、学科であれば1年申請でいけますから、とりあえずつくってという計画であります。

磯野 この間からちよっとお尋ねしたら、経済学部だけにしか大学院はないと。せっかくながら二つある大学ですから、是非とも時期をみて、それでもできるだけ早い時期に経営学部の大学院をお願いしたいなと、そういう気持を持っておるんですが。山本 経営学部の大学院の設置については、大学院委員長の諮問に基づいて既に昭和63年11月25日答申が出ております。ただ問題は、経営情報学科をつくりますと、その完成年度まで手をつけられないんです。

から年中カリキュラムが問題にならないければおかしい時代です。毎年毎年これだけグローバルになっていくし、テンポが激しいわけですから、その時その時でどんどんそれを先取りしていく。つまり、学問自身のシステムがどんどん変わっていくわけですから、これは理事長も私も申しておるわけですが、何々の科目の先生がやめられたからその科目の先生を埋める」というのは駄目だと。それははっきりとスクラップ・アンド・ビルドですね。とにかく時代の要請に応える新しい発想の先生を採っていくというような姿勢を持つ必要がある。

その場合に常に重要なのは、国際的に通用するような語学力ですね。私はその点については、先に申した「国際交流委員会」による語学研修制度の活用に特に期待しています。若い先生、外国人の先生を中心にどんどんやっっていく。現在すでにやっていたいでありますけれども。それから、これはちよっと問題がずれますが、教育職員養成課程ですね。教職課程が「教職免許法」の改正により変わりました。これは難儀したんですが、全部クリアいたしました。さらに新しく「教職特別課程」も設置しました。全国の私立で八つの大学しか認可されなかったんです。

これは、いわゆる既に社会人になられて、そしてどうしても教員になりたいという場合に、本学に入っていたら、そしてそこで1年間教職の勉強をする。だから一つの生涯



座談会風景

学習システムの一環なんです。おそらく来年からは相当志願者が増えてくるんじゃないかと思っております。

今、磯野会長からお話ございました点は、国際交流という、大分遅れていると思っておりますところ、大いに教学執行部のほうで進めていきたいと考えております。

推薦入試の改革を

司会 それでは最後に、同窓会の方は大学に対して、また大学の先生方は、同窓会にもうちよっところうたらどうだろうということがありましたら、お願いいたします。

まず鶴谷先輩、立命館なんかもどこかの高校と提携したりしておりますが、高校のサイドから何かご提言がありましたら、よろしくお願いたします。

鶴谷 リクルートの月刊誌に「キャリアガイダンス」というのがあり、これのコピーをお配りしましたが、そこに、例えば関西であれば関学とか立命館とか大阪商大、そのへんの大学の来年度の入試を考えるとということ、推薦入試の問題、あるいは試験科目の問題、それから試験場の拡大、このへんところが載っています。

私からはいろいろございますが、今日は1点だけ申し上げたいと思えます。私の勤務校には経大OBが11名います。だから、興国だけで支部をつくったらいぐらいいのOBがお世話になっている高校でございますけれども、

従って、完成年度、すなわち平成6年ですか、その頃大学院をつくり、経営学部の内容を充実していくと同時に、大学院の中でそれをさらに充実していくという段取りで取り掛かるつもりです。

磯野 最近私は感じるんですが、外国語に強い会計士、税理士を育ててもらったら、うちの大学としてはアイデンティティがまた別にできるんじゃないかと、そういう気持を持っています。

今アジア地域でハンダ、それから中国語、あるいはマレー語とか、そういう方面の言葉がわかって、そして会計学を指導するような人がもしこの大学から出てくれば、僕は新しい人材を養成することになるんじゃないかと。そういうことを最近感じております。

もちろん英語、フランス語、ドイツ語というようなものがわかってやればなお結構ですけれども。これには、それぞれの国に姉妹校を作って1年間研修に行かせることから始めれば良いと思えます。

渡辺 公認会計士の女性第1号は確か本学出身者だったですね(松浦圭子さん 13回卒)。そういうこともありまして、伝統的に高商の柱の一つにはもちろん会計というのがあります。磯野会長のおっしゃった内容にも対応できるような教育カリキュラムを組んでいかなければならないというのは、ご指摘の通りだと思います。

山本 先程も言いましたが、僕は最近非常に喜んでいるんですけど、年がら年中カリキュラムの再検討がやられています。確かに年



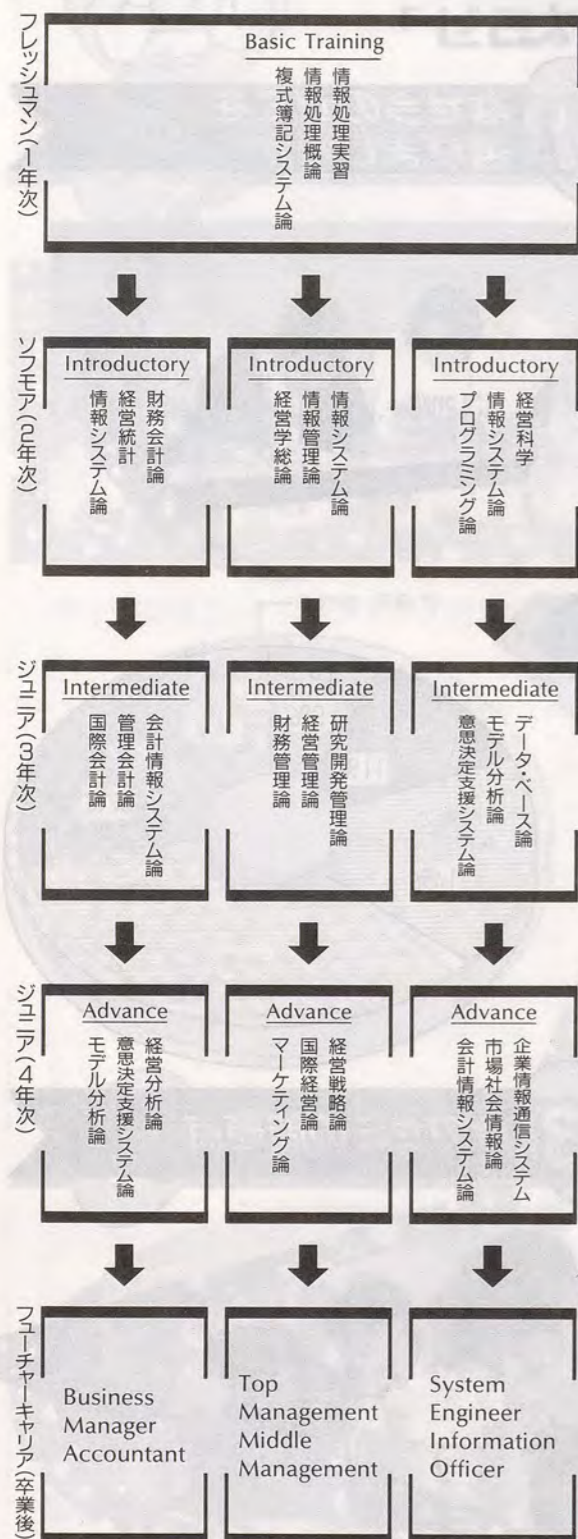
鶴谷利一

本日の座談会に当たって先輩方の意見として、「推薦をした生徒は必ず取ってほしい」と、こういう要望が非常に強くありました。

最近各大学の推薦入試というのはめちゃくちゃでしてね。推薦入試という意味を成しておらないというのが実態ではないでしょうか。推薦入試だけで千人とか2千人とかが受験している。そういう実態が関西では起こっております。従って、「特別推薦」というのがその上にまたあったりして、ややこしい状態になっております。そのへんのところを鑑みながら、高校が責任を持って推薦をした生徒は落とさないようにしていただきたい。

それから、推薦入試が12月にあるようですが、もう少し早く、10月の段階でもいいんじゃないか。それと、宣伝ですね。その辺がすごく弱いなあと思えます。

A MODEL OF STUDY PLANS FOR CAREER (経営情報学科)



すわ。それとも一つ、卒業生に1人でも2人も新聞社に入ってほしいんですよ。ですから入社試験の1年ぐらい前から、新聞社に入るにはこういう科目とこういう科目があって、こういうことをやれば試験に通やすいよと。阪神地区にも新聞社に入った先輩がいると思いますので、それにちよつと教えさせる。新聞社の編集に入る人が非常に少ないので、それは特にお願いしておきたい、そう思います。

山本 PR不足の問題は、全学的に反省と抜本的な再編強化をやる必要があると思っています。

鈴木 大学の評価のよしあしというのは、あ

る意味で入口と出口と両方あると思います。特に就職の問題というのは、やはり今の日本の中で大きな問題になっていると思います。是非同窓生の皆さんの力で、本学の就職の開発、よりよい職場にですね。100%と言いますが、質の問題がございます。

是非とも就職の問題で今後ともお力添えを願いたいと思います。よろしくお願います。

司会 どうもありがとうございます。

まだまだ貴重なご意見が続出しそうなのですが、既に予定時間を過ぎておりますので、本日の座談会はこれで終了させていただきます。



波根伸俊

大学間の交流

柴田 国際的な交流というようになことにいつてうかがっております、大変嬉しく思っております。大学間の、恐らく姉妹関係なんているのもできてくるんじゃないかと思っております。

磯野 推薦入学については、鈴木学長当時から大分お願いをしておるわけですが、あと2年したら高校卒が漸減してくる。そういうことを踏まえて支部長の間で話が出ておりますのは、今37支部に増えたわけですが、これは一つの仮定ですが、その支部から「この学生だったら大丈夫です」というのを1人ずつ支部長が推薦すれば、全国で37名の信頼すべき受験生を送ることができると、そういう話が出ておるわけですね。

もう60周年が目前に来るような大学でございますから、自分の孫が受験をするというような卒業生もおるわけです。田舎のほうにもずっと継続して卒業生が出てくるということと考えると、各支部から1名ずつ入れてもらうような制度を取り入れていただけないものだろうか、ということを感じておるわけです。是非ご検討をお願いしたい。お二人がトップにおられる間にぜひ考えてほしいですね。そしたら、日本全国に支部がございますから、1人ずつはずつと続いて大学に入ることになるんじゃないだろうか。これができれば、本当にありがたいことやなと思います。

PRをもっと真剣に

加藤 この学校ほど同窓会と学校がうまく行っているところはないと思うんです。これはお世辞じゃないに。例えば女子学生が増えたこと、それから新学科増設、これはもう同窓会がかねてお願いしておったことであって、それは本当に感謝しております。

ただ一つ、私がお願いしたいことは、これはやっぱり昔からですが、うちは社会にも認

同時に、これはもう既にやっているところがあるかもしれないんですけども、例えば同じような性格の大学と単位の互換性ということが可能なかどうか。あるいは、今後そういう可能性があるのかどうか。

渡辺 外国とですか。

柴田 初めは国内でしようね。やがては外国とも、おそらく姉妹校関係を結べばあり得るかもしれません。

大阪市大では、商学部と経済学部が姉妹関係を持っている中国上海财经大学と講義の交流を始めました。商、経両学部の先生が1人2、3週間の割合で講師団を組んで順番に講義を提供します。次は、中国側の順番ですが、円高その他の状況でスムーズには進んでいません。

今試みの段階でして、まだ常設にはなっていませんが、いろいろな交流の仕方があるかと思っております。是非検討していただいて、進めていただければ嬉しいことだと思います。



加藤正秋

められるいいことをやるが、それが世間あまり知られない。例えばこの大学の特色の一つといえる生涯教育ということですね。同窓会長もしよつちゅうそれを言ってみるんですが、大阪府や市と一緒に公開放講座を開かれたり、二部の制度に力を入れたり、まったく理想的な大学教育のあり方だと思っております。ただ、これが十分にPRされてないんですよ。

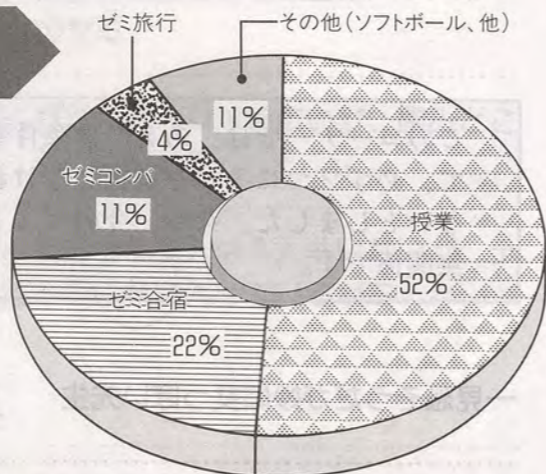
ですから、そのところ、今度の経営情報学科も含めて、とにかくPRをもっと真剣にやってほしい。今までもやってみえるでしょうけれども、例えば市民講座なんかですと、新聞社へ行って、こういうことをやっていると、紙面への掲載をお願いする。その講座の一つのおもしろいようなことを、速記録か何かを持って行って、これを掲載してくれんかと、これはいい文化欄むきの記事になるんで



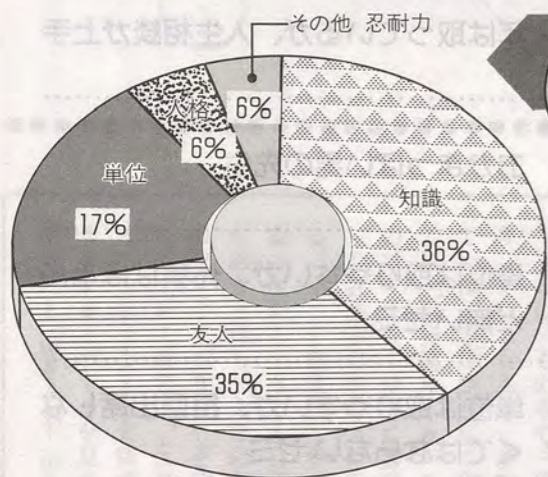
『究極のゼミ探し』

「ゼミの授業におじゃまして

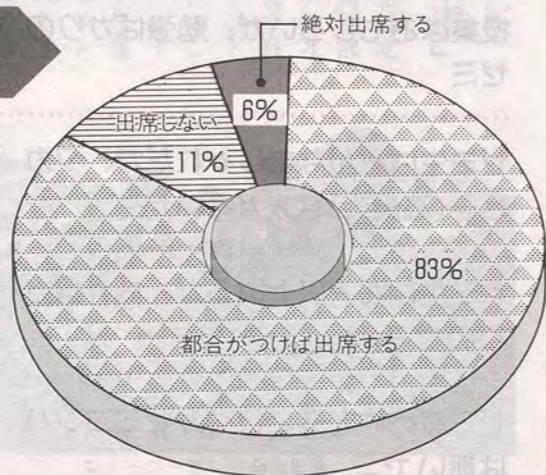
Q4 ゼミ活動の思い出に残っていること



Q5 ゼミで得たこと



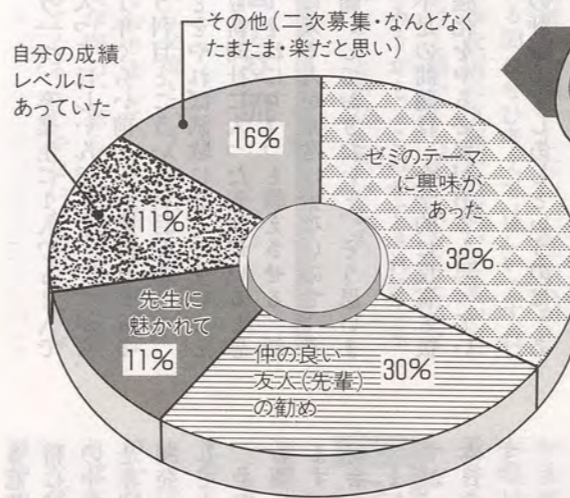
Q6 5年後のゼミ同窓会を行うとして



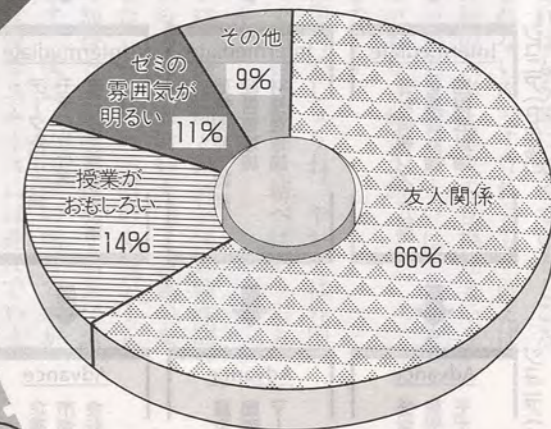
～勉強だけのゼミなんかいない～

アンケートをしました」

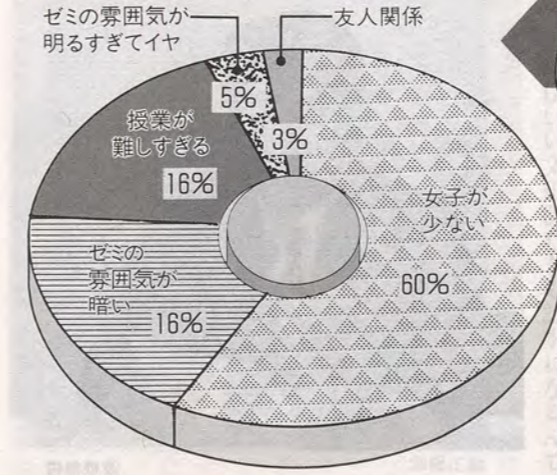
Q1 なぜ今のゼミを選びましたか



Q2 今のゼミのよい点



Q3 今のゼミの問題点



大学祭等では、模擬店を出し盛り上がるが、授業の出席率は低いゼミ



ゼミ以外の行事には無関心だが、授業はお祭りのようにおもしろいゼミ

しごかれて、出講拒否をしたくなるが、不思議と連帯感のあるゼミ



講義は楽だが、ゼミ生はバラバラのゼミ

ゼミのテーマは、絞り込んであるが、奥が深いゼミ

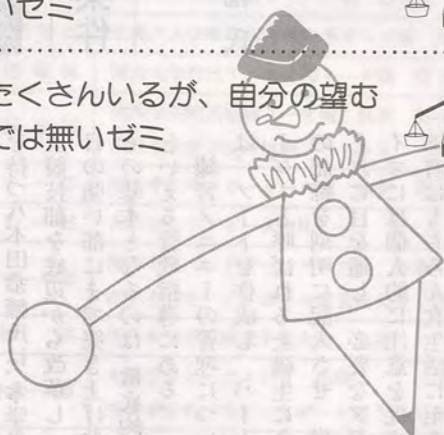


ゼミのテーマは幅広いが、掘りどころの無いゼミ

友人はたくさんいるが、自分の望むテーマでは無いゼミ



気の合う友人は1人もいないが、テーマは気に入っているゼミ



ご協力いただいたゼミは、池野重男ゼミ、森 杉夫ゼミ、山本恒人ゼミ、ありがとうございました。(阿部・藤原企画担当)

「ニュージーランド合宿の成果」

7月22日から8月9日まで北崎豊二先生を団長とし、岡本部長、西岡監督、藪田コーチの4名の方々に率いられ、部員全員(総勢66名)でニュージーランド合宿へ行ってきました。この合宿の目的は「経大ラグビー部の飛躍とリーグ戦での上位進出」であります。まずウェリントンで元オールブラックススキヤプテンのジョック・ホブスさんの指導でニュージーランドのラグビー理論と基本プレーを教わりました。その中で一番心に残り、ホブスさんが一番強く仰っていたことはラグビー理論の中では「自分達オールブラックスのプレーヤーは国に誇りを持っている。そして君達は大学のチームなのだから、もっと自分の大学に誇りを持ち、大学の名誉のためプレーすべきだ」と仰っていた。プレー面では「とにかく『見る』ということが大切で何かミスをするボールを見ていないからだ」と「Watch! Watch!」



ニュージーランド合宿風景

「だ」と何度も怒られました。その事を胸に刻みニュージーランドを後にしました。そしてこの合宿の成果が8月22日からの営平合宿で出ました。Aチームが4勝1敗と全台湾には負けてしまいましたが、Bチームは5戦全勝と好成績を収めることができました。この調子でシーズンも頑張って勝ち進みたいと思っておりますので応援のほどよろしくお願い致します。

(1990・9・10)
(ラグビー部副務 片桐 剛)

—究極の選択—



このコーナーでは、あえて悪条件を設定して、必ず2つに1つを選択しなければならないとしました。なお、今のゼミとは全く無関係です。



左の方が多かった



右の方が多かった



同じであった

一見恐そうだが妙に女っぽい先生



羊のような風体だが授業で罵声を浴びせられる先生

先生は若いが、たより無い



年は取っているが、人生相談が上手

ヒステリックな、女の先生



おかまっぽい男の先生

休講は多いが、単位は取りにくいゼミ



単位は取りやすいが、休講はほとんど無いゼミ

授業に出席しなくても良いが単位は取りにくいゼミ



単位は取りやすいが、毎回出席しなくてはならないゼミ

授業はおもしろいが、勉強ばかりのゼミ



授業はつまらないが、レクリエーションは多いゼミ

ゼミ生はみんなおしゃれだが、タカビー(高飛車)な人が多いゼミ



ゼミ生はいつも、ジャージ姿だが気の合う人が多いゼミ

ゼミ生は20人以上いるが、同性ばかりのゼミ



少人数だが、男女混合のゼミ

ゼミ旅行は海外に行くがゼミコンパは無いゼミ



ゼミ旅行は無いが、ゼミコンパは毎週あるゼミ

監督紹介

努力こそ飛躍の条件

陸上競技部監督
八木田 恭輔氏

学生時代日本体育大学で陸上競技部に所属し、円盤投げ39m82、ハンマー投げ45m61の記録を持つ八木田恭輔氏は、本学の陸上競技部を底辺から改革し、今日の強い部にまで築き上げた。その基本となるのは「徹底的な」といえる管理指導にある。

練習メニューの管理については、ノートを作成し、パートリーダーと呼ばれる上級生に各自の記録を刻明に記入させ、常にそれに目を通し、必要なアドバイスには個人的に注意を促す。練習はもちろん食生活に至るまで指導の手は緩めない。学生の個人的な性格の把握はもちろん最も特徴的なのは、練習に不参加の続く学生には、素行調査をした上で、更正できそうにないものには容赦なく退部の決断を下す。

教職以外にも役職の多い身の上であるため、練習に参加できないのは週に2日が良いところという氏は「4回生が今年のようにしっかりしている年は監督も楽である」と言う。

キャプテンの松本正人君（4年）は、短距離近畿No.1の実力



婦木・北垣・八木田監督・松本・内橋・寺川（黒正展示ホールにて）

者だ。ほとんど監督の理想図と同じものを抱いている。「全日本学生・全日本での400mリレーで双方5位の成績が、一番の思い出」という内橋敏夫君（4年）は「任せられることで自分に厳しくなれた」と言う。

5000m14分28秒の寺川慶一郎君（4年）は、関西学生2位の記録を持ち「少人数が向上心をかきたてた」と言う。「大学の

上下関係の厳しさに戸惑ったが、今では下級生のことが一番気になる」と言う婦木幸洋君（4年）は「高校から大学まで陸上は続けてもらいたい」と言う。

次期キャプテン北垣完君（3年）は「現在の成績から後退しないよう先輩のできなかった事まで引き継いでやっていきたい」と言う。

まったく監督の願い通りのクラブ感を抱く彼らだが、全員が口を揃えてこう言う「大経大と言う名を全国へ響かせる。そんな陸上部を後輩たちに受け継いでほしい。この伝統を途絶えさせないでほしい」と。

氏は、このように全部員一様に部を盛り上げる彼らに、たとえ活躍した人も、又そうでない人も、立派に社会人として成長してくれることを願って、卒業時には色紙にこう書く「努力」。

（昭和13年生52歳/大阪経済大学教授/日本体育大学卒/本学就任昭和42年/陸上競技部監督就任昭和50年/趣味植木いじり）

（藤原広太郎 記）



クラブ名	活動状況・戦績
空手道部	関西学生空手道選手権大会 寛長 ベスト16
日本拳法部	全日本学生拳法選手権大会 全日本拳法総合選手権大会 出場
柔道部	関西学生柔道大会 全日本学生柔道大会 出場
剣道部	大阪学生剣道選手権大会 団体 第3位 大阪新人大会 団体 優勝(個人(山本)準優勝) 全関西学生剣道選手権大会 団体 ベスト8
合気道部	全日本合気道演武大会 出場
少林寺拳法部	関西学生少林寺拳法大会 河野・北元組 決勝進出
硬式野球部	関西六大学野球春季リーグ戦 第3位 秋季リーグ戦 第5位
準硬式野球部	近畿六大学準硬式野球春季リーグ戦 第2位
硬式庭球部	関西大学対抗テニス2部リーグ戦 第3位
軟式庭球部	関西学生軟式庭球リーグ戦 秋季 第4位 西日本学生学校対抗戦 ベスト8
サッカー部	関西学生サッカーリーグ戦 秋季 第3位 全日本大学選手権 出場
ラグビー部	大阪学生ラグビー大会Bゾーン 第4位 関西大学ラグビーリーグ戦 第7位
ハンドボール部	関西学生ハンドボールリーグ戦 春季・秋季 第2位 西日本学生ハンドボール選手権大会 第3位 全日本学生ハンドボール選手権大会 ベスト4
卓球部	西日本学生卓球選手権大会 出場
バスケットボール部	大阪学生トーナメント 出場 全関西トーナメント 出場 西日本学生バスケットボール選手権大会 ベスト8
バレーボール部	関西学生バレーボール春季リーグ戦 3部 優勝 2部昇格
アメリカンフットボール部	近畿学生アメリカンフットボール選手権大会 出場 近畿学生アメリカンフットボールリーグ 第2位
ボクシング部	近畿学生ボクシングリーグ戦 出場
陸上競技部	関西学生実業団対抗陸上競技大会 近畿選手権大会 100m 松本 優勝 全日本大学駅伝 第13位 関西学生駅伝 第2位 出雲全日本大学招待ロードリレー 第12位
バドミントン部	関西学生バドミントンリーグ戦 秋季 第3位 全日本学生バドミントン選手権大会 ダブルス 藤原・今井組 優勝
自転車部	関西学生サイクルサッカーリーグ戦 第5位 全日本・関西学生サイクルサッカー選手権 久保・越智組 優勝 全日本インカレイルミネーションレース 金光 第5位
山岳部	穂高岳沢合宿
アイススケート部	関西学生氷上競技選手権大会 3部門 総合第4位
ゴルフ部	関西学生ゴルフリーグ戦 2部 第5位
競技スキー部	関西学生スキー選手権大会 総合第6位
カヌー部	関西学生カヌー選手権大会 出場
自動車部	全日本学生ジムカーナ選手権大会 出場 全日本学生ダートトライアル選手権大会 出場 全関西ラリー選手権大会 総合優勝
ヨット部	関西学生ヨット個人戦・団体戦 出場
洋弓部	関西学生アーチェリーリーグ戦 2部 第6位
重量挙げ部	関西学生選抜 個人戦 52kg級 小川 優勝 56kg級 加藤 第3位

より美しい大学へ いそごう環境づくりを

同窓会会長 磯野 斉



国際化、情報化が進み、今日ほどグローバルな視野をもつ人材が求められる時はなからうかと思えます。そんな時、母校では社会人教育の要請に応え、大阪府・大阪市と共催する公開講座をいち早く実施し、回を重ねるにしたがい府・市民に親しまれ好評を博しています。

さらに本年は、大学の主要行事である「入学式」を大阪府立体育会館で挙行するという、従来では考えも及ばなかった企画が実現されました。小雨降るな

か、500名に及ぶ父母の参加もあり、あの広い会場が母校関係者で埋め尽くされ、九十年代の幕明けを飾るにふさわしい大学のパフォーマンスとなりました。

このように「長年わたしたちが待ち望んだものが一度に動き出した」そんな感じがいま母校に旺盛しています。来年開設される経営情報学科の校舎建設もその一つです。200台の端末機と大形ホストコンピュータが設置され、練達の教授陣のもと、ソフトウェアを駆使できる企業人の養成がここで始まることとなります。これは、開学60周年を迎える母校の新たなイメージ形成に、必ずや貢献するものと確信いたします。

そこで、さらに21世紀へ向けて燃える母校に期待して、同窓会ではこの度、本部に「経営情報学科新設記念事業委員会」を発足させました。これは、「全国

37支部協賛のもとに飛躍を目指す母校の新しい環境づくりに応しい記念事業を推進しよう」という試みです。本計画が具体化しましたら、ぜひ強力なご協力をお願いいたします。

次に支部の状況ですが、全国37に及ぶ支部は逐年活発さを増し、地域会員の交流を盛んにしています。本年は特に、満40周年記念祝賀会を開催した岡山支部について報告したいと思えます。

1年前から周到な計画を練り、役員総掛かりで会員の最新情報を収集し、『会員名簿』の改定出版を行い、6月12日の岡山プラザホテルは、100名を超える盛大な祝賀会場になりました。

「理事長、学長両先生のご臨席のお陰です」と、支部長がしみじみ述懐していましたが、翌日は黒正巖先生の墓参りを行いました。次々に缶ビールをお供えする会員の姿を見て、わたくしは一瞬胸が熱くなったことを思い出します。

本年はまた、熊本と淡路島に支部が誕生し、それぞれ賑やかな設立総会を開催しました。今

後、会員の楽しい交流の場となり、地域の発展に貢献されるよう切望する次第です。

さて、平成元年度決算、平成2年度予算の確定、ならびに役員改選に関する理事会は、6月23日、全国から支部長、理事、監事、100名のご参加を賜り極めて盛大に開催され、いつに変わらぬ熱心なご審議をいただき、全議案、滞りなく承認可決されました。ここに厚くお礼申し上げます。

わたくしは、経営情報学科新設記念事業を推進するこの重大な時期に、理事会決議により再び会長に選任されました。今更ながら責任の重大さに身の引き締まる思いであります。心を新たに同窓会の発展に尽力いたします。どうぞ、今後一層のご支援、ご鞭撻を心からお願いたします。

なお、公私ご多忙のなか『濶江』の編集にご尽力いただいた方々に厚くお礼申し上げます。ともに、終わりになりましたが、全国5万2千余名の同窓生のご多幸ご活躍を心からお祈りいたします。

本部だより

同窓会

平成2年度 理事会盛會裡に終了

◆日時 平成2年6月23日(土) 午後5時30分開会

◆場所 新阪急ビル12階、レス
トラン・パレス会議室

◆議案

◆第1号議案 平成元年度決算について

◆第2号議案 平成2年度予算(案)について

◆第3号議案 役員改選について

◆第4号議案 その他

◆定刻午後5時30分陰下事務局長の司会で開会

◆磯野会長が全理事に対して、日頃の同窓会運営に対する協力に感謝の意を表するとともに、目前に創立60周年を迎えようとする母校の歴史の重みに鑑み、今後より一層の協力を要請し、本理事会においては決算、予算(案)の審議並びに役員改選等の重要案件を審議されることになるので慎重審議をお願いする旨の挨拶に続き、司会者が議案審議のため議長の選出方

法について議場に諮ったところ「司会者一任」の提案があり、磯野会長を議長に選任し、議案の審議に入った。

◆第1号議案

平尾財務部長(28)が、平成元年度収支決算の各項目について詳細に説明を行い、続いて山上監事から監査報告が行われた。

本案件について、議長がその賛否を諮ったところ、全員拍手を以って賛意を表し、本案件は原案通り承認可決された。

◆第2号議案

西本総務部長が、平成2年度予算案について詳細に説明を行い、特に今年度予算案においては、従来の「濶江編集費」が前年対比でやや大幅に増額されているが、これは機関誌『濶江』の製作費用に加えて、送料が製作費同額程度となり、また、前年度から卒業式で、新しく会員となる卒業生全員にこれを配布しているもので、その分を増刷している事情に加え、今年是全国各支部を紹介している小冊子

『同窓会のしおり』も改訂する必要があるため、それ等諸経費を「濶江発行費」と改めて一括計上した事情を説明した。

以上の説明の後、議長が本案件について、その賛否を問うたところ、全員拍手を以ってこれに賛意を表し、本案件は原案通り承認可決された。

◆第3号議案

本案件については、恒例により次期役員(常任理事)候補者選考委員会を設けることとし、候補者選考委員会委員の選任方法について司会者が議場に意見を求めたところ「司会者一任」の提案があり、司会者は、次期役員候補者選考準備委員会を選考委員としたい旨を説明し、全員これに賛同し、次の諸氏が次期役員候補者選考委員に選任された。

磯野 斉(3)、梶村文弥(8)、松本義和(18)、水納敏也(25)、津秋靖博(29)、中村敏啓(31)。選考委員に選ばれた諸氏は、松本義和氏を選考委員長に選任し、別室において慎重審議の結果、次の諸氏を次期役員(常任理事)候補に選び、松本委員長が発表した。

磯野 斉(3)、南部俊一(9)、玉岡 浩(12)、前田悦子(13)、上野満里子(14)、陰下嘉典(16)、松本

義和(18)、山中良夫(19)、谷口一郎(22)、西本集一(23)、水納敏也(25)、白井正幸(26)、車野修三(27)、鶴谷利一(28)、平尾哲雄(28)、津秋靖博(29)、神田 博(30)、中村敏啓(31)、波根伸俊(32)、森 政彦(33)。また、監事は全員に留任を要請し、議長が次期常任理事・監事候補について議場に諮ったところ満場一致でこれを承認し、推薦候補者全員が次期常任理事・監事に選任された。

次期常任理事に選任された諸氏は別室において互選の結果、磯野 斉氏(3)を次期会長に選任した。

磯野会長は引き続き会長として誠意と意欲を以って同窓会運営に取り組みの抱負を述べ、これを以って全理事が選任されたこととなるので、今後3年間のより一層の協力を要請するとともに比企重前副会長・前事務局局長(7)の永年に亘る功績を称え、同氏を同窓会顧問に推挙したい旨を説明し、全員の賛同を得た。

続いて、司会者が新しく常任理事に選任された諸氏を紹介し、本議案の審議を終了した。

◆第4号議案 特別の動議・提案なし。

以上を以って平成2年度理事会は終了し、議長は閉会を宣した。

同窓会

本部だより

◆学校当局から鈴木亨理事長、山本晴義学長、松原和男就職部長、田所清市理事兼事務局長にご臨席いただき、鈴木理事、山本学長からご丁寧なるお祝いのご挨拶並びに新しい飛躍を目指す母校の現況をお話しいただき、松原就職部長からは今年度の就職状況について詳細にご報告いただきました。

生方と同窓会役員が自由に懇談出来、また、役員相互のコミュニケーションが深められるようにとの配慮から、昨年同様立食パーティー形式で行われました。

渡辺同窓会名誉会長の乾杯で始まり、会場は一気に談笑のつぼとなり、懇談の名残はつきぬまま、田所理事(事務局長)の力強い万歳三唱で閉会しました。

常任理事並びに役職分担一覧表

()内は卒業回数・卒業回数順

会長	磯野 齊 (3)
副会長	南部 俊一 (9)
事務局長	玉岡 浩 (12)
	前田 悦子 (13)
	上野 満里子 (14)
	陰下 嘉典 (16)
	松本 義和 (18)
	山中 良夫 (19)
	谷口 一郎 (22)
	西本 集一 (23)
総務部長	水納 敏也 (25)
組織部長	小白 正幸 (26)
広報部副部長	車野 利一 (27)
組織部副部長	鶴谷 哲男 (28)
総務部副部長	平尾 秋博 (29)
財務部副部長	津田 博 (30)
広報部副部長	神田 敏啓 (31)
財務部副部長	中波 伸俊 (32)
	森 政彦 (33)

◆日時 平成2年6月23日(土) 午後2時から

◆場所 新阪急ビル12階、レス トラン・パレス会議室

◆出席者 大学から 鈴木理事長・山本学長・松原就職部長・渡辺理事(同窓会名誉会長) 玉岡理事・田所理事(事務局長)

◆日時 平成2年6月23日(土) 午後2時から

◆場所 新阪急ビル12階、レス トラン・パレス会議室

◆出席者 大学から 鈴木理事長・山本学長・松原就職部長・渡辺理事(同窓会名誉会長) 玉岡理事・田所理事(事務局長)

◆支部長会開催までの経過 支部長会開催については支部長会幹事会において、その準備が進められ、筒井豊中支部長(11)が司会を担当し、議長に支部長会幹事会幹事長の梶村丹有支部長(8)を選

出た。 磯野同窓会会長の挨拶に続いて、南部大阪市支部長(9)が支部長会開催に至るまでの経過を報告の後、桐月神戸支部長(22)が、過去3回に亘る支部長会の経過を踏まえて、今回は各支部の活性化のための具体的な行事、支部長会の当面の取り組み、母校のPR改善と推進について意見交換することを目的に協議事項を設定したことを説明して協議に入った。

◆支部長会の協議 各支部のユニークな行事について各支部とも色々と行事内容を工夫し、北アルプス登山・自然探索会(富山)、株式研究会から発展して、共同出資による資産運用(徳島)、読書会・史跡探訪(豊中)、「三水会」と名付けて、毎月第3水曜日に若手会員雑談会の開催(広島)、業界別委員会、若手グループ会(東京・福井)等々の実例報告が行われた。

◆支部長会の協議 各支部のユニークな行事について各支部とも色々と行事内容を工夫し、北アルプス登山・自然探索会(富山)、株式研究会から発展して、共同出資による資産運用(徳島)、読書会・史跡探訪(豊中)、「三水会」と名付けて、毎月第3水曜日に若手会員雑談会の開催(広島)、業界別委員会、若手グループ会(東京・福井)等々の実例報告が行われた。

後の支部運営に有意義であると思われるので、近隣支部に対しては、相互に総会案内を送るよう心掛けるとした。

◆大学当局との懇談会 全国支部長会に続いて、大学当局との懇談会が開催され、各支部長から出された大学当局に対する要望事項を取り纏めて梶村幹事長が説明し、大学当局から

◆母校のPR推進の方法 この件については、積極的な発言が相次ぎ、要約すると概ね次のような内容であった。

①大学の特徴や個性を明確にし、特色のある学部・学科の増設を希望する。 ②スポーツ振興によって学校の知名度向上を図るよう希望する。 ③マスコミ対策に努力すべきである。 ④高校に対するPRの徹底を希望する。 ⑤卒業生の高校教職関係者との懇談会の継続を希望する。 ⑥卒業生の子弟の入学希望者の受け入れ対策、帰国子女並びに国際交流を考えた留学生の受け入れに配慮を望む。

◆大学当局との懇談会 全国支部長会に続いて、大学当局との懇談会が開催され、各支部長から出された大学当局に対する要望事項を取り纏めて梶村幹事長が説明し、大学当局から

◆母校のPR推進の方法 この件については、積極的な発言が相次ぎ、要約すると概ね次のような内容であった。

①大学の特徴や個性を明確にし、特色のある学部・学科の増設を希望する。 ②スポーツ振興によって学校の知名度向上を図るよう希望する。 ③マスコミ対策に努力すべきである。 ④高校に対するPRの徹底を希望する。 ⑤卒業生の高校教職関係者との懇談会の継続を希望する。 ⑥卒業生の子弟の入学希望者の受け入れ対策、帰国子女並びに国際交流を考えた留学生の受け入れに配慮を望む。

◆母校のPR推進の方法 この件については、積極的な発言が相次ぎ、要約すると概ね次のような内容であった。

①大学の特徴や個性を明確にし、特色のある学部・学科の増設を希望する。 ②スポーツ振興によって学校の知名度向上を図るよう希望する。 ③マスコミ対策に努力すべきである。 ④高校に対するPRの徹底を希望する。 ⑤卒業生の高校教職関係者との懇談会の継続を希望する。 ⑥卒業生の子弟の入学希望者の受け入れ対策、帰国子女並びに国際交流を考えた留学生の受け入れに配慮を望む。



平成2年度 全国支部長会開催

平成2年度 同窓会総会開催

校庭のくすの木が一際映える快晴に恵まれた11月3日(文化の日)「母校で再会 学生気分」を合言葉に、平成2年度同窓会総会が母校50周年記念館で和やかに開催されました。

◆受け付け風景 昨年から実施した吹奏楽総部署生諸君の演奏で参会者を迎える趣向が好評であったため、今年も学生諸君の応援を得て、午前10時30分華やかな吹奏楽の演奏と共に受け付けを開始しました。

20数名の方は、既に受け付け開始以前にお越しになり、1階ロビーの談話室で思い思いの相手と懇談しておられました。参会者はその後続々と増え、お招きした来賓30余名に加えて北は北海道から南は鹿児島に至るまで、全国各地の支部長を含めた300余名が母校に集いました。

◆セレモニー会場 定刻11時、満席の会場に来賓としてご臨席いただきました、理事長鈴木亨先生、学長山本晴義先生、松村文武経済、渡辺泉経営、藤本周教養の3学部長の諸先生並びに現・旧教職員の方々にご入場いただき、神田常任理事の司会で第一部のセレモニーが開催されました。

開会に先立って、物故者に黙禱をささげ、白井総会特別委員長が開会の挨拶、続いて磯野同窓会会長が、菊薫るこの日、経営情報学科の開設申請、茨木校地問題等々飛躍を目指す母校の繁忙期にも拘わらず、理事長・学長・各学部長はじめ多くの教職員の方々にご臨席いただき錦上花を添えていただきと共に、多数の会員諸氏の参加によって盛大な総会を開催し得たことへの謝辞を述べ、淡路島、熊本の新支部の紹介、岡山支部の40周年記念総会の状況等々同窓会の活動状況を詳細に説明。更に経営情報学科の開設に伴う記念事業として「風に向かって風立つ」「雲に向かつて雲立つ」という世界的に有名な彫刻家流政之先生の二つの彫像に対して、「風雲を乗り越

平成2年中に支部総会を開催された支部名一覧表

支部名	開催の月日	開催の場所	支部名	開催の月日	開催の場所
広島支部	2月8日(木)	八丁堀シヤンテ	愛媛支部	9月1日(土)	ユアーズコープ
北九州支部	2月9日(金)	セントラルホテルフクオカ	徳島支部	9月22日(土)	眉山会館
西宮支部	2月10日(土)	西宮市民会館	北海道支部	10月12日(金)	札幌第一ホテル
大阪市役所支部	2月21日(木)	水桜会館	豊中支部	10月20日(土)	ホテルアイボリー
山口支部	2月25日(日)	石田屋	丹有支部	10月21日(日)	同窓会ホール
尼崎支部	5月18日(金)	尼崎総合文化センター	姫路支部	10月26日(金)	北京閣
岡山支部	6月2日(土)	岡山プラザホテル	東京支部	11月7日(木)	野村クラブ
京都支部	7月6日(金)	京都ホテル	三重支部	11月11日(日)	山荘
香川支部	7月14日(土)	ホテルニューフロンティア	福井支部	11月17日(土)	サンピア敦賀
高知支部	7月20日(金)	高知第一ホテル	岐阜・東海支部	11月17日(土)	岐山会館
淡路島支部	7月22日(日)	四州園	西宮支部	11月24日(土)	西宮市民会館
南九州支部	7月29日(日)	林田ホテル	神戸支部	11月27日(火)	ホテルシェレナ
熊本支部	8月4日(土)	熊本ホテルキャッスル			

平成元年度収支決算書

自 平成元年4月1日 至 平成2年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前期繰越金	15,630,237	15,630,237	総会費	4,341,213	5,000,000
会費収入	43,740,000	40,000,000	役員会費	1,531,210	1,500,000
総会収入	955,000	500,000	支部費	5,615,828	7,200,000
利息収入	885,923	600,000	事務費	382,605	500,000
灘江収入	651,120	500,000	人件費	6,602,370	7,300,000
名簿収入	316,020	500,000	旅費交通費	2,667,460	3,000,000
雑収入	337,820	0	灘江編集費	14,957,074	14,000,000
			名簿追跡調査費	1,807,062	2,000,000
			学対費	2,170,000	3,500,000
			諸会助成費	1,502,204	1,500,000
			慶弔費	184,870	300,000
			名簿発行積立金	4,000,000	4,000,000
			スポーツ・学術振興積立金	5,000,000	5,000,000
			予備費	(990,488)	2,930,237
			次期繰越金	11,754,224	0
合計	62,516,120	57,730,237	合計	62,516,120	57,730,237

平成2年度収支予算表

自 平成2年4月1日 至 平成3年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	決算額	摘要	科目	決算額	摘要
前期繰越金	11,754,224		総会費	5,000,000	
会費収入	43,000,000		役員会費	1,500,000	理事会・常任理事会・各支部 運営費・支部総会援助
総会収入	800,000		支部費	7,200,000	
利息収入	700,000		事務費	500,000	事務局人件費
灘江収入	600,000		人件費	7,300,000	
名簿収入	200,000		旅費交通費	3,000,000	
			灘江発行費	16,500,000	同窓会のお祝い代を含む
			名簿追跡調査費	2,000,000	
			学対費	3,500,000	大学祭・クラブ活動補助
			諸会助成費	1,500,000	諸会援助
			慶弔費	300,000	
			名簿発行積立金	4,000,000	
			スポーツ・学術振興積立金	2,000,000	
			予備費	2,754,224	
合計	57,054,224		合計	57,054,224	

えて花開く」というイメージの像をいま一つ寄贈するため有志の協力をお願いしたい旨の挨拶をされ、会場から万雷の拍手が送られました。

鈴木理事長からは、国際化、情報化時代に欠かすことの出来ない経営情報学科新設申請に至るまでの経過と共に専用研究棟として建設中の新学舎の建設状況、更に市街化調整区域であった茨木校地周辺が国際文化公園都市として開発されることとなり、諸々の条件はあるものの、今後2年以内に本学の具体的な学園構想を練りあげる必要がある、当初予想より早い機会にこの地域に本学が誘致されるという形態で、新しい大学の発展の展望が開けつつある現状を説明され、最後に磯野会長が提案された新学科開設に際しての流政之先生の影像寄贈が実現すれば、他大に例を見ない立派なシンボルとなるものと確信するので真に喜ばしいことである、とのご祝辞をいただきました。

続いて、山本学長からは、私学は大学と同窓会が連携を保たなければ将来の発展は望めず、また、平成4年をピークにして学生の激減期を迎えることとなり、新聞報道等でも相当厳しい意見が見られ

るが、要は大学の質が問われる時代になるので教授会でも真剣に検討を重ね、平成5年度には20万人のコンピュータ技術者が不足するという節もあり、それ等に対応するためにも新設する経営情報学科は社会的に重要な役割を果たすものと確信し、正式に認可され次第PRに全力を尽くす考えであること。

更には、茨木校地の国際文化公園都市の中に新しい学部をつくる計画を検討中である。国際化、国際交流についても国際交流準備委員会の答申に基づき体系的に推進してゆく考えである等、詳しい将来展望を含めたご祝辞をいただきました。

両先生のお祝いのお言葉のあし、陰下同窓会事務局局長が来賓並びに全国各地から参加された支部長を紹介し、大学企画広報・前田課長が最近の学生のクラブ活動の状況その他を報告し、最後にグリークラブの学歌斉唱でセレモニーは終了しました。

◆懇親パーティー
前年度の参加者数を想定して、記念館7階の全フロアーを借りて同窓会ホール・黒正展示室をパーティー会場とし、第1・第2会議室をそれぞれ展示室、お茶室とし



て準備を整えました。

午後0時30分、津秋常任理事の司会で開会した懇談パーティーは、鈴木理事長、山本学長、渡辺同窓会名誉会長、磯野同窓会会長による鏡開きに続く比企同窓会顧問の乾杯と共に一気に盛り上がり、談笑のつぼとなりました。

暫くして、用意されたお茶室にも楽しそうに話し合う幾組かのグループが出来上がり、展示室の古い総会風景の写真を眺めたり、学校周辺の昔の田園風景の色紙画に見入る会員の姿も数多く見受けられました。

予定の1時間30分は和やかな雰囲気の中に過ぎ去り、用意された生協心づくしの料理もぼつぼつ残り少なくなった午後2時前、グリークラブの学生諸君と共に逍遙歌を合唱し、最後に萩原同窓会顧問の万歳三唱で来年の再会を約して散会しました。



学園の近況

大きく動きつつある本学



山本 晴義 学長

学長 山本晴義

まずは経営情報学科新設にあたって同窓生の皆様から、かねがねよせられたご鞭撻に対して心から御礼申し上げます。関西新空港の建設にともなう関西の国際化・情報化の飛躍的な発展が切望され、広い視野を持った情報処理技術者の不足が指摘されている現在、新学科の設立は、きつとその要望に答え得るものと確信しております。

現在、経営情報に関する学部・学科を持つている大学は大阪市内でゼロ、近畿2府4県で4校にすぎません。また現在、経済学部では急激な社会の要請に対応した、コース制による抜本的なカリキュラムの改変が検討されております。さらに大阪府の国際文化公園都市計画の進展にともなう、本学の茨木校地問題は急速に進みつつあり、今後約2年間の間に新学部構想を含めて将来計画をまとめることが要求されております。教学側としても「企画検討委員会」の「答申」を尊重し、教養部を一つの基盤に全学的な新学部ならびに移転計画委員会を設置し、作業をすすめております。

以上、本学は現在大きく動きつつあります。どうか同窓会の皆様方におきましても、ますますのご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。次期です。

施設関係

◇F館地鎮祭

6月11日(月)午前11時から新築現場において地元大隅神社の神官が祭主をつとめ、本学関係者および設計施工の株式会社竹中工務店関係者の列席のもと、F館新築の地鎮祭が挙行されました。



穿ち初め(理事長)

式典では本学鈴木亨理事長が「穿ち初め」を、竹中工務店高木照雄常務取締役が「鍬入れ」を行い、また鈴木亨理事長、山本晴義学長、磯野斉同窓会長、高木照雄常務取締役の各代表が玉串を奉奠、工事の無事を祈願しました。

◇新館建設計画

経営情報学科新設申請に伴う、新学科専用棟(F館)建設概要等は次のとおりです。

- 〔設計概要〕
- 建築地 テニスコート地
 - (大隅2丁目28番地)
 - 建物規模 3階建(一部平屋建)
 - 延床面積 1865・35㎡
 - 建築費 約7億円
 - 着工 平成2年6月
 - 工期 10カ月
- 〔主用途〕
- 1階 オープン端末室1室、ゼミ室3室、事務室1室、機械室1室
 - 2階 実習室2室
 - 3階 研究室12室、共同研究室1室
- 〔主要設置機器〕
- M-660D(日立)大型計算機システム
 - 本体および周辺装置一式
 - 端末機200台およびプリンター装置

学園の近況

人事

AVシステム
モニター40台他
コンピュータ自動運転装置

◇役員の変更について

学校法人 大阪経済大学は、平成2年7月23日(月)理事会を開催し、任期満了に伴う次期理事の選任を行い、左記の通り決定した。任期は、いずれも平成2年7月23日から平成5年7月22日まで。

平成2年7月23日
学校法人 大阪経済大学
理事長 鈴木 亨

1、寄附行為第6条第1項第2号(評議員互選)
(7~10人以内)

磯野 斉 色川幸太郎
岡本 正 香川 一男
門坂 正人 里地 三平
田所 清市 東田 和四
渡辺 達好

2、寄附行為第6条第1項第3号(学識経験者)
計9名
(7~10人以内)

大隅健一郎 大西 正文
桑津 昇 柴谷 貞雄

西野 証治 森 太郎
渡辺 大介 計7名

3、寄附行為第9条(監事)
萩原 市郎 望月 清 計2名

4、任期中理事
山本 晴義 (第1号理事・学長)

鈴木 亨(第3号理事)

玉岡 浩(第3号理事)

計3名

◇評議員の選任

学校法人 大阪経済大学は、平成2年6月29日(金)理事会を開催し、任期満了に伴う次期評議員(学部長等役職による評議員を除く)の選任を行い、左記の通り決定した。

任期は、いずれも平成2年7月10日~平成5年7月9日まで。

平成2年6月29日
学校法人 大阪経済大学
理事長 鈴木 亨

1、寄附行為第20条第2項第1号(法人の職員)

岡本 正 香川一男 香川尚道

門坂正人 上島 武 北崎豊二
桜井弘志 高城 寛 田所清市
中谷和一 鍋島哲郎 野村正澄
細羽由三 八木田恭輔 山田達夫
(役職による評議員・藤本周一
松村幸一 松村文武 渡辺 泉)
以上19名

(卒業生)

磯野 斉 陰下嘉典 梶村文弥

谷口一郎 西本集一 比企 重

広田 実 松本義和 水納敏也

山中良夫 渡辺達好

以上11名

3、同 第20条第2項第2号

浅沼玄恵 井阪健一 色川幸太郎

倉辻平治 黒正 光 佐治敬三

里地三平 鈴木権平氏 鈴木正里

武内美次 田中富三 東田和四

藤原光治郎 前田義里 八木米次

以上15名

◇名譽教授称号授与

1990年3月末をもって特任教授を退職されました中村九一郎、巡政民両先生に大阪経済大学名誉教授(第16、17号)の称号が4月1日付で授与されました。

中村九一郎先生は昭和23年5月1日に着任され、定年まで社会思想史、論理学の講義を担当され、かたわら、広報部参与、広報部委



辞令を受ける置塩先生

員を歴任されました。

巡政民先生は昭和28年11月1日に着任され、定年まで産業社会学、教育原理の講義を担当されるかわら、教養部長、学長事務取扱、理事会常務委員会委員を歴任されました。

お二人は、退職後も特任教授として本学の発展に寄与されました。

◇学位授与

中尾美喜夫 教養部助教
神戸大学医学博士
(1989・5・24付)

重森 暁 経済学部教授
京都大学経済学博士
(1989・11・24付)

徳永 光俊 経済学部助教
京都大学農学博士
(1990・3・23付)

◇新任よりよろしくお願い致します

左記の方々が着任されました。

経済学部特任教授 置塩 信雄

(経済原論II・演習担当)
経営学部教授 一宮 正司
(経営統計・教養演習担当)
経営学部助教授 榎本 淳子
(情報処理実習・教養演習担当)
教養部助教授 田村 寛康
(芸術学担当)
教養部講師 伊藤 研策
(ライフサイエンス担当)
教養部講師 高津 芳則
(教育行政学・教育実習担当)
教養部講師 土居 充夫
(政治学担当)
経営学部講師 林田 修
(経営戦略論・演習担当)
図書館閲覧課 岸田 祐和
学生部厚生課 村岡 宏美

◇退職 (定年)
1990・3・31付



定年退職者を送る会

永い間ご苦労さまでした。
経済学部教授 鈴木 亨
経営学部教授 稲原 康雄
図書館閲覧課課長 石川 菊
総務部総務課 吉村 盛男
総務部総務課主任 久富木原明
総務部総務課 村路 愛次
なお、鈴木・稲原両先生は引続き特任教授として、久富木原氏は嘱託として活躍しております。
(依願)
経済学部講師 橋本 紀子
教養部講師 植田 健男
教養部講師 加藤 普章

◇海外出張(1990・4・15-1991・3・31)
森田 寿一 教授
目的 調査研究
行先 スウェーデン・カナダ他
尾嶋 史章 助教授
目的 調査研究
行先 アメリカ合衆国

◇役職者一覧(1990・10・1)
理事長 鈴木 亨
学長 山本 晴義
経済学部長 松村 文武
経営学部長 渡辺 泉
教養部長 藤本 周一
大学院委員長 松村 幸一
教務部長 上島 武

入試部長 森川 滋
学生部長 高城 寛
就職部長 松原 和男
図書館長 里上 譲衛
情報処理センター長 内海 健一
体育館長 浜田 幸策

日本経済史研究所長 山田 達夫
中小企業・経営 研究所長 竹林 祐吉
事務局長 田所 清市

新学科増設準備委員会だより
1990年6月30日
経営情報学系認可申請の進捗状況について(中間報告)
新学科増設準備委員会 委員長 山本 晴義

1991年4月開設を目標に、昨年4月より準備を進めて参りました寄附行為変更認可申請書ならびに経営情報学系設置認可申請書が、去る6月26日・27日両日、無事受理されました。ひとえに全教職員の協力の賜物と感謝しています。12月下旬に予定されている実際の認可までにはまだ多くの曲折が考えられますが、21世紀の大学の飛躍的な発展に向けて今後ともご協力の程よろしくお願い致します。
なお、これからの日程は、次のとおりです。

- 7月11日：設置認可関係書類一式提出(大学課振興係)
- 7月23・24日：申請書の残部提出(大学課振興係)
- 7月 末：設置計画の概要提出(大学課振興係)
- 8月29~30日：認可申請総括表提出(大学課振興係)
- 9月 7日：ヒヤリングの説明資料提出(私学行政課)
- 9月上旬~10月初旬：改善意見による追加資料の提出と補正(大学課振興係)
- 9月 末：経営学部経営学系定員減の申請(大学課振興係、私学行政課法規係)
経済学部、経営学部経営学系臨時定員増の申請(大学課振興係、私学行政課法規係)
- 10月上旬：ヒヤリング(大学課振興係)
- 10月下旬：ヒヤリング(私学行政課)
- 12月下旬：認可予定

◇「父母懇談会」の開催
第2回父母懇談会は、1989年11月18日(土)に、410名の参加者を得て行われました。父母からの大学に対する要望・期待は

第2回 大阪経済大学 父母懇談会
学長あいさつ

実に多くありました。

◇「古稀記念論文集」献呈式
3月28日(水)午後2時から、本館4階会議室において「鈴木亨・稲原康雄両教授古稀記念式典」が行われました。山本晴義大阪経済大学学長より「古稀記念論文集」が献呈され、その後、鈴木亨先生



古稀記念講演(鈴木先生)

による「古稀記念講演」が行われました。

◇大阪府立体育会館で入学式
4月4日(水)、難波の大阪府立体育会館において、1990年度学部ならびに大学院の合同入学式が盛大にとり行われました。

入学式(新入生歓迎行事)の外挙行は初めてでしたが、当日は新入生はほぼ全員出席(約1500名)、父母も500名を越す参加があり、教職員参列のもと厳粛な入学式となりました。式後の歓迎

1990年度 大阪経済大学 入学式



入学式(府立体育会館)

行事ともども新入生にとっては印象深い学園生活の第一歩となったことと思われまます。

10・30 開式
学長式辞
理事長祝辞
学部長・大学院委員長紹介
来賓紹介
学歌斉唱(グリークラブ)
11・00 閉式

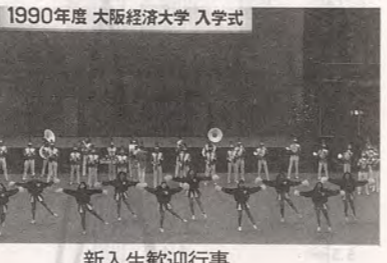
◇新入生歓迎行事

1990年度入学式終了後、引き続き午前11時30分より標記行事に移り、直木賞作家の津本陽氏の講演会が開催されました。
津本氏は、日本経済新聞に連載して100万部以上のベストセラーになった「下天は夢かー今なぜ信長かー」を演題に、現代企業の世知等幅広い講演があり会場を魅了させました。

◇学部 ()は女子学生内数

部	学部	1年	2年	3年	4年	合計
第1部	経済	648 (45)	564 (24)	778 (14)	786 (15)	2,776 (98)
	経営	619 (53)	544 (55)	722 (33)	794 (19)	2,679 (160)
計		1,267 (98)	1,108 (79)	1,500 (47)	1,580 (34)	5,455 (258)
第2部	経済	112 (0)	165 (0)	111 (1)	151 (2)	539 (3)
	経営	110 (2)	117 (6)	146 (2)	125 (3)	498 (13)
計		222 (2)	282 (6)	257 (3)	276 (5)	1,037 (16)
合計		1,489 (100)	1,390 (85)	1,757 (50)	1,856 (39)	6,492 (274)

■在学生数(5月1日現在)
昼食をはさんで午後1時30分より、学生による歓迎行事に移りました。タレントの豊島美雪さんが軽快な司会で出演クラブを次々と紹介、大谷女子大学バトントワーリング部も参加して日頃の練習成果を披露しました。観覧した新入生及び父母には一層の親近感を持たれたようで、限られた時間の中参加された皆さんの喝采を後に無事終了しました。出演は邦楽部、グリークラブ、吹奏楽総部、体育会系の各クラブ。



新入生歓迎行事

◇大学院
経済学研究科博士前期課程修士課程
経済学研究科博士後期課程 1 10

◇シユミット教授が中小研を訪問
名古屋大学に滞在中の西ドイツ・パードルボルン大学のカーン・ハイントツ・シユミット教授が3月10日(土)中小企業・経営研究所を訪問されました。



シユミット教授

シユミット教授は西ドイツの関連学会はもとよりスイス国際中小企業学会の主要メンバーとして、昨年5月に本学を訪問されたプライトナー博士の親友でもあり、日本の中小企業の研究にも力を注いでおられます。同教授は中小企業・経営研究所長の竹林祐吉教授運営委員の伊藤武教授と懇談の後、図書館・情報処理センターを見学されました。午後からは関西中小企業研究会に出席されて、メンバーの先生方とも親交を深められました。

④ 現・浪別志願者・受験者・合格者状況(第1部)

	経済学部			経営学部		
	現役	浪人	検定他	現役	浪人	検定他
受験者	2,370	4,457	30	2,244	4,916	19
合格者	264	1,068	5	183	1,332	2
合格率	11.1	24.0	16.7	8.2	27.1	10.5

現・浪別志願者・受験者・合格者状況(第2部)

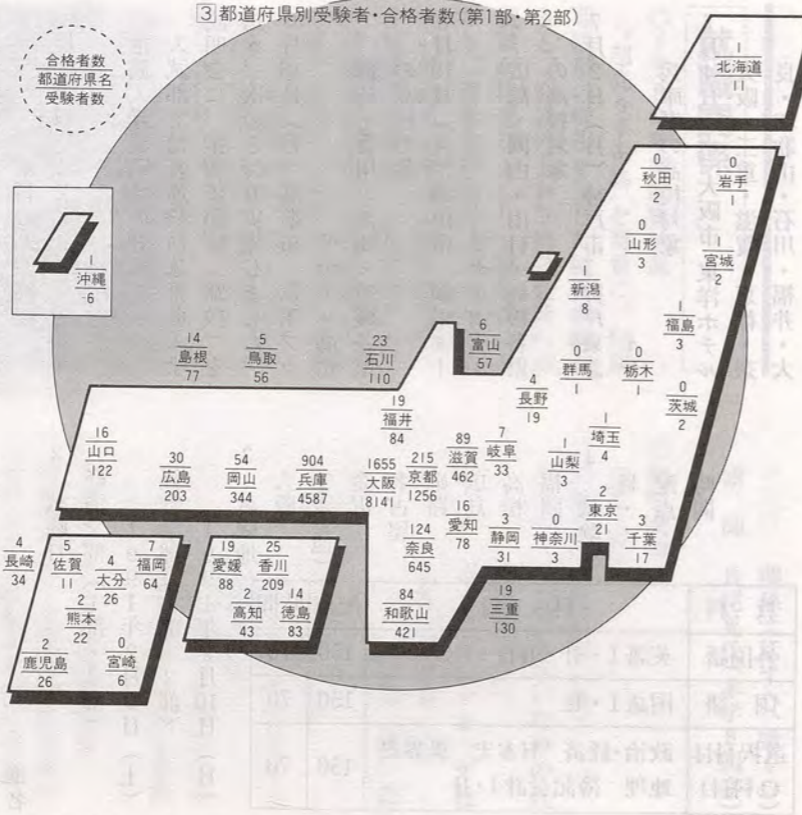
	経済学部			経営学部		
	現役	浪人	検定他	現役	浪人	検定他
受験者	452	1,181	8	504	1,436	6
合格者	31	221	1	24	260	1
合格率	6.9	18.7	12.5	4.8	18.1	16.7

⑤ 単・併願別受験者・合格者状況(第1部)

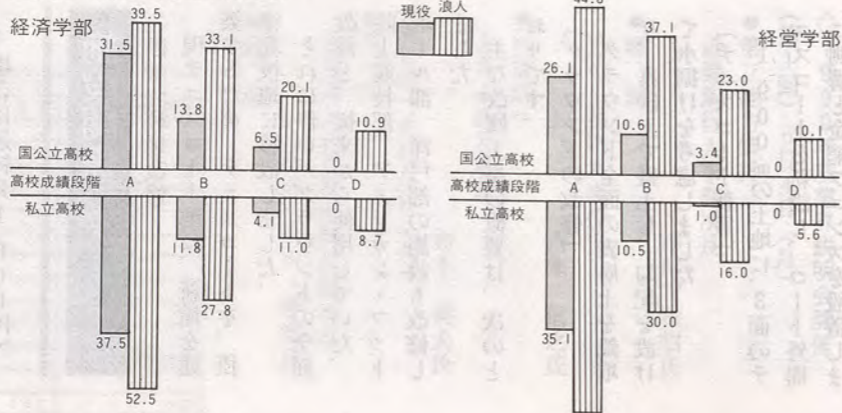
単願者	受験者		合格者		合格率
	受験者	合格者	受験者	合格者	
経済学部	3,666	681	18.6		
経営学部	3,988	862	21.6		
計	7,654	1,543	20.2		

併願者	受験者		合格者		合格率
	受験者	合格者	受験者	合格者	
経済学部	3,191	656	20.6		
経営学部	3,191	655	20.5		
いずれかに合格したもの	3,191	925	29.0		

③ 都道府県別受験者・合格者数(第1部・第2部)



⑥ 高校成績段階別合格率(第1部)



⑦ 課程別受験者・合格者状況

課程	経済学部						経営学部					
	普通	商業	工業	全日その他	定時制	検定・通信	普通	商業	工業	全日その他	定時制	検定・通信
受験者	6,772	17	14	19	3	32	7,082	45	13	15	2	22
合格者	1,327	2	1	2	0	5	1,507	5	0	3	0	2
合格率	19.6	11.8	7.1	10.5	0	15.6	21.3	11.1	0	20.0	0	9.1

◆ 特許(スポーツ)推薦
 1991年度推薦入学
 選考日程・入試日程
 出願期間 1990年10月22日(月) ~ 10月26日(金)
 選考日 1990年11月2日(金) ~ 11月10日(土)
 合格発表 1990年11月10日(土)

募集学部・人員
 経済学部第1部 35名
 経営学部第1部 35名
 推薦依頼校全国の全日制高等学校
 ◆ 普通科・商業科対象推薦
 出願期間 1990年11月19日(月) ~ 11月22日(木)
 選考日 1990年12月2日(日)

1990年度入試結果

◆ 特許(スポーツ)推薦

1989年10月20日(金)に実施されました標記入学選考の志願者・合格者状況は左記のとおりです。

1 志願者・合格者状況

経済学部	経営学部
志願者数 100	83
合格者数 38	32

2 合格者の種目別内訳

柔道	5	卓球	3
剣道	4	バドミントン	2
陸上競技	6	サッカー	2
競技スキー	1	ラグビー	9
硬式野球	9	バスケット	3
準硬式野球	4	ボール	3
硬式庭球	1	バレーボール	3
軟式庭球	4	ハンドボール	5

◆ 普通科・商業科推薦

1989年12月3日(日)に実施されました標記推薦入学選考の志願者・合格者等の状況は左記のとおりです。

(普通科)

1 志願者・合格者状況

経済	経営	合計
志願者数 161(19)	162(27)	323(46)
合格者数 161(19)	161(27)	322(46)

2 依頼校別状況

依頼高校数 171
 志願者のあった高校数 199

1 志願者・合格者状況

経済	経営	合計
志願者数 38(10)	57(18)	95(28)
合格者数 30(9)	42(16)	72(25)

※ () は女子内数

◆ 1990年度入試結果

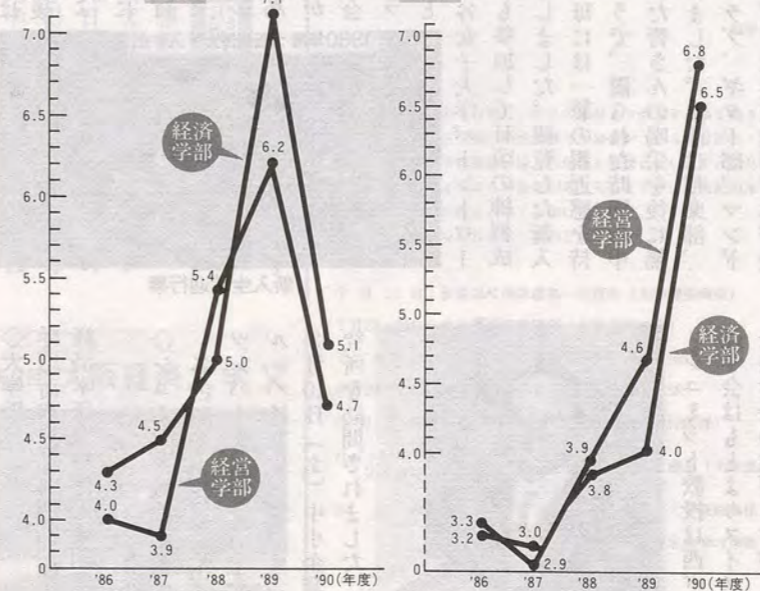
2月9日・10日の両日実施されました入学試験の志願者・合格者等の状況は次表のとおりです。

1990年度の志願者合計は18,075名で前年度に比べ、1,386名(8.3%)の増加でした。

1・2部別で見ると、第1部は187名(1.3%)の微増、第2部は1,199名(47.6%)の大幅な増加となりました。第1部の学部別では経済学部は833名(10.7%)の減少、経営学部は1,020名(16.1%)の増加で、前年度に続き隔年現象となりました。

また女子の社会科学系学部志向は変わらず、362名↓489名(35%)の志願者増となりました。

② 倍率の推移



① 志願者・受験者・合格者・入学手続き者と倍率

部	経済学部		経営学部	
	志願者	受験者	合格者	入学手続き者
第1部	6,987(203)	6,857(200)	1,337(54)	419(17)
第2部	1,697(23)	1,641(22)	285(5)	110(0)

合格発表表 1990年12月8日(土)
(普通科)
募集学部・人員
経済学部第1部 140名
経済学部第1部 100名
推薦依頼校 本学の指定する高校
(商業科)
募集学部・人員
経済学部第1部 20名
経営学部第1部 30名
推薦依頼校 全国の商業高校と商業科のある高校
検定料 30,000円

◇推薦入学説明会の開催
入試部では普通科対象推薦入学説明会に、推薦依頼校(20校)を招き、次のとおり実施しました。
6月18日(月) 高松市 京王プラザ ホテル高松
徳島・香川・高知・愛媛各県の高校対象
6月19日(火) 岡山市 岡山タ1 ミナルホテル
広島・岡山・山口・島根各県の高校対象
7月2日(月) 神戸市 神戸東急イン
兵庫県の高校対象
7月4日(水) 大阪市 東洋ホテル
大阪・三重・滋賀・京都・奈良・和歌山・石川・福井・大

就職関係

◇1989年度就職状況
「超売り手市場」を背景に、短期即決型の様相を呈した就職戦線のもと、別表のとおり優良企業への就職が決定しました。規模別みると、資本金10億円以上の大企業への就職者が586名(前年度比33.8%増)を数え、また上場会社への就職者が436名(前年度比25.6%増)に達し、好結果となりました。なお求職者は、本人の都合で就職しなかった者を除きすべて決定しました。



就職展示室

◇就職説明会

開催日 4月13日(金)
テーマ 「就職活動を始めるにあたって」

◇就職特別講座

開催日 4月23日(月)
テーマ 「人との関係・自分との

分各府県の高校対象

◇1991年度入学試験概要
1 募集学部・学科・定員
経済学部 第1部 経済学科 550名
経営学部 第1部 経営学科 550名
経済学部 第2部 経済学科 100名
経営学部 第2部 経営学科 100名
2 試験日
経済学部(1部・2部) 1991年2月9日(土)
経営学部(1部・2部) 1991年2月10日(日)
3 試験地
大阪 (本学他)
名古屋
金沢
姫路
広島
高松
福岡
4 試験科目
配点・時間

教科	科目	配点	時間
外国語	英語I・II・IIB・IIC	150	70
国語	国語I・II	150	70
選択科目(1科目)	政治・経済 日本史 世界史 地理 簿記会計I・II	150	70

関係(話す心、聴く心)
講師 長尾晃氏(本学8回卒)

◇特別講演会

(第1回)
開催日 5月11日(金)
テーマ 「失敗しないための就職活動方法」
講師 ダイヤモンドビッグ社 取締役支社長 伊関 皓一氏

(第2回)
開催日 6月1日(金)
テーマ 「優良企業の見分け方と就職活動」
講師 大阪府経営合理化協会 専務理事 小川泰造氏

◇産業セミナーと懇親会開催

就職部では、全国の優良企業の人事担当者にお集まりいただき、セミナーと懇親会を開催しました。
開催日 5月15日(火)
場所 ホテルプラザ
講演 「これからの株式市況について」
野村證券投資信託委託株式会社 取締役社長 井阪 健一氏

出席者 238名

5 合格発表日 1991年2月19日(火)
6 出願手続等
(1)出願期間 1991年1月4日(金)～1月18日(金)
(2)検定料 30,000円
※入学案内(要項・願書等)について
代金は七〇〇円(郵送請求の場合は送料共1,000円)。

施設関係

◇摂津北校地改修
現テニスコート地に、新館を建築するため、テニスコートを、摂津北校地に移設しました。
それに伴い、グラウンドの全面改修と、従来から使用していた、陸上競技部、アメリカン・フットボール部、洋弓部の施設も改修しました。
主な改修工事の概要は、次のとおりです。
〔グラウンドの改修〕
グラウンド全面の表層土を鋤取り、真砂土で盛土し、勾配を設けて水捌けを考慮しました。
〔テニスコート新設〕
1,900㎡の土地に、3面のテニスコートを新設し、コート外周に側溝と金網フェンスを設置しま

した。
〔課外活動施設の改修〕
陸上競技部のトラック移設、跳躍施設、投てき施設の改修及び改修。
アメリカン・フットボール部のゴールポスト新設。
洋弓部の防護ネットの新設。
〔部室の新設〕
硬式庭球部、軟式庭球部、洋弓部のプレハブ製部室3室を建設。

◇守衛室改築工事

東学舎前庭改修工事が昨年夏以降進められてきましたが、残っていた守衛室の改築工事が1月31日に完了しました。
位置は以前の場所より北側に移設し、C館に並行して建築されました。これにより正門及び通路が拡張され解放感が生じました。
新しい守衛室の屋根のグリーンは、周囲の樹木のグリーンに溶け込む同色を配し、風景にマッチしたデザインとなっています。
又、道路を挟んで東学舎と西学舎間には、スクエアスポットを形成、全体の配置が考慮されています。
建築概要は、鉄筋コンクリート平屋建、屋根は銅板一文字葺、建築面積は36・0㎡、床面積は20・25㎡となっています。

新日本製鉄総務室長

平沢 渉氏

◆チエーンストア

ダイエー採用担当西日本チーフ 早柏 恵備氏

◆地方銀行

(第3回) 6月6日(水)
大阪銀行人事課副長 横山 勝久氏

◆貿易

トーマン大阪人事課長 佐久間武彦氏

◆化学

武田薬品工業人事課長 辻 皓一氏

◆鉄鋼

(第2回) 6月5日(火)
住友海上火災保険関西総務部 次長 吉田 孝史氏

◆百貨店

大丸本社人事部 鈴木 英夫氏

◆建設

竹中工務店人事担当 吉末 信之氏

◆1989年度就職状況

【業種・規模別就職状況】

業種	会社数	規模				
		大企業	中堅企業	中企業	小企業	規模不明
金融	189	158	23	3	5	
建設	56	34	11	9	2	
製造	339	202	103	31	2	
卸売	224	63	112	49	1	
小売	103	62	30	9	1	
不動産	25	6	10	7	2	
運輸・倉庫	37	24	9	4		
マスコミ	14	2	8	3	1	
サービス	110	31	30	35	14	
非営利・公団	11	2	1		8	
公務員	55				国家13地方42	
農林・水産	2	2				
合計	1,165	586	337	150	3	
		50.3%	28.9%	12.9%	0.3%	

【地域・規模別就職状況】

地域	規模					計
	大企業	中堅企業	中企業	小企業	規模不明	
北海道・東北	1					1
関東	177	80	14	1	6	278
東海	10	1	2			13
中部	5	8	3			16
北陸	10	3	2		5	20
近畿	1					1
滋賀	2	4	3		5	14
京都	14	13	12	4	43	86
合計	253	158	71	2	38	520
兵庫	78	37	22	2	16	155
奈良	1		1			3
和歌山	3	5	4			12
中国	20	11	11			42
四国	10	13	4			27
九州	1	4	1			6
合計	586	337	150	3	89	1,165

※ 大企業：資本金10億以上 中堅企業：資本金1億以上10億未満
中企業：資本金1千万以上1億未満 小企業：資本金100万以上1千万未満
規模不明：資本金で分類できない企業

●旅行

日本旅行業協会(関西支部) 事務局長 岡本 義温氏
三菱電機総務部長 平川 亮一氏

●証券

大和証券秘書室課長代理 阪尾日出人氏
(第5回) 6月8日(金)
●自動車 日産ディーゼル工業人事課長 戸松 勇一氏

●電機

三洋電機採用課長 田中 勇氏

●中小企業 土井画材センター社長 土井 清志氏

国庫助成

◇平成元年度私立大学等経常費補助金について
平成元年11月18日付で申請して、いました標記の件について、平成2年8月24日付で確定通知がありました。
[確定額] 375、433、000円
[海外研修派遣補助金] 1、364、000円を含む
※前年度比6・7%減

本学で開催された
学術講演会・学会

◇第5回パネルディスカッション「あらためて関西を考える」の開催
経大大会主催による経大生のためのパネルディスカッション「あらためて関西を考える」文化と経済を中心にして」が、1989年11月28日(火)午後2時から5時すぎまで50周年記念館大会議室において、補助席も埋めてなお立つ参加者が出るほど200名以上の多数の参加のもとに盛大に行われました。
当日のパネリストと報告テーマ、ならびに総合司会者は左記のとおりです。
パネリスト
難波利三氏(作家)
「大阪に文化はあるのか」
武田 清氏(国際証券(株)専務取締役)
「産業構造の変化と大阪の将来」
重森 暁氏(財政学総論担当教授)
「内発的発展への道—おさか」
総合司会
森川 滋氏(地理学・経済地理担当教授)
難波利三氏は1984年に『て

関西を
めて



難波利三氏

んのじ村』で直木賞を受賞され、人情ものの現代小説を数多く執筆されることをはじめとして、大阪の、関西の文化の発展に尽力されています。武田清氏は国土庁委託「首都改造計画調査」等、ながく野村総合研究所において、また現在も都市問題の調査研究で活躍されています。

今回のパネルディスカッションも芸術会本部の学生による録音などでの活躍に支えられ、また父母や新聞社の方々の参加もありましたが、わけても特筆すべきこととして、19通も質問書が寄せられ、5人の学生が的を射た鋭い質問と発言を行い、討論を大いに盛りあげてくれたことでした。
なお、今回も図書館と中小企業・経営研究所により所蔵図書リスト「あらためて関西を考える」が作成されました。最後に日刊工業新聞が1989年11月21日の紙面に記事として取りあげてくれましたことを報告しておきます。

◇その他の学会・研究会
関西中小企業研究会

1990・3・10
1990・5・12
1990・6・16
(関西部会)
日本リスクマネジメント学会
1989・12・16
日本商業学会(関西部会)
1990・1・20
阪神地区私立大学教職課程研究連

公開講座

◇第8回公開講座開催

(大阪府立文化情報センター共催)
(メインテーマ)
到来するか!? ボーダレス社会
(趣旨)

氾濫する「国際化」。世界をめぐめるヒト、モノ、マネー、情報。フィジション化がすすみ、産業の秩序はゆらぎのなかにある。人と人を隔ててきた壁がくずれつつあるかにみえる。だが新たな摩擦も生まれてきている。私たちは地域の自然のなかでくらしと文化を育ててきた。見知らぬ土地とそこに生きる人々の汗の賜物を恩恵としてくらししている。ボーダレスの動きは強まるであろう。しかし、弱者が押し退けられ、強者が栄える「自由」な競争社会を人は望んでいるであろうか。21世紀を目前にする今、世界の人々のくらしに学

び、私たちの生活の基盤を考えてみよう。まといつく糸をときほぐし、人を引き裂いてきたボーダーを越えて、手を結ぶ道をさぐってみよう。明日を生きるために。



渡辺コンスタンス先生

(日時)

9月7日(金)～10月12日(金)
午後6時30分～8時30分
(スケジュール)

「自由化」

9・7(金) くらしから見たコメ
9・14(金) 日米貿易摩擦と流通問題
9・21(金) ブレーキング ボーダーズ
9・28(金) 人手不足と中小企業
10・5(金) 企業情報ディスクロージャーの国際化
—'92年EC統合を中

心に

10・12(金) 統計にみる世界と日本
申込者数45人、出席者数はのべ97人(内女性16人)で、好評のうち無事終了しました。

◇平成2年度大阪市大学開放講座
大阪経済大学市民教養講座の開催
平成2年度の標記公開講座(大阪市教育委員会と共催)は、1、035名(延べ)の出席者を得て左記のとおり実施しました。

時

開催期間 5月26日～7月21日
毎土曜日午後2時～4時
開催場所 50周年記念館大会議室
テーマ くらしの中の面白イズム
5月26日・6月2・9日
「くらしの中のナンダイズム」



徳永光俊先生

6月16・23・30日
「自分(歴史)の中に歴史(自分)を読む」
7月7・14・21日
「生活の中の数理」

◇「雲に向かって風に向かって」の完成
16m/m映画『雲に向かって風に向か』が、4月23日(月)完成しました。所要時間は約15分です。

このフィルムは、1987年作成の28分もの『大淀の水は春ゆく』を修正し、流政之氏作品の映像をモニュメントとして、タイトルに採用しました。先の作品を「歴史編」ととらえるならば、今回ののはさしづめ「ゼミ編」と言える程。ゼミの紹介にウエイトを置き、4ゼミの先生がたに特色を主張して頂いて、その間をさわやかな女性ナレーターでつなぎ、15分もの見易い長さに仕上げました。シナリオ作成から完成まで約7カ月かかりましたが、その後ビデオ化し、入試をはじめ、同窓生向け(37支部長に送付済み)、父母向けなどのPRに供しております。

マスコミ関係

◇1990年新聞紙上の本学記事



3/3	産経新聞朝刊 数学教育を見直すべきだ 西山豊助教授	6/20	スポニチ N.Z.街道 武者修行 ラグビー部
3/6	読売新聞夕刊 写す…自然、心を「石仏」 竹林祐吉教授	6/21	日本経済新聞夕刊 予測式電子体温計精度に バラつきも 西山豊助教授
3/20	朝日新聞朝刊 電子体温計の精度テスト 西山豊助教授	6/29	日本経済新聞夕刊 文化と経済の関係 大阪経大学会発行 『あらためて関西を考え る』大阪の文化と経済 ―
4/7	読売新聞夕刊 看護婦・一人二役・大学院 院生 松嶋紀美子さん	7/27	日刊工業新聞 ポーターレス社会で講座 公開講座
4/12	朝日新聞朝刊 「大阪経大市民教養 講座」	8/10	朝日新聞夕刊 ポーターレス社会テーマに 公開講座
4/18	産経新聞朝刊 大経大で来月26日から 市教委―今年度も大学開 放講座	8/17	大阪経済大学が参加募る 読売新聞夕刊 垣根とつ払って考えよう 公開講座
4/19	毎日新聞夕刊 病気遺児にも奨学金を 小亀裕司君(経済学部3年)	8/24	毎日新聞朝刊 講座 ―大阪経大公開講座
6/5	毎日新聞夕刊 「名水」水のアワ!? 淀川の水ブレンド 上島武教授(島本の水を 守る会)代表)		
6/15	毎日新聞朝刊 関西の大学担当者が語る '91就職戦線の展望 松原和男就職部長		

新刊紹介

上島 武 著
『トロッキーからブルバチョへ』
窓社 1989・9 260ページ
定価 2,930円

◇石川菊氏寄贈 『資本論』

初版本



ドイツの経済学者カール・マルクス(1818―1883)の名著『資本論』は、周知のとおり経済学の古典的名著です。そして、マルクス経済学のバイブルともいえる著作です。本学図書館では、長年、『資本論』の初版本を探し求めていましたが、本年3月、石川菊氏より全巻揃えて寄贈していただきました。石川氏は在職42年間を図書館一筋に精勤され、そして本学の発展に多大の貢献を残されました。石川氏ご自身、経大図書館に、『資本論』初版が所蔵されていないのを非常に心残りに思われ、本年3月末で退職の際に、経大でお世話になったお返しとして、『資本論』初版全3巻を寄贈してくださいました。

『資本論』は、全3巻4冊本(第3巻のみ2分冊)でハンブルクのオットー・マイスナー書店から、1867・1894年に出版されました。第1巻(1867年)のみがマルクスによって出版され、第2巻(1885年)、第3巻(1894年)はマルクスの終生の友エンゲルスに

より、マルクスの遺稿を編集して出版されました。『資本論』の内容については、ご存知の方も多いと思います。マルクスは、1859年に『経済学批判』を出版しましたが、『資本論』は、最初はその続巻として計画されました。しかし、この計画は変更され、独立の書物として出版されることになり、『経済学批判』は副題として付けられました。マルクスは、マルクス以前の経済理論を批判的に考察し、資本主義社会の経済メカニズムを分析しています。その全3巻の内容は次のようになっています。

第1巻 第1部 資本の生産過程
第2巻 第2部 資本の流通過程
第3巻 第3部 資本主義的生産の総過程

マルクスは『資本論』を4部構成で出版する計画でしたが、第4部「理論の歴史のために」は彼の死により未完となりました。この第4部は、後にカウツキーによってマルクスの遺稿を編集して、『剰余価値学説史』として出版されました。

『資本論』第1巻は、前述のように1867年にマルクスの手によって出版されました。発行部数は、およそ1000部程度だったといわれています。マルクスは、第1巻の初版および第2版(1872年本学図書館所蔵)を出版しましたが、計画半ばで1883年ロンドンで亡くなり、続巻の発行と各巻の改訂はエンゲルスの手によってなされました。第1巻は、その発行部数の少なさをゆえ、現在ではほとんど古書市場に回ることもなく、国際的にも稀観書と

なっています。この度、石川氏から寄贈された『資本論』初版は、全3巻とも保存の状態がとても良く、製本、装丁ともに美しく、本文用紙も100年を経たものとは思えないほど状態の良いものです。今後、これほど状態の良いもの

は出回ることはいわゆる。図書館には現在、貴重書のコレクションとして、『国富論』の初版をはじめ200点ほどの貴重書が所蔵されています。今回寄贈された『資本論』を、このコレクションの一部に加えることができることは大きな慶びです。それとともに、経大図書館の貴重書コレクションの核としてふさわしい図書が入手でき、慶びもひとしおです。

石川氏に感謝すると同時に、『資本論』を現在の美しさのまま後世に伝えねばならない責務を、図書館員一同痛感しております。

貴重な書物を寄贈していただいた石川氏に深くお礼申しあげますとともに、石川氏の今後のご健康とご活躍をお祈りし、この紹介を終わりたいとおもいます。

※この紹介文を書くにあたり、次の図書を参考にさせていただきました。

『資本論辞典』久留間敏造ほか編
青木書店 1961
『マルクス遺稿物語』佐藤金三郎 著
岩波書店 1989(岩波新書)

松本 剛 著

『ドイツ商法会計用語辞典』

森山書店 1990・3 419

ページ 定価 8,500円

山田裕康・楠瀬佳子編訳

ベジシーヘッド・グシナ・ムシヨーペほか著

『女が集まる「南アフリカに生きる

現代企画室 1990・5

228ページ 定価 2,266円

山田 達夫著

『日本の食糧・日本の農業』

労働旬報社発売

1990・9・1 261ページ
定価 1,600円
大阪経大学会編
『あらためて関西を考える』



「英語検定10年の歩み」展を終えて

小林 龍一 助教授



1980年(昭55)から本学の学生諸君を対象に世話をしました「英語検定」が昨年度をもって満10年になりました。そこで、これを機会に今まで以上にひろく皆さんに「英検」のことを知っていただくために、また、私自身の気持にひとつの区切りをつけてあらたな飛躍をめざすという意味からも、ささやかながら「10年の歩み」展を開催しました。期間は4月2日(日)から28日(土)までの4週間。場所は、本学図書館の御協力をいただき、同館2階の一隅をお借りしました。

会場には過去10年間(20回)の志願者数や合格者数を示すグラフ7枚を掲示するとともに、ガラスケースに、これまで「英検」の情報誌として発行してきました「ひろば」(経大生協発行)16冊を展示しました。その横の机には「ひろば」のバックナンバーと最新号、さらにこのイベントのために作成したパンフレット「英語検定と私——合格体験記特集」(30ページ)を100部置いて、来場者に持ち帰ってもらうようにしました。パンフレットは過去の「ひろば」に掲載した合格体験記から抜粋したものを1冊にまとめて作りました。

こうして展示会が始まりました。ヒマをみては様子を見に行きましたが、「ひろば」やパンフレットの減り具合などから察するに、関心のある学生もかなり居るように思いました。そして、会期が終わるかなり前にそれらは「完売御礼」となり、展示会は成功のうちに終わったのでした。

さて、これでいよいよ10年という区切りがついたわけですが、まさに「十年ひと昔」。これまでに会ったいろいろな学生やさまざまな出来事が思いだされて感慨無量です。最初ゼロから出発したこの仕事も、現在では学内各部課の皆さんの御協力が得られるようになって以前にくらべると随分やりやすくなりました。'Where there is a will, there is a way.' という諺がありますが、意志・意欲を持った学生がいたらその目標を達成することができるよう「道」を切り開いてやるのが私の役目だと思っています。また、私自身「受験」という予測のできないドラマが大好きです。それを観客席の一番前で見ることができるのですからこれほどスリルに満ちたことはありません。

私は、これまでの1,941名の志願者と158名の2級合格者を心の支えとして今後もがんばっていくつもりでおりますので、皆様の御支援を心からお願いいたします。

訃報

◇住友一次教授逝去



住友一次先生は肝不全のため1989年11月23日午後1時12分、川西市の協立病院で逝去されました。享年48歳。

先生は昭和16年3月26日のお生まれで、ご出身は徳島市。昭和41年3月北海道大学大学院獣医学研究科修士課程を修了後、同年4月大阪大学医学部高次神経研究施設研究生として入学、昭和42年10月同大

学医学部高次神経研究施設助手になりました。

本学には昭和43年4月に着任され、昭和57年2月には教授に昇格されました。専門は神経科学。

研究意欲旺盛な先生は、昭和50年大阪大学から医学博士の学位を授与され、昭和58年には更に研究活動を続けるため、秋田大学医学部に1年間留学、その成果を昭和61年7月カナダで開かれた第30回国際生理学会において発表されました。先生は人一倍正義感が強く、また動物を愛するやさしいお人柄でした。

1989年11月25日(土)午前11時から、自宅において告別式がしめやかに営まれました。

喪主は奥様の千枝子さん。謹んで先生のご冥福をお祈りいたします。

先生の近況

近況

岩井 茂先生



昨年春、末娘の素子(未婚)というのを48歳という若さで亡くし、自分ではこれも因縁と覚ったように思っていました。ハタ目には大分ショックを受けているように見えたらしいのですが、昨今は元氣を取り戻したようです。と、いわれています。ところが今年の春頃胸痛を覚え、神戸の中央市民病院で検査の結果、肝臓に腹水が溜って、若い人なら切除できるが老齢故それができない。針を入れて吸水する方法もあるが、再発を防ぐため無水アルコールを注水せねばならぬ。その副作用が心配だからできない。今のところ命には別条はないから、そのままにしておきましょうとのこと。で放置されています。日常生活には支障なく、92歳のよわいを保っています。

『誰彼通信』続刊中

池野重男(高理)先生

ボクも経大で15年の教員生活となり、時には梅田や難波の街中で卒業生に声をかけられ彼らの変わり様に「誰だったかいな?」と必死で名前を思い出す努力をすることがあります。

円高をはじめとした様々な変化の中で、卒業生たちが企業の中でどのような労働をしているのか、或いは転職の中でどのような経験をしているのか——いまゼミではルポルタージュの勉強をしていますから、こうしたこと



はボクに、そしてこれから就職していく学生たちに、とても参考になるのです。

何人かの卒業生は連絡をくれたり、ボクの自宅に寄ってくれたりしています。しかし、もっと多くの声がボクには欲しいのです。一度連絡下さい。相変わらず出しているボクの個人通信『誰彼通信』を送りますから。

先日ひよっこりとF君が「こんなんでイイ筈がない」と会社をやめた——と来てくれました。みんな頑張っています。声の交換が通信でやれるようにしたいのです。住所変更しでは又。(保険論)



感激の再会…
OB会盛大に開かれる

稲原康雄先生

4月15日、E館7階でゼミ・オート合同のOB会があった。いつもの講義形式で始まったが、私は何かを話し乍ら、目は中天の星を眺めるように懐かしい顔触れを次々と追っていた。経大生活何十年の駒々が一堂に煌めいているのである。感激的なひとときを設営して下さった幹事諸氏には御礼を、だが、参会の諸氏には物足りない半日ではなかったかと案ぜられる。遙々と来て、言葉を交すことさえ盡せなかったのだから。尤も、駅から学舎までだけでも、世の移りの激しさを、御無沙汰の度合に比例して驚かれたことでしょう。

所で、私自身は今も「鯨」、生命にとっての時間の逆流を泳いでいる。これも蠱惑的な未知の人生であることに変わりはない。住居は、建立六十余年の例の陋屋、インテリア専門の大塚章介氏によればその中味をも含めて（quasi）文化遺産的価値ありとのこと。堺田蹟を巡る「テクテクロード」上に在り、機会あれば御寄り下さい。（交通論）

「清寿会」に出席されたし

井上 清先生

井上ゼミ出身の皆さん、元気に活躍されていることと推察しています。小生も会議には出席できませんが、元気に講義（工業経済論、

企業形態論）をし、ゼミ生の指導に当たっていますので、御休心下さい。現在本学では、2回生にもゼミ（教養）があり、ゼミの充実が図られています。4回生のゼミ生の就職は、長期の好況の下、今年度もきわめて順調で、過去の困難であった時代のことを思うと夢のようなです。今年度の4回生のゼミ旅行は、わが国最後の清流といわれる四万十川（四国）を訪れる予定になっています。3回生は、例年、仁川ハイッで研修合宿を行うことに決めています。ゼミ出身者の諸君は、同窓会や清寿会、シルバー会（60歳以上）などで会える機会がありますので、その際には奮って出席して下さい。お待ちしております。

伊豫田ゼミOBの皆さんへ

伊豫田隆俊先生

先日、『キャンパスだより』に私のゼミが紹介されました。私のゼミの学生がゼミの情况について投稿してくれたのですが、おかげで私はすっかり有名人になってしまいました。というのも、その内容がゼミ合宿最終日の打ち上げコンパの模様をリアルに描写したものであったからです。

私と2年間学生生活をともに過ごされたOB諸氏には、そこで一体どんなことがあったのか、おそらく容易に想像がつくことでしょう、そうです。私はまたやってしまったのです、懲りもせずに。悪い病氣というのは治らんもんですなあ、ホンマに。こうなったら気どっていてもはじまりませ

心に残るドイツ留学

大槻裕子先生

ドイツ留学を終えて今年で3年目。ボンやケルンのあの街並、その街角がいよいよ懐かしく思い出される今日今頃である。しかし今年度は、I・V・G（ドイツ語学文学国際学会）の第8回大会がこの8月上旬に（1週間）東京三田の慶応大学で開かれ、海外諸国から数多のゲルマニストが日本を訪れる筈である。それ故私もこの大会参加のため、今年度は日本を離れないことにした。この東京大会ではゼミ研究でその名も高いカタリーナ・モムゼン教授（スタンフォード大）、アルブレヒト・シエーネ教授（ゲッチンゲン大）の講演が、それぞれ大会初日と最終日にあり、大変興味深く期待されることである。ケルン大学でお世話になったケラー教授は昨年暮れあたりから具合が悪く手術をなさったとか。その為大変残念ではあるが今年には日本に来られない。由。しかし9月にはシエーネ教授が大会終了後京都に来られ、親しく教授を囲んで雑談出来る機会がもてそうなのは、大変うれしいことである。

「経大の懲りない一教員」より
（会計監査論）

大経大が好きになってきました

置塩信雄先生

その4月から経済学部の一員にしていたいただきました。神戸大学では経済原論、数理経済学を担当していましたが、大経大でも原論を講義しています。激変する世界の経済について、学生諸君も大きな関心をもっているようです。この関心を育てるような講義をしたいと考えています。

まだ3カ月ですが、大経大の学生諸君が好きになってきました。明るいことがなによりです。ゼミも楽しくやっています。研究討論旅行など活発になればと願っています。

諸先生方とも研究会などを度々もっているようなことを教えていただき、値打ちのある共同成果をあげることが出来ればと願っています。どうか、御協力下さい。

学生との共有に喜びを

片山麻美子先生

早いもので4年目となりました。授業は試行錯誤の連続で、どんな題材を選ぶか、学力の格差をどう克服するか、悩みました。それでも、年も追うごと、キャンパスで見知った学生の顔が増え、声をかけるのが楽しみになりました。熱心に学ぶ者も多く、大学生活を

先生の近況

昨年三月経大を退任して
以来の近況の一端

倉辻平治先生



毎月第2火曜日、昭和10年大学卒同期生が集り、昼食をとりにします。小生も常連の一人として出席しています。特に、本学の元学長藤田先生のゼミ生であった立野保男氏（岩波文庫版、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』の翻訳者）と会って話し合うのが愉しみです。

7月21日、第14回倉春会（小生ゼミ卒業生の集い）が開かれました。今回も五十余名が参加してくれました。それぞれ各界の第一線で元気に活躍しておられる倉春会諸友の姿に接し、何よりと思えました。

社会科学から自然科学へ

竹林庄太郎先生



拝啓、私も84歳の山を越え85歳への歩みをつづけております。健康状況は、脚部と眼が老化しており、外出は殆んどせず讀書のみです。「社会科学」より、「自然科学」に移行過程です。同窓生各位のご発展とご健康を祈り上げます。

不二

先生の近況

中尾ゼミナール卒業生の
みなさんへ

中尾茂夫先生



中尾ゼミ卒業生のみなさん、お元気ですか。卒業して数年経つと、もうすっかり社会人としての風格がでてきたころかと思いますが、同時に、仕事や生き方などで問題にぶつかり悩むこともあるかと思えます。大学時代が日に日に遠くなっていく感覚になつていないでしょうか。

わたくしは、昨年12月から4カ月間シカゴに行っていました。最近では海外出張はなんら珍しくはなくなりましたが、それでも、海外からみる日本社会と日本だけの情報で判断する日本社会では相当イメージが異なるように思いました。海外旅行者数が年間1千万人を超えるという時代で、ニューヨークやワシントンDCのショッピング・ストリートは日本人で溢れていましたが、わたくしが奇妙に思ったのは日本人同士の会話の困難さです。知っている者同士は実にリラックスした関係を保てるのですが、知らない者同士はまったく警戒しあつてうまく話が進展しないのです。それは、わたくしが在米の日系金融機関をインタビュしたときに気付いたのですが、紹介状があるかないかで、相手の対応が一変するわけですね。

日本社会というのは、基本的にはインサイダー社会ではないかとわたくしは思

楽しむ者、クラブに励む者、色々ですが、彼らの4年という人生の一時期を学生と共有するのは私にとっても嬉しいことと思えるようになりました。

「私語」に取り組んだゼミ活動

重本直利先生

今年の3回生前期ゼミのテーマの一つとして「私語」をとりあげました。これには三つのねらいがあります。第一は、ゼミにおいて自分から積極的に意見を出すということが年々むずかしくなってきたという状況を開き直すため、学生にとって身近な問題を取りあげる。第二は、「私語」が今日の大学がかかえる深刻な問題、つまり大学教育が成り立たなくなるという深刻な状況を学生自身に考えてもらう。第三に、こうした身近で深刻な問題を社会科学はどこまで分析しうるか、あるいは、つまり社会科学はどこまで有効かを確かめ、その魅力を体験してもらおう。以上でした。ゼミで繰り返し取り上げ話し合った後、講義受講生にアンケートをとることにになり、その内容の検討に入りました。こうした中でゼミ生は、「私語」問題が現代の学生・若者がかかえる問題から社会問題、そして現代日本社会がかかえている問題であるという認識をしたようです。ゼミ運営は頭をかかえることが多いこの頃ですが、こうした身近な問題を社会問題に広げていく中で、社会科学を学ぶ意欲を少しでももってもらいたいと考えています。

(情報管理論)

教科書を執筆中

土居充夫先生

この4月に赴任したばかりの新任教員です。赴任直後に、長時間にわたる部会・教授会の洗礼をうけ度肝を抜かれましたが、先輩教員の話では「あれは例外だ」とのことでした。事実その後はしだいに時間も短くなり、ホッとしています。多くの学生は真面目で、ややおとなしいという印象をうけました。それでも、こちらが自信のない講義をしているときは、退屈していることが学生たちの表情にはつきりと出ますので恐いです。

現在、共同で教科書を執筆中です。若者たちの政治的無関心は、環境の産物という側面がひじょうに大きいのです。かれらの政治的関心をかきたてる刺激的な作品に仕上げたいと考えています。

OBも卒業旅行に参加しませんか

中川 操先生

「ことばと文化」というテーマでゼミを担当していますので、日本以外の文化とことばを求めて1年に数度海外へ資料集めに出かけます。今年(90年)お正月に香港、2月シンガポール、3月韓国、5月はヘミングウェイの住んでいたキウエスト(フロリダ)、8月は経大生が英語研修で十数名参加しているスポートケン市とマウイ島に出かけました。5月の時はゼミの卒業生数名とアメリカで再会し、

全力でがんばりたい

高津芳則先生

今年4月より、本学専任講師として勤務することになりました。はじめての関西生活の中、はじめて講義をするということ、やや疲れがみられる日々です。「はやく生活になれ、学問と教育に全力でがんばりたい」と考える今日この頃です。

(教育行政)

自由の身になって

田村寛康先生

この夏は、学会旅行で大山に行ってきました。三仏寺投入堂、大山寺阿弥陀堂阿弥陀三尊の素晴らしさは言うまでもありませんが、大山寺参道の杉木立にぶらさがる蟬の脱殻を見ていて、ふと、この3月まで続いた十数年の公務員生活が思い起こされ、私も、やっとならぬ身になれたのかと感無量でした。転出の後始末も殆ど片付け、大学生活にも少しなれてきましたので、7月から、手始めに、大阪府泉佐野市と和歌山県かつらぎ町の悉皆調査(美術工芸)を始めました。調査は汗と埃に泥まみれとなる、美とは全く無縁の苦行の世界ですが、嫌にならないのが不思議です。美術史は体力と気力があれば出来ますので、いづれ経大生にも手伝って貰おうと思っています。よろしく。

(芸術学)

大変なつかしかったです。中にはアメリカ人のガールフレンドと一緒に現れた卒業生もいて、羨しがられていました。一年半も居ると英語に不自由を感じなくなるようですが、勉強は大変ハードなようで、はじめて勉強らしい勉強をしていると言っていました。MBAをとって帰国される日が楽しみです。91年2月の卒業旅行はブーケット島、シンガポール(約10日間)です。卒業生も休みがとれたら参加して下さい。日程は2月15日〜24日(実際は25日早朝帰国)です。お電話下さい。0798(74)1378

(英語担当)

国際化に対応して

松原和男先生

ゼミOBのみなさんお元気でしょうか。本学の今年の就職は、卒業生のみなさんの御協力もあって、大変好調であったようです。紙上を借りて御礼申し上げます。

私のゼミのテーマは、この数年間「現代日本経済の研究」となっていますが、ゼミ旅行の方は日本経済の国際化に対応してか(？)、さいきん海外へ出かけることが多くなりました。日本経済を学び、日本の企業に就職する者にとって、たとえ旅行者の眼であっても、諸外国の事情を見ることが有意義なことだと思います。

一昨年は香港、昨年はシンガポールでしたが、今年もゼミ生諸君の希望地は外国が多い

先生の近況

います。アウトサイダーに対しては大変厳しい社会です。もちろん誰もがるところではインサイダーであり、あるところではアウトサイダーなのですけれども、その相互のコミュニケーションがうまくいかない。ウチとソトという関係がそれです。ホンネの情報はすべてウチのなかで交換され、ソトにはすべてタテマエが開陳される。そういう社会ではそもそもパブリックという意識はないのではないだろうか。

しかし、そういうスタンスというのはパブリックの場で意見を交わすという段になって、相手がそもそもインサイダーなのか、アウトサイダーなのかかわからない状況では、きわめて明確さを欠く事態となってしまう。つまり、相手がウチの者か、ソトの者かがわからなければ話す糸口すら掴めない、というのが日本人的発想のように思います。最近、そういう日本人的な考え方の特質、そのような特徴はどういう経済構造の所産なのかというようなものを考えておられます。一言でいうと、それはユニフォーム・キャピタリズムという形容が相応しいのではないかという意味のことを書きましたら『エコノミスト』毎日新聞社、90年6月19日号)、激しい賛否両論をいただきました。

では、みなさん、お元気で幸福であることを祈りつつ、キーボードを叩くのを終りにします。

(大阪市立大学経済研究所助教授)

ようです。この号が出る頃には激動する世界を海外のどこかで実感していることでしょう。

もし時間が許せば、ゼミ旅行のみやげ話でも聞きに訪ねて下さい。(経済変動論) **ちよつと立ち止まって考えてみては**

松村文武先生

卒業生の皆さんお元気ですか。早いもので私も経大に移って15年目になります。ただ学部長の任期が1年半を経過しましたので疲労はピークに達した感があります。それも「経営情報学科」新設申請、臨時定員増等いくつかの懸案への対応が重なったためでもあります。もちろん、これらの努力が本学の新たな発展に資することになれば、その疲れも幾分癒されるというものです。

さて、わがゼミの12期生(90年3月卒、16名)は、画期的な仕事を残してくれました。卒業論文を書物形式で論集として発刊したのです。立派なハードカバーのついた300ページほどのものです。これは全員がワープロで卒論を提出できたことによりです。今後この方式を続けたいと思っています。機会があれば皆さんにもお見せしたいと思っています。

さて、世界経済は集権型経済の崩壊、バブル経済の不安定、環境破壊の深刻化という矛盾を抱え、日本経済は地価暴騰と長時間過密労働によってかなり疲れがみえます。皆さんもここらでちよつと立ち止まって我が人生と人類の未来を考えてみてはいかがでしょう。

(国際経済論)

弱さのなかの強さについて

松本 剛先生

一、勉強がだんだんむつかしくなってきたという感じと面白くなってきたという気持ちがいまじり合っています。病氣してから体力がなくなっていたところへ、齢のせいも加わりましたので、このごろしきりに、昔読んだ「弱さのなかの強さについて」という言葉を自分に言い聞かせてがんばっています。
二、'90年3月に『ドイツ商法会計用語辞典』を刊行しました。約20年かかってやっと完成です。(会計学)

元気を取戻してガンバっております

門坂正人先生

ゼミ旅行も近年、沖縄本島を目的地として実施しております。以前は往復、船を利用し、民宿に宿泊、きわめて質素に行っていました。この3年、航空便利用、デラックス・リゾート・ホテル泊に変えました。学生もケロツとしているのを見えますが、あるいは苦労しているのかも知れません。来年以降どうしようかと思案中です。

還暦を過ぎてから身心不調を来し、2年前には胆のう摘出手術のため2カ月入院し最悪の状態に陥りましたが、幸い最近元気を取戻して頑張っております。本年10月で65歳。老境に入ります。諸君の御多幸をお祈りしております。(民法総則)

MY RECENT STATE

レッドフィールド先生

7/25 Things are fine in my 5th year at Dai Kei. Hey, they even made me chairman of the English Dept. Football is getting better and now you can even see girls on campus. Too bad about the Tigers but the Braves are still going strong. And I've already got 4 Homerun balls this year. Look for me on T.V. All the Best, Babe Redfield

我が人生の選択

渡辺 泉先生

校務で忙殺された2年間でした。大経大に就職して16年になりますが、夏休みに論文が書けなかったのは、今回が最初です。そして、最後にしたいと願っています。役務を解放される4月からは、遅れていた次の出版に取り掛かる予定です。題名はもう決まっています。内緒ですが、教えましょう。『決算会計史論』です。1992年の4月には、書店の書棚に並べるつもりです。

清寿会文化サロン

井上ゼミOB会

清寿会(井上ゼミOB会)を母体として発足し、約3カ年を経過、メンバーも清寿会だけでなく13期から25期にわたる実年者を中心とした幅広い参加者を得、その時々に関心深い話題をテーマに、講師を中心にして意見の交流を行い、その後、場所を変えて食事(酒)を共にして懇親を深めています。会合毎に経専・経大卒の友人・知人に呼びかけ、毎回20名前後の参加者で楽しく行っています。

今迄の「催し」は、
「中国の経済事情を視察」(1988年8月)
「ジャンプ経済とジャンプ相場」(1988年9月)
コスモ経済研究所 赤迫 宏氏

TEL 0720(31)0717

居野家博之(40)

〒573 枚方市東中振1丁目7-18-1101

「相続と改正税法」(1989年1月)

母校大学院講師 松本茂郎先生

「私等の今後の健康管理」(1989年8月)

西淀病院副院長 田尻俊一郎氏

「株式のアラカルト」(1989年11月)

コスモ証券株式次長 辻 志郎氏

「激動の東欧」(1990年2月)

母校教授 上島 武先生

「北・東欧を旅して」(1990年9月)

北欧を見る 母校教授 井上 清先生

他に新年宴会1回、懇親会6回、版画展2回、会のニュース紙「文化サロンニュース」

16回発行等の「催し」を重ねて来ました。今後とも時事問題を中心に意見交流と親睦を深めていきたいと思っています。関心のある方は事務局へご連絡下さい。

〒541 大阪市中央区高麗橋1丁目3番2号

メゾン高麗橋1002号

スガ経営事務所 菅 脩

TEL 06(229)8525

FAX 06(229)8518

第14回倉春会開催

倉辻ゼミOB会

うだるような暑さの中、第14回倉春会は、今年も7月21日(土)に、レストラン・パレス(新阪急ビル12階)で18時から57名の参加で開かれました。当初62名の参加予定が減少した(特に常連の方の取り消しが目立った)

少し年を取ったのでしょうか。余り無理が利かなくなってきました。体調もパーフェクトではありませんが、どこが悪いというわけでもありません。2年間の疲れがたまったのでしよう。少しずつ、元に戻して行くつもりです。大学も随分と奇麗になりました。一度立ち寄って下さい。そして、研究室のドアをたたいて下さい。(会計学)

稲原先生退職記念総会開かる

稲原ゼミOB会 自動車部OB会

4月15日(日)13時より同窓会ホールにおいて、稲原康雄先生退職記念講演会「交通事故批判」が開催されました。当日は「交通論」でお世話になった稲原ゼミOB会及び顧問として指導を戴いた自動車部OB会の合同主催というこで、約80名の会員諸氏が全国から参加しました。

先生には、「心静かな中にも一つ芯の通った考え」「どの様な立場の人に対し



稲原先生を囲んで(母校記念館ロビー)

のは、開催日が第2土曜から第3土曜に変更になったためかと思われます。

倉辻先生・比企先輩のご挨拶、陶山前会長の乾杯の音頭でいつものように幕を開け、全員が大いに語り、飲み、食べての2時間30分でした。初めて参加された方々も開会前には多少のぎこちなさが見受けられましたが、すぐに溶け込んでしまい、共通の基盤に立つというところはこういうことなのかと改めて認識させられました。また、なかでも女性4名の少数参加でしたが、周囲を圧する存在感は昨今の女性パワーのすごさを再認識させられました。

例年は先生がドイツ語で歌をうなされるのですが、今回は杉本秀太郎編『伊藤静雄詩集』岩波文庫の中から一つの詩を朗読され、全員が、その詩集を開いてしばし厳粛な気分になりました。しかし、その静粛さも、倉春会には欠かすことのできない北浦君の音頭による逍遙歌斉唱、松尾先輩の萬歳三唱で完璧にいつもの倉春会に戻っ



第14回 倉春会 (レストラン・パレスにて)

てのお開きとなりました。

今年のおトビックスは、先生が母校の学校法人の評議員に就任されたことと、今日まで会を引っ張っていただいていた陶山会長・比企顧問から新役員（森川雅晴・吉村元伸・大原真澄）への引継ぎ（お二人には引継ぎ名誉職として今後も相談にのっていただきますので実質的な変化はありません）行われたことです。今回から新役員が執行いたしましたので何かと反省することが多い会でしたが、倉春会の皆さん、今後ともよろしくお願いいたします。なお、来年度より、倉春会は7月の第2土曜日18時から、レストラン・パレス（新阪急ビル）で行いたいと思いますので、年初よりご予定にお組み込み下さい。また、倉春会会員の名簿を新規作成する件は、現在製作中ですから次回には配布させていただきます予定です。

最後になり失礼とは思いますが、当日、出席者全員に先生から『伊藤静雄詩集』を御土産としていただいたことを会員を代表して心からお礼申し上げます。ありがとうございました。先生、会員の皆さんのご健祥と再会を祈念しつつ……。

森川雅晴 (39)

久方振りに恩師を訪問

鈴木正里ゼミOB

平成2年1月14日、卒業後32年振りに恩師鈴木正里先生を長岡京市のご自宅にお見舞のため訪ねました。

昭和33年卒（24回）のゼミナールのメンバー（岐阜県各務原市よりかけつけた巨漢多田君、在阪の山崎、梅川の両君、丹波篠山よりの小林）も久方振りの再会に話しがはずみ、鈴木先生を囲んで歓談、かつての師弟関係をとり戻し、長年に亘る歳月のギャップもうめられたとまず安堵しました。

鈴木先生は77歳、体力的には往年の闊達さこそみられないとはいえないものの、学究の徒としての姿勢はまだまだ脈々としたもので、私ども感動いたしました。研究室で共に『賃金論』を学び、苦難のわれらが青春の日々をふりかえり、談論風発、学窓を出て32年の歳月ありといえども、全く皆学生気分楽しんで一日を過ごしました。

先生宅を辞した後、ミナミの料亭でテーブルを囲みお互いの家族のこと、又これからの処生について話はつきません。又次の集合を約して散会しました。多田君は東海支部の活動に力を入れてやりたい旨の発言がとび出すなど、母校への想いが沸々と湧出しているのが分り思わず握手又握手でした。誠に学友とは有難いものだとしみじみ深謝。

各々ゼミナールの皆様も恩師を訪ねられ旧交を温められたら如何かと発案申し上げます。大学の一層のご発展を切望して止みません。

小林仁志 (24)



盛大にOB会発足!

濱本ゼミOB会



濱本ゼミOB会発会式 (同窓会ホールにて)

8月26日、母校同窓会ホールにてOB会の発会式を行いました。初代の29回(S38卒)から56回(H2卒)まで、なんと年齢差が27年もあり、先生のご健在とこれまでのご苦労に出席者全員感謝と感激で一杯でした。この間のOBは約1000名を数えますが、この度住所の確認が出来た方が約570名で、この方々にはご案内が届いていないはず。

当日は49名のご出席を戴き、中村(31)さんの司会によってなごやかに進行致しました。新しい方から古い方に自己紹介が始まりますと、先生もその時々思い出をコメントされ、司会者の時間制約の制止もきかず、延々と想い出を語る諸兄諸氏に一段と親睦感が高まり、大変意義あるものでした。

来年も8月の最後の日曜日をOB会の開催日と定め、30、31、32回生が企画運営し、代

表幹事に松浦(30)さんを選任しました。出席の各回の方に名簿を渡し、それぞれの回の掌握をお願い致しました。既に来年は10名以上参加する約束をした回が3期もできて、収容会場も心配の嬉しい発会式でした。今後益々隆盛に発展させるためにも諸兄の協力をお願いすると共に、今回の準備に多大な御尽力をいただいた松本先輩はじめ、山本松浦、南浦、中村、片岡諸先輩や、後輩の迫田、龍本君に深く敬意を表します。ぜひ来年も成功させましょう。

桑原純克 (32)

子連れで同期会



松村先生を囲んで

松村幸一ゼミOB会 今年も松村幸一ゼミ恒例の同期会が6月に梅田の「鳥よし」で開かれました。毎年大阪近辺在住の10名程が集まり、先生を囲んで在校中の思い出から現在の愚痴までと話題も豊富に楽しいひとときを過ごしております。松村ゼミの中では、同期会を毎年開いているのは私達の学年だけで珍しいケースのようですが、今年はお子様連れの方もいらつしやいましたので、「卒業してからも16年もたったのだなあ」と年齢を重ねるごとに早くなる時の

流れを感じてしまいました。

「一度一泊で同期会を」という案が出ておりますが、なかなか実現しそうもありません。最後になりましたが、毎年先生には新しい名簿を作っていたいただき感謝しております。

仲(森)美知子 (40)

玉置保先生『遺稿集』発行される

玉置保先生の『遺稿集』が1999年9月発行されました。(A5判、100頁) 3,200円(送料込)

購読希望の方は左記宛お問い合せ下さい。

柳原太郎氏(奈良産業大学) 〒520-23 滋賀県野洲郡野洲町大字永原 堤下1157-110 Tel 07758 (8) 3971

剛友会総会へのお誘い

松本剛ゼミOB会

とき 平成3年1月13日(日)

午後1~4時

ところ 太閤園(大阪市都島区網島9-10)

Tel 06 (356) 1111

講演 長尾 晃氏(8回卒)

迄、ご期待!

10年振りの総会で逢いましょう。

住友一次教授を悼む

母校教授 井手 經三



彼と私との出会いは昭和41年に遡る。当時私が研究生として在籍していた阪大医学部高次神経研究施設(阪大高次研)に北大獣医学部の修士課程を終えた彼が研究生として入って来た時である。

私が彼を本学の助手に招いたのはその2年後のことであった。それ以来、阪大で研究に従事しながら本学での教育に、組合活動に、持ち前の誠実さを発揮してきたことは周知の事実である。

2部の授業の後、帰路に就くとき、バドミントンに汗を流した彼が、体育館から出て来るのにしばしば出会ったものである。今でも夕方あのあたりを通れば思い出される。



昭六会90例会

第6期生会

前日の雨で背山の緑が一段と鮮やかな神戸で、1990(平成2)年度、昭六会(6回卒同期会)例会が開かれた。



昭六会(平成2年5月、舞子ビラにて)

ときに5月15・16両日、ところは眼下に工事たけなわの明石架橋現場を俯瞰、指呼の間に淡路島を望む「舞子ビラ(神戸市垂水区)」。

集いくる友、24名、来賓として恩師藤原光治郎先生、磯野同窓会会長、陰下事務局長のお三方を迎えて賑やかに活気を呈するなか午後6時大広間で開会宣言、世話人を代表して土手勘次君が挨拶。続いて黒正先生をはじめ今は亡き恩師、旧友を偲び黙禱を捧げたあと、藤原先生より挨拶に代え、珠玉のエッセイともいえる格調高いお話を承り、磯野会長から大学の近況を、陰下事務局長よりは母校の発展のため一層の協力を望む旨の挨拶があつて酒宴に移る。

お互いに一年のご無沙汰であり、初参加の顔も交えて急ピッチに話はずむ。次々に運ばれてくる料理や酒に、グラスや杯が忙しく行き交うなか、談論風発、懐旧の情そのつぎるところを知らない。更にカラオケも加わつて宴まさに最高潮、アツという間に時はすぎ定刻の9時。学園歌を斉唱、閉会。

来賓をお見送りのあと、或いは就寝、或いは談話室へ。明けて16日の朝も好天に恵れ、10時、初夏の浜風の心地よい舞子浜に「移情閣(孫中山記念館)」を訪れ、革命の祖、「孫文」をはじめ激しく揺れた日中交流史のヒーロー達の遺墨、遺品に往時を回想する。

「JR元町駅」から、南京町、栄町通りを経て神戸港中突堤に着、正午、観光船に乗船、神戸港巡り。川崎重工、三菱重工のドックを眺め、華麗な巨船や無気味な潜水艦、大小の出船、入船が行き交い港は忙しい。ポートアイランド、神戸大橋を経て帰路に就く。海上からみる港都神戸、緑の六甲山に抱かれた街のたたずまいはエキゾチック、しばし一行の旅情をそぞる。

タワーサイドホテルでおそい昼食、酒も入つて、ここでもワイワイイガヤガヤ。定刻2時、今年参加できなかった友の健康を気遣い、来年は是非と願いつつ、又今年の顔は来年もと、別れを惜しみながら再会を約して解散。三々五々家路についた。この両日、一同は半世紀をタイムスリップ、青春を満喫した。

戸田 秀親

OB会

同期生クラブ

「ぼたん会」報告

日時…平成2年1月20日(土)
場所…神戸北野町…料亭北野異人坂



ぼたん会(平成2年1月、北野異人坂にて)

サービスもいい。出る話は殆どいつも同じなのだが、それが一番の御馳走……。

丹家(旧姓政井)邦夫君が自作の「いちご」を持ってきてくださった。一粒々々がなんとゴルフ球を少し長くしたような大きさ、甘くて、俗にいうほっぺたが落ちそう…美味である。

事務局長から、母校の現況を伺う。益々の発展を祈るや切である。解散後三々五々点在する異人館を訪ね、エキゾチックな雰囲気を楽しんだ。

参加者…伊藤、石井、佐藤、沢田、浅野、足立、丹家、大橋、柴田(安)、柴田(秀)、柴田(真)、琴野、石森、石垣、市川、林、関田、長尾。

長尾 晃



久しぶりに場所を神戸に選んだ。しかもいつも若いカップルや家族連で賑わっている異人館の真中、寒いことも、急な坂も何のその……集まるもの18名、それに陰下同窓会事務局長が参加して下さった。料理はシーズンの味「かにすき」である。こじんまりとした部屋、

第17回八期生会……五十年周年記念会

第8期生会

日時…平成2年5月28・29日。
場所…兵庫県宝塚市「宝塚ホテル」
この度も悲しいことだが、「板野良三、篠原敏男、酒井 宏」の3君が亡くなられたことを報告し、暫しの黙禱で会を始めなければならなかった。



8期生会(平成2年5月、宝塚ホテルにて)

現在は殆どの友が現役を去り、第二、第三の人生を送っている。こんな時にこそ、しみじみと友のことを考えたい。仕事の関係もなくなり、果たして何人を真の友として指を折ることができるだろう。「なにごとの あるとなけれど逢わざれば ころろは渴く あはざらめやも」という古歌がある。心から語れる友の集まりがこの8期生会だと思っているのだが。

今年花と緑の博覧会と昔懐かしい人もいるだろう宝塚歌劇の観劇をも考えて例年より早く計画した。名門「宝塚ホテル」での立食パーティー、磯野同窓会長のユーモア溢れるご挨拶の後、出席者27名に一人一人2分間ほどマイクの前で語ってもらった。昔話あり、友情論あり、近況あり、健康論あり

り……今まで聞けなかったそれだけの人の味のある話に聞き入る。終わって会場を和室に移しアルコールに強い人、弱い人各人にエンジョイしながら歓談、時のたつのも忘れて話がはずむ。

翌朝食は和洋食のバイキングを楽しむ。早速に花博に向かうグループ、神戸に足を伸ばす人たち……また来年……再会を約して流れ解散。

今回は関東の世話人にお任せしたい。また元気で会おう……「友情に老いあらしむるなかれ」と念じながら。

参加者…伊藤、関田、矢野、川村、村山、琴野、浅野、藤沢、宮崎、大橋、滝中、石垣、梶村、山本(克)、工藤、富永、石森、沢田、林、藤岡、佐藤(順)、丹羽、市川、柴田(秀)、柴田(金)、長尾……以上27名。

長尾 晃



九友会の集い(於高山市) 嬉しい一つは、婦人部発足

第9期生会



九友会 (平成2年7月、高山にて)

平成2年7月7日(土)一泊二日「ひだホテル」にて開催す。

参加者は、九州、中国、近畿、東海、関東と広域にわたっています。

本年は、とくに、女性、12名(同伴者)となり、さながら男女共学の同期生総会となりました(総参加者 36名)。

同窓会本部 事務局長 陰下嘉

典氏より、「同期生という気安さ、16年の伝統の会、開催地が全国横断的に行われているユニークな会として、高く評価しています」と、おほめのことをいただきました。

宴席が一段と盛り上がったとき、

今日の喜びを糧に頑張つてゆこう!

ひとみ会(13期生)同期会



ひとみ会 (平成2年9月、熱海にて)

卒業して以来45年、今年は東西相呼応して熱海に集合する事になりました。平成2年9月2日ViVi熱海自然郷です。都会の喧騒より逃れて、この静かな山間の温泉郷は、久野先生の御来訪を得て私達をすつぱり40年前にタイムスリップさせてくれました。青春時代を大いに懐かしみ謳歌して、時の経つのも忘れる程に盛上げてくれました。そして今、現在の幸福に酔って忘れていている自分に、ひしひしと人類に愛を……の抱擁たる精神を、先生は蘇らせて下さったのです。今日の集いを糧にして次の同窓会迄頑張つてゆこう!

幹事 村田八千子

還暦を迎えたがまだまだ若い

第16・18同期会

平成2年2月11日、5年振りに16・18期合同同期会を、高石市羽衣荘に大学から井上先生をお招きして開催しました。戦後の混乱期に入学したこともあって、年齢差もまちまちだったが、それでもう大方が還暦を迎え、人生の一つの区切りを終えたばかり、頭髪も後退したか、白髪も相当に増えています。

職場にあつては定年の時期、話題は専ら健康の話か、孫の話。ひまが出来たせいか、懐旧談に花が咲いた。

いままでは、5年に一度の同期会も、5年はあまりにも長い。毎年とはいかないまでも2年に一度にしてはと動議が出され、全員賛成で、2年に一度となりました。

また、同窓会理事も、百瀬、浜本両君に変わって加藤、福田両君が選任されました。

宴もたけなわ、カラオケも出ましたが、「マイウェイ」をはじめ、井上先生の独壇場に終つたのには驚かされました。

2年後の再会を約して別れましたが、麻雀のための残留組が4組、

そのうち1組は徹夜で、翌日の夕方まで打ち続けたというから、まだまだ若い。

松本 義和



第16・18合同同期会 (平成2年、羽衣苑にて)

第2回経大黎明会開かれる

第17・19同期生会

の出席を念じつつ、報告といたします。

浅井一男

前回の同期会に於て、「経大黎明会」と名付けられたその会合が、平成元年11月18日に大阪ミナミの大成閣にて、倉辻、井手両先生、磯野同窓会会長のご臨席を仰ぎ、会員は東から西から31名の出席の上、賑々しく開かれました。先生方から大学の近況、同窓会会長から同窓会の現況を拝聴し、会員は母校の発展を願い、青春の血が溢れんばかりの感がしました。

宴会に移り、アルコールが入るにしたがつて40年前の学生時代にもどり、「○○君」「オイ、お前」と言葉も変り、苦楽を共にした良き時代と果ては諸先生方の棚卸と話に花が咲き、時間の過ぎるのも速いこと、私達は丁度還暦を迎える前後の年となっているが、同期会はいつときも回春剤の特効薬として、これに勝るものはないとつくづく感じます。次回開催は2年後と定め、再会を約束し学歌を大声で合唱して別れを惜しみつつ散会しました。

終りに、毎回のことながら太田一澄君には献身的なお世話になり有難うございました。今回は全員



経大黎明会 (平成2年11月、大阪ミナミにて)



第6回二十三期会は、2月10日、11日と連日で開催しました。10日は木津川カントリークラブでゴルフコンペを行い、11日は大阪の南で例会を開き、26名が出席して今年も盛況でした。大学から田所事務局長をお招きして、学校の近況などなつかしい話を聞かせてもら



23期生会 (平成2年2月、大阪ミナミにて)

いました。この会も回を重ねるとに話が弾んでいるのがよくわかります。社会での仕事の重みと、心の年輪がおのずと話題を豊かに、かつ活気のある雰囲気になっているのです。そして何よりもうれしく思うのは皆が健康で元気のよいことです。このことがまた次の集いのエネルギーになっていくのだと思います。二十三期の諸兄がいついまでも若々しく、益々健康で活躍されんことを祈念するとともに、毎年2月11日の例会には、みんな誘い合って一人でも多く参加するようにお願いして報告と致します。

幹事 坂口 良三



5年前から吉田、上野両先輩の発案により始まった寄多郎会も早や今回、6回目を迎えました。毎回の幹事は持ち回りで、今回、私は愛知県稲沢市に居住しており、母校の状況や関西地区の話題など、ほとんど皆無といってよい有様。



寄多郎会 (平成2年6月、橿原温泉にて)

この為に年1回の寄多郎会はそれらの状況を聞くために、又会員の皆様の元気な顔を見ることを楽しみに万障繰り合せて出席しています。仕事の都合で出席出来ない人、病気の為に欠席された人、様々ではありますが、できるだけ毎回全員が元気の顔が見たいものです。今年の寄多郎会は6月23日・24日で場所は三重県・橿原温泉の橿原グランドホテル、出席者は10名で1年振りの再会に、夜の更けるのも忘れ談笑しました。翌朝は近くの大観音寺へ参拝、観光。来年の再会を約し解散しました。来年はどこの場所で開催されるか楽しみに待っています。

三輪 忠昭 (25)



名門復活を待望する「昭蹴会」

サッカー部OB会

(時) 3月2日 (所) 神戸三宮 栄寿司

先ず、陰下同窓会事務局長に大学と同窓会の近況等について話してもらった後、チームメートの消息など情報交換をしながら鯨酒で乾杯、河豚鍋を囲みました。

現役は関西学生一部リーグに帰り咲いて定着の様相をみせています。このテーマのため特に来てもらった小原(27)山本(35)両氏にリーグの現況を詳しく分析説明してもらいました。話が盛りあがるにつれ、昭和高商蹴球部を創り育てあげたのだと自負する昭蹴会メンバーとしては、リーグ5位の現成績にあきたらず「常に優勝を意識して先ずは2位を目指して精進すべし」と手厳しい言葉が出たりしましたが、これも、こよなくサッカーを愛する超OB達が、一部復帰を喜ぶと共に由緒ある名門の復活早かれと期待するがためであります。

集まれば、いつもながら相変わらずの昔話に花が咲くのですが、歓談する面々は明るく輝いている

し、久々の会合であるに拘らず、不思議にもいつも会っている者同士の会合というムードであります。会うことに意義のあることを思い知らされたひとときでした。遠隔10名を含め30名に案内を出しましたが、出席は9名。なお、会員名簿と昭和22年と23年発行の部会報のコピーが配られたことを付記します。

出席者

- 同窓会 陰下事務局長
- 内藤直哉 (5) 長尾 晃 (8)
- 木口正勝 (9)
- 大谷一三 (10) 加頭興治 (10)
- 田中義一 (10)
- 諸田 実 (11) 坂田文治 (11)
- 光本教夫 (12)
- サッカークラブ 小原友行会長
- (27)
- (35)
- 山本保理事長
- (35)

田中 義一 (10)

第二世代旅研同窓会鳥羽で開催

旅行研究会OB会



旅行研究会OB会 (平成2年7月)

大学を卒業して4年が過ぎた去る7月28・29日の両日、我々第二世代旅行研究会会員は、初めての同窓会を思い出の地のひとつである鳥羽で行いました。当日はクラブ顧問としてお世話になった内海

教授にも参加していただき、久しぶりの再会に、夜明けまで語りあうこととなりました。日頃は仕事に追われ、人間関係までが仕事中心になり、ついついおろそかになりがちであった学生時代の友人との交流でしたが、この同窓会を通じて、損得抜きで付き合えた学生時代の友人というのは、とても有意義なことであったと思います。最後になりますが、近く迎える旅行研究会結成30周年には、旅という共通の趣味をもった歴代OB全員による同窓会を開くことができれば、すばらしいのではないかと思います。

奥野 重之 (52)

川柳

《瓢箪のつばき》

中村 ゆきを (16)

- ◆ 風に揺れ瓢箪世間の裏を読む
- ◆ 地球儀指すこ中東に住む雷魚
- ◆ 同窓の葉も五色豆のよう

法税研究会の現況

法税研究会OB会



法税研究会 (平成2年6月)

行われましたので、お知らせせしめます。

今回は昭和42年卒の榊ビルバンク社長、迫田茂雄氏の開業20周年に当り、急増する社員を組織化する過程で、本格的な経営計画を作成した実状を発表していただきました。

珠算研究部・同期生15年ぶりの再会

珠算研究部OB会

昨年(平成元年)10月28日(土)に珠算研究部同期生が、昭和50年3月卒業以来、なんと15年ぶりに再会致しました。同期12名中9名が出席し、午後7時から大阪ミナミの宗右衛門町の宗右衛門茶屋で行いました。15年ぶりに逢ってびっくり、当時、髪の毛フサフサだった山本がまるっきりのハゲ頭、最初は誰か全くわからず部屋を間違えたのかと思つた程でした。一人・二人来るたびに歓声があがり、昔の面影は残っているもののやはり年とつたな。頭に白いものが目立っている。体型もデブプリしてきた。みんな結婚してて、子供の話やら嫁さんの話やら……。

した。また、オブザーバーとして、尼崎支部の幹事をされている、同年卒の尼産建設(株)社長、平沼勇吉氏(同社幹部2名同道)にも御出席を願って、企業経営者として、我々、職業会計人に対し、何を求めるかという観点より、忌憚のない意見を聞き、討論会を行いました。

植村 祐三(32)



珠算研究会OB会 (平成元年10月大阪ミナミにて)

ころが唯一人39歳で独身の加藤くん。一面うらやましくもあつたが……。米子から、長浜から、田辺から、岡山から、岐阜から遠路はるばるなつかしい大阪へ来ていただきました。現在大阪在住は12名中2名(加藤、山本)のみ。2時間間はあつという間に過ぎ、二次会はナイトパブラウンジ「紫君使」へ。オーストラリア人のホステスと意気投合。三次会は加藤行きつけのスナック「志のぶ」。カラオケを唄いまくった。そういえば我々学生の頃はカラオケなんてなかったなア。深夜1時40分タクシーに分乗して予約しておいた天王寺のホテル「エコー」へ。門限ギリギリ

リの午前2時。翌日は9時にスカイレストラン集合、寝不足のマンガをこすりながら朝食。その後タクシード大経大キャンパスへ向かう。日曜日の静かなキャンパス。昔と変っていることに驚く。50周年記念館が高くそびえていて、時代の移り変わりを感じた。クラブボックス、学生会館、食堂すべてがなつかしい。元吉、加藤、田伏が住んでいた下宿はマンションになっていた。元吉がさかんになつて礼状を書いたのはこいつだけ。上新庄駅はさらに変わって

いた。駅前の喫茶店で長いダベリングのあと、昼過ぎ全員と別れた。ほんとうによかった。なつかしかった。オレの心は15年前にタイムスリップしてしまつて、自分の仕事のペースに戻るまで、3日程かかった。

珠算研究部のOB諸君、同窓会をやつたら必ず、澱江に報告して下さい。先輩、後輩の皆さん珠算研究部は現在つぶれてないそうです。残念ですが、OBだけでも頑張ろう。我々は今後2年に1回、

雪の山陰ホテルで

二部会計学研究部OB会

今年のOB会旅行は1月27、28日に鳥取の境港マリンホテルへ行きました。参加は10名と少なかつたが、お陰で蟹を沢山いただくことができました。宴会が始まる頃から雪が降りだして夜は大雪となる。二次会ではよくもこれだけ芸の達人なものばかりが集まったものだと感心させられる位に盛り上がり、カラオケなどは指名されるまで、マイクの争奪戦で、雪の山陰のホテルのバーで夜更けまで和氣あいあいでした。

翌朝目覚めると、窓の外は一面に銀世界がひろがり、海までも白

奇数年の10月末、11月初めの大学祭期間中ぐらいに逢う約束をしておきます。もしよろしければ合流して同窓会を行いませんか?連絡は塚本まで(大阪女子商業高校06(719)2801)。当日参加者、植田、横山、山本、加藤、木戸脇、元吉、藤本、林、塚本。次回は山田、杉本、田伏も是非参加して下さい。では同期の皆さん、また来年を楽しみにしています。パーイー。

塚本 行雄(41)

一色。安来市にある足立美術館まで足をのびした。雪化粧した庭の景観は一段と美しく、松本剛教授からは「この世は自分を探しに来たところ。この世は自分を見に来たところ」と陶芸家の河井寛次郎の言葉を添えて『大観名品100選』美術書を頂き、記念すべきOB会となりました。

また、本年は会計学研究部の30周年を迎えるため目下準備をしているところですよ。

二部会計学研究部OB会会長

小山 由彦(29)

(職域OB会) 第三回幸福大樟会開催

幸福大樟会総会

恒例の幸福大樟会総会を5月10日レストランパレスで開催しました。大学から鈴木理事長、同窓会から磯野会長、陰下事務局長の御臨席をいただき、大学や同窓会の近況なども含め激励のお言葉がありました。総会出席者は70名を越え、盛況でした。今春は4名の新入が加わり、会員は110名となりました。新入行員には「金融経済用語辞典」を贈り入行を祝いました。若い人達は理事長、会長をとり囲み、歓談は時のたつのも忘れて続きました。銀行の中では、みんな経大の名に恥ない活躍をしています。卒業生一人一人が立派に活躍して行くことが、ひいては母校の名を上げ、発展に寄与することだと信じます。銀行の中には各大学の親睦会がありますが、毎年のように同窓会長、事務局長が出席下さり、又今年は特別に理事長の御出席をいただきましたが、これ程大学や同窓会と深い繋りをもつた会はほかにありません。同窓の皆さんの益々のご活躍とご健勝を祈念致します。

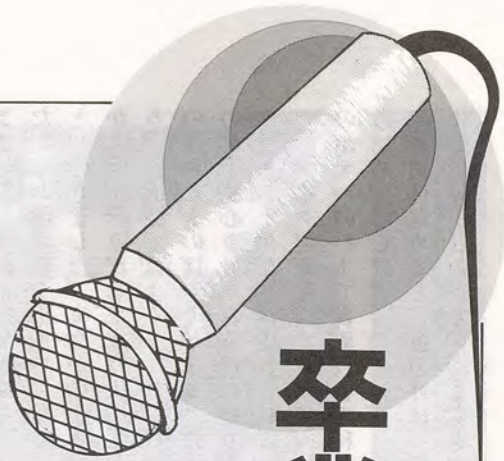
坂口 良三(23)

第三回「幸福大樟会」定例総会



幸福大樟会総会 (平成2年5月、レストランパレスにて)

卒業生直撃インタビュー



人生楽しく、
個性で
社会に尽くせ!

大阪府花の万博儀典長

山口義孝氏 (21回卒)



花博会場での山口義孝氏

猛暑の続く8月1日、花の万博会場に氏をお訪ねした。公式行事・公務の合間を縫って、VIP並のご案内を受けながらのインタビューであったが、長身を濃紺のスーツで固められた氏は、全く慌ただしさを感じさせない、落ち着いた雰囲気を持ち主であった。

「儀典室の仕事は、183日の会期中に85回の公式行事があり、外務省が招待された海外のお客(参加82カ国、55国際機関)と大阪府へ来られた内外の賓客を、地元としていかに温かく歓迎するかに尽きます。国内外の賓客は閉幕までに1万人を超える数となるでしょう」「20年前の万博は参加国の国力の誇示に特徴がありましたが、今回は発展途上国の参加も多く、海外青年協力隊で経験を積まれた若者や、企業、労働組合のボランティア

イアなど幅広い応援に特徴があります。そう言った意味では親しみやすく、国際交流も随分進んできたと言えましょう。そして、自然と人間の共生をテーマにした花博は、きっと将来自然保護や環境保全に大きな成果をもたらすでしょう」と、語られる氏は、20年前の万博でも知事室秘書課企画係長として来賓の応接を経験された。

「学生時代は苦学で、北里ゼミでした。母校には国際化に対応した新しい講座開設を考えていただき、後輩には個性(自分の特徴)を養って欲しい」とのこと。

(大阪府出身 57歳。大阪府秘書課、消費生活課長、知事公室次長、理事。母、妻、二男と東大阪市在住)

(吉村和利記)

世界超一流の 総合金融会社を 目指す!

国際証券株式会社

松谷嘉隆氏 (22回卒)



社長室での松谷嘉隆氏

1991年、創立10周年を迎える国際証券は若竹のように輝いていた。また、東京ウォーターフロントに聳えるツインビルの本社社長応接室に我々を迎えた氏も、就任半年余りながら、海外も飛び回る実力派社長として輝いていた。

「学生時代は、途中から編入学(神戸外大より)したこともあり、図書館に入り浸りて本と付き合ったことが思い出されま

す。後輩には『覇気が乏しい。』

トライする精神が必要だ」母校には「経営の近代化により、勉強、スポーツ、PR等に特色をもった学校にして欲しい」等」ざっくばらんで歯切れが良い。

「ヤンチャなガキ大将」と称される氏は、陽気で「運も実力のうち」と豪語して憚らないが、前社長や、ツーカーの間柄である井坂健一東京支部長(大学、野村証券での先輩、現野村証券投資信託委託協会会長)はじめ、「大学も野村も竹林庄太郎先生の勧めでした」と、人との出会いを大切にされるお人柄とお見受けできた。

「竹のように真っすぐ正道を歩み、人間らしい人生を終えたい」と語られる氏も、「ここまでには、大きな『意地』がありました」とのこと。インタビュを終えて感じたことは、確かに、日本の証券界の一翼は、わが大阪経済大学の諸先輩で担われているという実感であった。

(西宮市出身 58歳。卒業後、野村証券に28年間勤め、昭和59年国際証券取締役、以後常務、専務、副社長を経て平成2年社長就任。一男一女、東京都在住)

(波根伸俊記)

幸福大家族を 支える

「コンニャク主義」

株幸福銀行取締役企画調査部長

坂口良三氏 (23回卒)



インタビューを受ける坂口良三氏

暑い夏の昼下がり、温厚篤実そうな坂口氏にお会いした。

「幸福大家族」(幸福大樟会会員総数110名)の先頭を走る氏は、「110名という同窓メンバーは行内でも有数です。しかも私共の同窓会は『母校意識と幸福銀行の一体感』という強い絆で結ばれています。ですから、毎年5月の総会には全員が参加します」また、若手育成の「コンニャク主義」について、「私は良く若手に厳しいことを言いま

す。しかしそれは、若手のことを思って言っているんです。角があっても相手を傷つけない。これが私のコンニャク主義です」と、エネルギーに語りかけられた。

学生時代はESSに所属「当時は、バンカラ姿でゲタバキにレインコート、髪を長くしていました。しかし、洋風にかぶれて英語がとても好きでした。今でも英語版の『宝島』を靴に入れていきますし、机上には『英語大辞典』があります」とのこと。座右の銘は「すべからず常識をもって可なりと信ずれば行わすべし、不可なりと思わば断じて行わす」趣味はゴルフと庭作り。

最後に、「今の若者は柔軟性があり楽しみだ。難事から逃げ出さずに、常に問題に直面して欲しい」と、人事課長も経験された氏ならではの「人づくり」に「生懸命」な言葉が印象的であった。

(和歌山市出身 57歳。卒業後、幸福銀行に入行勤続33年。一男一女、和歌山市在住)

(大門由秀記)

卒業生 撃直 インタビュー



二一世紀には、
北大阪市を
実現させたい！

箕面市議会議長
西河哲三氏（24回卒）



議長室での西河哲三氏

一見して「かっぶくの良い」という表現がビタリと当てはまる方でした。それもそのはずで、大学時代は空手部に所属され、勉強、仕事、クラブ活動と充実した学生時代を過ごされました。現在は、箕面市議会議長としてお忙しい毎日ですが、「今の自分を支えてくれるものは大学時代の4年間です。空手を通じて身についた礼儀作法、人間性、精神力は、大切な財産です」と語られる口調からは、「自分に厳しいお人柄だ」ということが良く伝わってきました。

「趣味は仕事です。箕面市民の総ての方に『任んで良かった』と思っただけの街を目指し、日々精進しています。とは言え、高齢化社会、国際化、行財政改革と、取り組むべき課題はまだまだ山ほど残されています。決して楽な仕事ではないけれど、『なぜ成る、なぜ成らぬ、何事も』をモットーに全力でぶつかっています」とのこと。

インタビューを終えて一貫して感じたのは、空手の精神でもある「外に柔、内に剛」という姿勢でした。

（大阪府出身 58歳。ダイハツ工業、政党役員。議員歴18年、議長2回、元府議議長会会長。一男一女、箕面市在住）

（阿部衣子記）

広田実相談役を偲ぶ

松本 義和（18）



故広田実相談役

本同窓会相談役で、第1回卒の広田実氏が、去る9月2日逝去された。78歳だった。大学評議員を昭和35年から亡くなられるまで、同窓会にあっては大阪市役所支部初代支部長を長く務められ、本部役員としても常任理事、副会長を務められた。

私のお付き合いは、ざっと40年に及ぶ、私が専門学校を卒業、大阪市の傍系で、雑誌『大阪人』の編集に携わったのが昭和25年であったが、当時広田さんは、大阪市労務局人事課の研修係長であった。勿論役所にあつては出世頭、この頃相前後して大阪市役所支部をつくらうということになり、職域支部として初めて認められた。役所にあつては、その後、区の税務課長、

振興課長、また監査事務局の課長等長く勤められた。性格は、まことに豪放磊落、反面細かいことにもよく気のつく人情味あふれる人であった。

大阪市を退職後は、関西国際空港ビルディング（株）傍系の関西国際空港サービズ（株）に入られ、損害保険業務で実績を上げられ、常務取締役支配人として活躍されたが、会社定年退職後も、また新しく「みおつくし保険事務所」を設立、亡くなられるまで代表取締役社長も務められた。お得意の浪花節「杉野兵曹長の妻」の絶妙の節回しが、今も耳に残る。



お別れのことば

柴田 悦子（14）



故小松真佐江常任理事

まりました。あなたは演劇部で活躍され、後輩の面倒をよく見ていたのを覚えています。

卒業後は私も同期生の世話を何時もひきうけて下さいました。私たちは友人の消息、大学の様子などをあなたを通じて知ることが出来ました。数年前からは大阪経済大学同窓会の常任理事として忙しい生活をこなしながら、同窓生のために尽されました。私たちが頼り切っていたあなたがこの世から消えた。もう神戸へ電話してもあなたの声を聞くことは出来ない。おいしいものを食べに行こうよ、という誘いもう無い。この悲しみとさみしさに、私どもは打ちひしがれる思いです。

でも、あなたが私どもに身をもって教えて下さった同級生、同期生、同窓生たちのあたたかい和づくりを私どもは大切に育てていきたいと心に誓っております。

つらいお別れになってしまいました。心から御冥福を祈ってやみません。

小松真佐江さん あなたは私も大阪経済大学14期生にとっでなくてはならない人でした。一昨年還暦記念同期会に金沢へ行きましたね。あの時JRの切符手配、旅館の交渉など一緒に忙しく動きましたけど、多勢の方が参加され、若やいで嬉しそうなクラスメートの顔を見て、一番喜んだのはあなたでした。「次はどこへ行こう」「これから時々旅行クラス会にしよう」と言っていたあなた。次のプランの実現を待たずに逝ってしまったなんて……私どもは信じられないと思います。

戦争末期に大阪専に入學した私どもは食べるものに不自由しながら窓ガラスの割れた殺風景な教室で授業をうけました。戦後、自由な時代がくると共に、何もない中でもクラブ活動が始

大好きな古典・歴史を勉強

河野 盛志(3)

私は若壮年時代は仕事が多忙で出来なかつたため、学生時代から好きであった古典文学・歴史を現在市中のカルチャーセンターで勉強しています。

仕事としては、月に1、2回監査役として現業役員と話し合いをし、健康法はしっかりと食べて、出来るだけ歩くことです。

尼崎市に同窓会支部が出来たので出席しました。若い人達の活躍ぶりを見るのは楽しいことです。同期の磯野齊会長は同じ園田町の住人で時折お会いすることがあります。

健康と繁栄は働くことから

早川 由次(7)

①私は貧乏ヒマなし、正月元旦を除いて1年中無休です。働きすぎと言われていますが、私に言わせれば、みんなは遊びすぎだと思っています。働くことこそ健康と繁栄の基と心得ています。

②毎朝起きると、30分間の乾布マサツと柔道の船こぎ、そして体中のマツサージをしています。眠くてだるい感じもふっ飛び、疲れも自然と癒えて意欲が出るのです。

③私たちは毎年同窓会を行っています

趣味に、仕事に大忙し

佐藤 清之助(10)

昭和63年筑邦銀行副頭取を退任して、同行相談役となり、プライベートでは30年間続けているゴルフ・清元・小唄を楽しんでいます。

健康法は、毎日自分のスケジュールを消化すること(現在はゴルフ場の理事2カ所・委員長1カ所、ロータリー地区分区代理。謡曲、仕舞、書道を習っている)。

私ごとですが、年1回の支部総会では物足りなさを感じるうえに、11月3日は毎年、決まった行事を持っているので同窓会総会には絶対に出られないのです。なんとか2日間の総会にはできないものでしょうか。

皆さんにお答え
いただいた設問項目

- あなたの余暇は?
- 私の健康法・ストレス解消法
- 経大及び同窓会にまつわるあなたの町の情報
- (タウンレポートボックス)
- 昨年の『澱江』はいかがでしたか(感想)
- その他

話題の同窓生

すが、必ず大学の話が出ます。野球やサッカーが強い、もつと強力な選手を入学させようと言いながら後輩の活躍を喜びあっています。ただ柔道の声があがらないのが残念。最近3回戦へ進み、もう一息です。私たちの時代は優勝しましたが、同じような道程もありました。もう一つ、経大のPRが不足していると、口々に言い合っています。これはやっぱり大学当局と我々の責任だと話し合っています。

感謝の気持ちを忘れずに

中浜 賢治(8)

残り少ない人生をもつと有意義に送りたいと思っておりますが、いまだに元気で毎日出社しております。連休を利用しての国内旅行や、年1回友人と海外旅行をする以外は平凡な日々の繰り返しで、特に健康法とかストレス解消法などはありません。平穩無事がなにより幸せですが、いつも感謝の念をもって静かな気持ちで生きていこうと思っています。

ガンを吹き飛ばして
ホール・イン・ワン

東海支部 河盛富三氏(10)



河盛 富三氏

ガンを吹き飛ばして、ゴルフの「ホール・イン・ワン」を達成した同窓生がいる。同窓会東海支部でも、この人ありと知られた(株)名古屋盛電社の社長河盛富三さん(10)が話題の主。ちょうど40年前の昭和24年に名古屋昭和区御器所の繁華街に電気工事関係の会社を設立され、いまでは地元経済界の名鑑にも登場する実業家である。

伝統文化を守り、
「まちおこし」に貢献

丹有支部 円増浩之氏(15)



円増浩之氏(左)と梶村支部長(右)

「デカンショ節」のふるさと丹波篠山を、梶村丹有支部長のお薦めで8月18日訪れた。この日は第38回デカンショ祭の最終日とあって、濃い緑につつまれしつとりと佇む城下町の街並みが、祭一色に塗り替えられ、大いに賑わっていた。

(波根伸俊記)



目指す円増氏は、浴衣・草履の粋な着こなし、口調はすこぶる滑らかであった。「名前は三つあり、本名は円増浩之、和菓子屋(梅角堂)の三代目です。民謡踊りでは円浩之、日本舞踊では藤間吉之輔を名乗っています。そう、踊りの稽古は10歳から始めました。いま家業の傍ら、土、日以外は毎晩踊りの指導に当たり、民謡も好きでして、保存会会長として益踊り唄「デカンショ節」の振り付けもやりました」「良い師匠を紹介しやすくて、ぜひ、母校にも舞踊クラブを作って下さい」とのこと。

話題の同窓生

とそのまま入院となった。

一昨年の10月初めである。精密検査が済むとコバルト照射が始まった。声帯の入口にガン性しゅようが発見されたというのだ。コバルト使用が30回に及んだころ、どうやら手術の必要なしの結果になったらしい。そして入院90日目の年末に、うれしいスピード退院となった。

入院中の主治医だったM教授が同窓会の岡田前支部長のオイだったことも幸せだったと述懐する。到るところで細かい配慮を受け、河盛さんには地獄にホトケの心境だったらしい。当の岡田さんは、「彼は家内の身内でしてね。河盛くんがガンの疑いで、決して安心できないと報告も受けていました。もっとも奥さんに真相をお話したのは退院後でしたがね……」と語っている。

河盛さんのゴルフは、退院後3カ月後あたりからぼつぼつ始まった。そしてホール・イン・ワンが達成されたのは、ことしの2月24日、岐阜県美濃加茂市にある脈済寺ゴルフ場であった。取引先の愛知銀行支店コンペに参加した時である。11番125ヤードで、打球がピンの30センチ手前で落ちると、そのままコロコロ転がってポトリ近くにいたキャディーの「ピンへ入りました」との叫びで、たちまち大騒ぎとなった。



ホール・イン・ワン記念植樹

その時の正直な印象は「えらいことやってしまった」のだそうである。祝いの言葉や握手せめのあとは、記念植樹、キャディー達への祝儀、あとでの度重なる祝宴など、使ったお金はざっと保険金の倍額になったそうである。

(東海支部長・加藤正秋記)

広島三水会の集い

岡本 社 (11)

毎年2月初旬に行われる広島での経大入試に際しての支部同窓会の集まり不振の対策として、佐々木支部長・岡村幹事の発案により、「広島三水会（毎月第3水曜日に所定の喫茶店に集合して、同窓生の近況情報を交換する）」を結成しました。既にこの8月で14回目の三水会の開催となり、現在は出席者も支部同窓会を超える盛況となっています。

私も昭和18年の学徒出陣以来、学校のほうへもご無沙汰していますので、この秋には妻と一緒に学校および上新庄、大隅通り、西大道町など、かつての下宿地をぜひ訪ねてみたいと思っています。

大感激、40年ぶりの再会

鈴木 啓輝（敏雄）（12）

過日、40年振りに同期の大阪の友人が浜松までたずねて来てくれました。召集令状を受け、私たちよりもかなり以前に入隊されて外地に行かれたものと思っていましたし、その後の同窓会名簿にも記載されておらず、もう会うこともできないと思っていた。たいへん感激しましたが、旧交を温める時間も少なく、再会を約束しました。ただ、いまだ約

一瞬にして戻った学生時代

小原 妙子（14）

昨年の4月同窓会へ久しぶりに出席し皆さんの顔々、卒業以来はじめての人、久方振りの人、一瞬にして懐かしい学生時代に戻った自分を感じました。その時の小松さんが今年のはじめに急死され驚きと悲しさでいっぱいです。14期生のお世話を良くして下さった方ではんとうにご冥福をお祈り致します。

段々と年を重ねるにつれ、健康に心がけ楽しい人生を、と思っております。息子達はアメリカに転任し可愛い孫達のはしゃぐ声が懐かしく感じる今日この頃です。また皆さんとお逢い出来る日を楽しみにしております。

人一倍気を使う「健康」

松本 三喜男（17）

定年退職し企業の健康保険組合の役員としておりますが、目を通す書類は朝から夕方まで「健康に関すること」ばかり。したがって健康については人一倍気を使っている（？）つもりです。要するに「絶対無理をしないこと」これが健康の基本だと思っています。

年に1度の東京支部総会に参加しておりますが、新宿高層ビルからの

東を果たせず残念に思っています。また、大阪、岡山、四国の友人にもぜひ会いたいと思っています。

今、浜松では「都市再開発」とかで駅の周辺は今までの私企業の2、3階建が、8階から10階建のビルに変身中。市公社では20メートルのタワーを来年に着工とのこと。「都市再開発」とは土着の市民を追い出して東京大阪の大資本の生保ビル・不動産ビル・官公署のビルが林立することと悟った次第です。

最後に大阪経大の益々のご発展と同士の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

気持ちを若く、人生楽しむ

永尾（杉山）千賀子（13）

思えば卒業して40余年、子供も手をはなれ、「さて、自分自身の人生に何かを」と考えるものの、永すぎたプランク、手をこまねいています。まずは、車の免許を取り、行動範囲を広げました。

主人とドライブ旅行（九州一円、山陽、山陰、関西）をたのしんだり、交通の便の悪い市民プールでの水泳をたのしんだりしています。

そのうち外国にも旅して、残る人生をたのしみたいと欲ばっています。お陰で気持ちだけは卒業当時のままです。

夜景は格別です。老いも若きも一堂に会し熱気むんむん非常に結構。

「濠江」大学の近況、非常になつかしい。また各同窓会支部の活動状況は特に興味を引くところで。今後の益々のご発展を祈ります。

温泉健康法

今井 慧（18）

私の余暇は、家内と国内温泉地に行つてのんびり湯につかる事です。余暇といっても、2日間の連休を利用しての事とて、一泊しか出来ません。従って、一泊で7回位湯に入ります。

この6年間ゴルフもやっていないので、これが私の健康法とストレス解消法になつていくようです。

心強い職場の経大卒業生

濱崎 克己（21）

①余暇は読書、ゴロ寝。
②とくに健康法はなし。ストレス解消は「開き直り」これが一番。
③総勢約10名程度の小さな職場ですが、経大卒業生が私を含め5名おります。とくに経大卒を意識してはおりませんが、やはり心強いものです。

盲導犬と生きる

北海道支部長崎史明氏（43）



引き渡し訓練中の長崎氏

小学校の頃、捨てられた犬14匹を親に内緒で育てあげた氏と、盲導犬指導員という職業との出会いは、お好み焼き屋においてあったマンガであった。

大学3年の夏、札幌の盲導犬協会のボランティアと、大阪の日本ライトハウスの見学が、この職業に就く決心をさせた。

卒業と同時に札幌に渡り、3畳半の下宿から、押し掛けるようにして、北海道盲導犬協会へ行き、非公認で働かせてもらった。最初は雇う予定のなかった協会だったが、その働きぶりが上司の目にかない晴れて協会職員となった。

そもそも、社会の人間関係からの逃避が目的で盲導犬の世界に入った氏が、皮肉にもこの仕事で最も難しいのは、「一人前に育て上げた盲導犬を、利用者に引き渡す過程である」と言う。盲目という身体的ハンデを負った人々と絶対的な信頼関係を築くか否かがそれまでの仕事の総てを左右すると。「人間が、歩く」という自然の権利を得るためにパピーウォーカー（仔犬飼育奉仕者）によって人間の社会的ルールを教えられた1歳の犬に、盲導犬としての教育を行う指導員という職業は「人助け」というお題目の上に成り立つものでなく、基本的にまず犬が好きでなければできない仕事だ」と氏は言う。

始終笑顔で語る氏がこの時だけ一言一言に、刻み込まれた苦勞の色を浮かべた。
（昭和29年生 36歳 財団法人北海道盲導犬歩行指導員 昭和52年（43回）卒
山本晴義ゼミ、吹奏楽総部OB 妻1人 子供3人 犬1匹）
（藤原広太郎記）

同窓生の話題

プライベート・ガイド 『芦屋の山』

ロックガーデン

高谷 昌良（19） 著

大学時代に山岳部に所属していた私もロックガーデンには足繁くかよい、そこをベースとして、アルプスの山々に出かけて行った。そんな登山者にとって一つの通過点でしかなかった芦屋の山とは、実は著者によれば「市街地から近く、そして、変化に富んでいて、男性にも女性にも、ワンダラーからボルダラー、年少者から高齢者にいたるまで、それぞれの世代、それぞれの志向に応じた楽しみ方のできる」そうざらにない山であった。著者は40年に渡るロックガーデンとの関わりを通して、この山の健全な発展を訴えている。



ガイド編とエッセー編からなる。自費出版（¥1,000）
（山と溪谷社 1989年3月20日発行153頁）
（藤原広太郎記）



無作為抽出に感謝

木村 達雄 (22)

私の余暇は、家族とのドライブ旅行を兼ねての神社・仏閣の拝観。新しい話題の場所等の見学はストレス解消にもつながります。健康法は月2回主治医による検診、2カ月に1回程度の血液検査により自分の身体の状態を知っておくこと。以上設問の答えですが、今回の投稿依頼は卒業以来30有余年初めて、無作為抽出に感謝。

この間7年間のサラリーマン生活(大阪・名古屋)後、脱サラ、現在の企業設立。その年生まれた長男は27歳、都銀に勤務。次男も同じ都銀へ、それぞれ寮生活。

私の方は年のせいで業界の世話役をあれこれ、本業と共に多忙。当分現役生活は続きそうです。

地方書店の店頭で

伊伏 章 (23)

1 当地の書店の一角に、全国私立大学入試パンフが無料進呈で50校ほど陳列してある。下校時にでもなる高校生と賑わうコーナーである。

同時に同窓生として気になるコーナーでもある。隣接している某私大の冊子は底をついて残部なし。母校、大経大のそれは他大と比較して善戦しているが残量が目につく。気付いた点は、印刷上がりが総体

詩吟、ウガイ…

三木 庸義 (26)

私の健康法・ストレス解消法 年齢も50歳半ばになり、一日中机に座っている勤務なので、いつでも簡単にできる健康法をとり入れている。

- 1 朝6時30分に起床、NHKラジオ体操実施(その日の体調が分かる)
- 2 その後10〜15分付近散策
- 3 朝洗面前と夜就寝前に水で3回以上ウガイをする。(塩がよいが手間がかかるので水です)
- 4 ストレス解消法として「詩吟」を20年位続けている。腹の底から声を出す事は非常によく、気分もすっきりする。

同窓会「熊本支部」を設立

河津 一郎 (29)

早々ですが、私の住んでいる所は九州のほぼ中央にあり小国町という所です。大分県と接している林業の町です。同窓会には福岡への交通の便がよく、いつも北九州支部へ行っていました。先日8月4日に熊本支部が出来ました。会員数は少ないのですが、今後みんなで力を合せて本学への志願者を増やしてゆきたいと話したところです。

私は農林業をしながら森林組合、林業研究会、農協の仕事をしていました。今は特に林業後継者、林業労働者対策で地域の方々をいたため

的に「グサイ」感じ、紙質もよくない。地方の書店のコーナーは大学PRの前哨戦でもある。来年度の冊子を期待することにした。

2 浅沼先生の「故人梅田先生への鎮魂歌」は読ませる文章だ。とても印象に残っている。モーム短編集の当時の講義を彷彿とさせ、より親しみを覚えました。併せて、梅田先生のご冥福を祈る次第です。

車中で人生勉強

新家 盛次 (24)

毎年送られてくる「澱江」楽しく拝読させていただいています。卒業してはや32年、県内の高校に勤務して4校目で、篠山から西宮まで片道1時間40分の電車通勤をしています。

かつて、マイカー通勤をしていた頃とちがって、駅前で、車中で多くの人の人生にふれ、教えられることの多いこの頃です。また、夜8時頃になると、阪急電車の中や駅前には、塾通いとすぐ分かるバッグをさげた小、中学生を見るにつけ考えさせられます。

しかし、色々な思いを持ちながらも、やはり「社会は速いスピードで動いている」ことを実感させられます。先輩諸兄の益々のご健勝をお祈りします。

ちよつと一杯

樽井 道明 (30)

余暇は時々ゴルフに行ったり、夜は近くの人たちとミニバレーボールをしたりしています。山へ行つて木の成長をみながら、木に語りかけて山を歩いているとストレスなんか忘れて別の世界に行ったような気がして、現実に戻りたくないようになることがあります。自然にふれることが良いと思います。皆さんも時間を作って野に山に行つて下さい。

変わらぬ大樟の雄大さ

石崎 文明 (31)

昨年8月、久しぶりに母校を訪れました。校庭の大樟が夏空に向つて、勢よく枝を伸ばしていました。勇壮な樹姿は今も変わらぬたたずまいでした。大樟を見ていると、20年前の学生時代がよみがえってきました。泉谷先生の熱っぽい口調での簿記原理、藤原先生の温和な口調のなか

に光る日本経済に対する厳しい分析、黒田先生の楽しい憲法の授業、また山本先生は社会科教育法で教師の道を説いてくださいました。多くの恩

「とやま」

『自然の仲間たち』

富山県ナチュラリスト 研究会編

環境問題、自然との共生が話題になる昨今、富山支部の高橋勝美氏(34)が所属する富山県ナチュラリスト研究会が「とやま 自然の仲間たち」なる本を出版した。この本は、十数年前に富山県が全国に先駆けて制度化した「富山県自然解説員(ナチュラリスト)」の仲間が、折に触れて感じた自然との触れ合いをそれぞれの立場から自由に書いたものとのこと。植物日記、動物日記、ウォッチ



ング・ポイント、ナチュラリスト・ノート、雪のなかの生活学からなるこの本は、自然を愛する人の枕べに似合う書物であろう。(北日本新聞社、昭和63年5月発行、253頁、1,700円) (波根伸俊記)

『この投稿を機に』

西田 貞治郎 (26)

「澱江」への投稿依頼のハガキを受け取り、卒業後早や30年になる事に、改めて歳月の経過の早さを感じました。この30年間を振りかえってみます

と様々な出来事がありました。両親との死別と同様、同期の親友故市橋君との突然の死別で私の人生観は少なからず影響を受けました。卒業後数年間は総会にも出席し、友と酒をくみかわす機会を持ちましたが、最近ほとんど無沙汰し、年賀状のやりとりで失礼しています。この投稿を機に総会にも出来る限り出席し、また、友と酒をくみかわしたく思います。

『とりもカラス もいなくなった』

爆心500米の証言

井手口 茂美 著



この本は、昭和36年以来、母校の学生寮、広報部、就職部の第一線で活躍された氏が、古稀を機に、療養の身ながら6カ月を擁してまとめられた汗の結晶である。「私が目を閉じたら、爆心地の非情を語りつぐ者がいなくなりま

同時に刊行されました。講読希望の方は、母校学事課波根までご連絡下さい。(A5判、平成元年12月刊、前書212頁、3,000円。後書262頁、5,000円) (波根伸俊記)

す。その不安が、願わくは捕捉お目通し賜らんことを」と、著者が序文で訴えておられるが、この記録は、広島原爆の被爆から約1カ月にわたる生の報告である。なお同書に、友人、卒業生、教職員の文章、写真、カット等が収録された「春風吹又生——井手口茂美先生の古稀におくる——」も

高岡市の活性化をめざして

荒木 不二夫 (32)

余暇・車で小旅行、読書
健康法・ストレス解消法・できるだけ歩くこと(通勤手段)、休息
支部同窓会にはしばらくの間出席していないので情報に乏しいのですが、同窓生の皆さんはそれぞれ活躍のことと思います。私も職務から本市の活性化をめざし、忙しい日々を過ごしております。

母校の様変わりに驚嘆

桑原 純克 (32)

『澱江』を受け取る毎に経大周辺の開発、発展を見て在学中のイメージは相当変わっているものと予想しておりましたが、8月26日に浜本ゼミの同窓会に出席のため久方振りに経大に参りましたが、全くの様変わりに驚嘆しました。あの上新庄駅を下りた途端、道に迷ってしまいました。しかしながら先輩や後輩にお会いし旧交を温め、感慨無量の日でした。小生、卒業後帰郷して現在は、自動車電線のワイヤーハーネス加工と産業用土木資材の販売、施工及び加工を手掛けております。ごく一部の同窓諸兄には大変親しくして戴いておりますが、お近くに来られませんでしたらお立寄り下さい。終わりに母校の

益々のご発展と同窓諸兄、諸先輩のご発展を祈念致します。

毎年発見！「小さな音」

松山 吉和 (33)

前号の「北から南から」に大川武子(33)さんの手記がありました。一緒に東商業高校へ教育実習に行った「スキー部のキヤブテン氏」はどうして居るのだろうかと思ひ、なつかしく拝見しました。私は「詩吟部」にいたので学内発表会には毎年必ず大阪へ行くことになっております。大学の付近は随分変わりましたが、その中に「小さな音」を発見し、現役部員の油ゼミの合唱のようなたくましい声を聞くと勇気が湧いてきます。郷里へ帰って金沢大学学生部に務めておりますが、何かにつけて経大を思い出して、20年以上たっても国立方式には馴れないところが多く、いまだに戸惑っています。

最近その金沢大学が我家の近くへ移転したので、周辺を区画整理しています。学生部の務めと区画整理組合の理事とどちらが本業かわからない毎日が続いています。世の中には知らない事が多いものだと感じています。今年の夏は暑かったようですが、体力の衰えか、夏は毎年より暑く、冬は寒さがより厳しいように感じま

共に楽しめるようにゴルフでも...と
考えております。

北国の生活に大満足

中浦 隆義 (39)

札幌支店開設に伴い、昨年9月に名古屋から札幌に着任して早や1年になるうとしています。初めて体験する北国での生活に、家族ともども不安感を抱きながらの赴任でしたが、今ではすっかり当地にも慣れ、北国の生活に大満足しておおいに余暇をエンジョイしています。

昨年の冬は雪の降るのを待って、自宅より車で30分程のスキー場で、生まれて初めてのスキーを体験しました。(ちなみに昨年は20回程スキー場に足を運ぶ)春先からは雪解けを待ってゴルフに熱中。ほぼ毎週土曜日はコースに出て、合間をみては観光地に家族を案内し、家庭サービス(9)に努めています。昨冬覚えたスキーの腕をさらに上達させるべく、シーズンが待ち遠しい今日この頃です。



す。少食を旨としその分アルコールで補い、もう少し頑張りたいと思っております。

『澱江』の発展を祈る

富吉 勇嗣 (35)

大阪にいながら同窓会の行事・活動に参加せず、大変恐縮してあります。私は、卒業と同時に念願の教師になることができました。これも、在学中の経大の諸先生方のご指導のたまものと感謝してあります。

全国的に中学校も落ち着いてきているようですが、まだまだどの学校も大変です。毎日悪戦苦闘の連続です。生徒達の成長のために負けずに頑張ります。

『澱江89』の表紙の校舎懐かしく拝見し、有意義な4年間を過ごした青春時代を思い出しました。経大・澱江のご発展を祈ってペンをおきます。

昼寝・音楽・散歩

佐々木 雄三 (36)

① 私の余暇は、専門以外の読書(歴史小説)です。就寝前1時間読むのが日課。
② 私の健康法・ストレス解消法は、

ストレス・ケアはペットを相手に

高見 利典 (39)

卒業後、裁判所に入所して早くも17年が経ちました。昨年春に管理職(主任書記官)となり、順調に出世(9)しています。しかし、仕事の内容は能力以上のこと、ストレスの蓄積することが多くなり、飲酒の機会も多く、身体面の健康管理は全くおろそかなものです。そんな中で、精神面の健康管理こそ一番大切と考え、ニワトリ、チャボ、犬とにぎやかに飼育。それらの世話の間だけでも仕事を忘れて、気持ちの切り換えを...と考えています。

アウトドアライフを楽しむ

坂辻(大塩) 千代子 (41)

経大同窓会の皆さん「今日は」、今回『澱江』の投稿依頼を受けて何を書こうかと戸惑ってしまいました。健康法というほどでもないのですが、学生時代からスポーツが好きで、冬はスキー、夏は海へと3人の子供達とアウトドアライフを楽しんでいます。

長女の小学校入学を機会にママさんバレーを始めました。もう10年になります。たいしてうまくありません。

昼食後、約1時間仮眠をとる。クラシック音楽(モーツァルトなど)を聞く。早朝の散歩(午前6時前後)
③ 同窓会にまつわる町の情報。尼崎は山本学長、磯野同窓会会長が在任されているので、支部総会では毎回、両先生にお目にかかれてうれい事です。

切望、「総合大学」への道

片野 勉 (36)

昨年9月に開設された老人保健施設へと異動勤務し、現在は当施設の基盤作りに取り組んでいるところで、余暇も有効に利用できない状態です。子供たちも高校・大学受験の年齢です。それが終わってから皆でゆっくり旅行にでも出かけたことを考えております。

『澱江』については、経大の関係者がわが大学を発展させるために熱意をもって取り組まれている姿に感動しております。経大がぜひとも有名私大、そして総合大学への道をすすんでくれることを切望し、新潟からも経大出身者を多く輩出できることを祈っております。

私の場合、夫も同期の経大生で、同じ2部ワンダーフォーゲル部でした。夫は10年ほど前からフルマラソンを始め、今ではトライアスロンに挑戦しています。これからもできるだけ体を動かして若さを保ちたいと思っています。

同期の皆さん、この文章が目にとまったら連絡をください。

大阪の変貌に驚き

村上 隆志 (42)

毎年『澱江』をお送り下さいます。ありがとうございます。恥かしながらかの「淀川」のこととは最近まで知りませんでした。

昨年の特集レポート「変貌する大阪」はたいへん興味深い内容で、在学当時と比べてみて驚くばかりです。ただ記事としてはもう少し現役学生のものがあったらいいような気がします。益々充実したものにして下さい。最後に読者の皆様にひとこと。多額の経費を要する機関紙の発行のため購読料の協力をいたしましょう。



いつまでも「若い」理由

山路(西條) エイ子 (38)

卒業以来、この『澱江』が届くと「北から南から」の中に知人の名を見つけて、なつかしんでおります。私は、結婚後、主人(経大卒業生です)の珠算教室を手伝っています。腕白ざかりの小学生を相手に自分の年齢も忘れて笑ったり、はしゃいだり...。いつまでも気持ち若いののは、この仕事のお陰でしょうか。子育ても一段落した現在、主人と

“大きな声”でストレス解消

冬紫 豊(43)

卒業して早いもので、14年目の夏を迎えています。現在は妻と娘2人、そして父親とのどかな田舎で暮らし、私は中学校で教鞭を執っています。余暇の利用、健康法、ストレス解消法、ということに投稿の依頼をうけました。特にこれといって夢中になっていないものはないのですが、気の向いた時にゴルフやテニスをする他、3年前に鈴鹿混声合唱団が結成されると同時に入団し、週に1度大きな声を出して鈴鹿へと車を走らせています。

定期券に憧れていた、あの頃

長木(神原) 栄里子(43)

大学を卒業してから早や13年が経ちました。主人と結婚して11年、夫の転勤で広島、鳥取、岐阜、名古屋と引っ越しを繰り返しています。幼稚園から大学まで徒歩通学だった私は、通学定期に強い憧れを持っていました。それが今では引っ越しの連続で、東へ西へと…皮肉なものです。

年に2回は大阪の実家に帰り、子供といっしょに大経大のまわりを散歩しながら昔を懐かしんでいます。実家や大学の周辺もすっかり変わってしまい、自分もトシをとったものだと、時代の流れを感じています。

過ぎたことはクヨクヨしない

吉田(宮崎) 悦子(45)

54年2部卒業の皆さん、お元気でですか? 経大を出てもう12年。夢中で過ごしてきたように思います。今、私は自治体職員として働きますが、小2と4歳の子供を育てています。仕事と家庭の両立でストレスはたま一方ですが、解消となるとお金、ヒマ、体力と無いものづくしです。今は、過ぎたことにクヨクヨしないことと、2・3カ月に一度は自分のために休みをとり、ゆっくり家の用事を片付けるといったことが唯一の方法です。いつかゆとりができたなら、のんびりスポーツでも楽しみたいと思う今日このごろです。

登山をされては

荒木 浩二(49)

つい先日卒業したばかりと思っていました。はや三十路を迎えてしま

まいました。

話は変わりますが、先日家内と2人で立山登山をしました。富山県では、越中の昔より、男子16歳になると立山に登頂し、一人前の男とみなされるという習わしがあります。私も小学校6年のときに登山する機会を得ましたが、天候不順により一ノ越(標高3,690米)より引き返し、頂上を窮めることができませんでした。今回は雲一つない快晴で頂上を窮めることができ、30歳にしてようやく「男」となりました。

また、山頂からの北アルプスの眺望は筆舌に尽くし難いほどの素晴らしさでした。今度は剣岳を目指したいと思っています。大経大OBの皆さんも機会があればぜひ一度アルプスの登山をされてはいかがでしょう?

運動部の活躍に期待

笹岡 吉久(49)

①私の余暇の過ごし方は、健康法、ストレス解消法と一体的なものとなるかも知れませんが、現在はもっぱら「ゴルフ」を楽しんでいます。②隣の某君が2年前、経大に入学したことを某君の母から聞いてうれしく思ったのに続き、今年は遠縁にあたる子も経大に入学。③やはり運動部が活躍した年の「瀬江」は活気があるものですね。

経大出身者が仕事の励みに

桑原 秀(54)

豊中市北消防署に勤務して2年になります。私のいる「第2消防係」というところには、他にも経大卒の先輩が若干名おられます。在学中のクラブ活動も違うので、当然共通の話題も少なく、お互いに大学の頃の話が出て来るとテンションカンペンですが、それでも同じ大学出身の人がいるというだけで大変こころ強く、仕事の励みになっています。

睡眠、おしゃべり、そのほか

石塚 ひとみ(54)

休みの日は友人とショッピングへ行ったり、近くにハイキングに行ったりです。健康法は特にありませんが疲れたなと思った時は、早く家に帰って十分に睡眠をとることで。ストレス解消法の一つは友人とおしゃべりで、あとはお酒を飲みに行ったり、カラオケに行ったりすることです。

事務局だより

経営情報学科の新設に伴う

記念事業への協力お願い

110500

母校・大阪経済大学は、従来経営学部経済学科・経営学部経営学科の2学部2学科制の大学でしたが、新しい飛躍を目指して来年4月から、経営学部経営情報学科が新設されることとなりました。

従って、2学部3学科制となり、現在、大隅校地のテニスコート跡に新学科のための新しい学舎を建設中で平成3年3月末に完成の予定です。(グラフィック参照)

同窓会では、この新しい学科の新設、新学舎の完成を記念しての記念事業を計画していましたが、学校当局とも相談の結果、50周年記念の際に後援会から「雲に向かつて雲に立つ」、同窓会から「風に向かつて風に立つ」という、世界的に有名な彫刻家流政之先生の彫像を寄贈したことは皆さん既にご承知の通りであります。が、「風雲を乗り越えて花咲く学園」となることを願って、流先生に今一つ新しいイメージの彫像の製作をお願いして、それを新学舎のシンボルと

して学校に寄贈することとしました。

その製作については、既に流先生のご快諾を得ています。

ついでには、平成3年新春早々から、この彫像寄贈にご協力くださる有志の方々を募りたいと思っております。

詳細は別紙趣意書でお願いする予定ですが、皆さんの絶大なご支援・ご協力をお願いいたします。

◆「黒正巖先生の遺稿集」◆

この書籍は、黒正家から先生の戦後のご活躍ぶりの一端をうかがうことのできる資料をご提供いただき、黒正先生のご高弟で、黒正先生が京都大学農学部創設された農史講座を継承された三橋時雄先生(京都大学名誉教授)のお力添えを得て、日本経済史研究所から発刊されました。

その内容は、戦後から逝去されるまでの短い期間のものです。が、研究に、青年の教育に情熱を傾けられた先生の面影を偲ぶことのできる貴重なものだと思います。

(A5サイズ、177頁)

◆頒価一冊1,500円(送料込)

「卒業」「成績」証明書等の申し込み方法

卒業生の皆さん、各種証明書を申し込まれる場合は、日数に十分な余裕をもって、左記の要領でお申し込み下さい。特に、英文による証明書には学長のサインが必要のため、10日以上余裕をもってお申し込み下さい。

- ① 来学して申し込む場合
所定の用紙で申し込んでいただく、約10分でお渡しいたします。
- ② 郵便にて申し込む場合
(手数料1通につき、100円)
氏名、生年月日、卒業学部(1・2部の別)、卒業年度、証明書の種類、必要枚数を記入したメモと、切手(手数料同右、送料62円)を同封のうえお申し込み下さい。
- ③ 英文による証明書の場合
右記②と同様です。ただし、手数料が一通200円となります。なお、パスポートに記載の英字氏名を明記して下さい。

異動のあったときは
ただちにご連絡ください。

- 住所変更 ●呼称変更
 - 勤務先変更 ●所属部課
 - 役職異動 ●電話番号変更
- などの場合は、同封してあります「名簿作成調査表」をご利用のうえ、本部へお届けください。
- とくに、官公庁、金融機関、損保関係、国公立学校にご勤務の会員のご協力をお願い申し上げます。

コンピュータシステムの名簿をご利用ください。

同窓会会員名簿は、現在、同窓会独自でシステム化したコンピュータによる管理体制を採用しておりますので、

- 1、郵便番号による都道府県
 - 2、ゼミ別会員名簿作成
 - 3、卒業回数別会員名簿作成
 - 4、クラブ別会員名簿作成
 - 5、業種別会員名簿作成
 - 6、封筒用漢字ラベル作成
- などのアウトプットが可能です。会員の皆さん、大いにご利用ください。

事務局だより

「あいさつ」

お礼とおわび
比企 重(ア)

同窓会に因与させていたただいてから約50年が過ぎました。この間、今日まで、本当にいろいろのことがありまして。そして、「私は同窓会の生き字引」と一人で自画自賛しておりましたが、いつの間にか70歳を過ぎ、私の信条の一つであった「若きキャビネットへのスムーズな世代交代」の実現に微力ながら努力をしてまいりましたが、その期を逸して今日にいたり、生恥をさらし、苦しい日々を送っております。

3年前の(昭和62年度)の役員改選後の常任理事会において、事務局長職を陰下氏に、そして私は副会長に任命されました。この議案が可決されたときに、今までご支援いただいていた会員の皆様(もちろん、支部の会員を含め)にごあいさつ申しあげべきところ、前述の命題(若きキャビネット)の一つでも解決してからと、ごあいさつが遅れたため、皆様に大変ご心配をおかけし、沢山の激励のお言葉をいただきましたことを心からお礼申しあげます。しかし、それが、一部では、誤解を招く一



比企前事務局長

因にもなっていたように漏聞いたしました。

そこで、今期の理事会での役員改選における常任理事・副会長という執行部職から、顧問という執行部外職の議決をみずからも喜んで拝受した次第です。なぜなら、私の心底に存在している「長の23は対外的に年配者が必要であるとしても、執行部はすべて若良識者で」という、私の命題の一つが観念論的に止揚されるように聞いていたからです。

しかし、これはあくまで私論であって、同窓会という会は母校の存在のいかんを問わず、恒久的に不滅の会であり、利害無縁の「和」の会でなければなりません。私、一人のことで、いろいろご心配をいただきました会員の皆様に、心からお礼申しあげますとともに、この公文でご諒解下さいますようお願いとお礼を申しあげます。

皆様と一緒に「融和」の精神で、母校の発展に協力しましょう!!。

私も、執行部からはずれましたが、従前通り「おい、比企」とお気軽になんでもお申付け下さい。この世に生がある限り、比企は比企として公私ともに健在です。遅くなりましたが、事務局長辞任と顧問就任のあいさつと、永年のご愛顧に心からお礼を申しあげますとともに、伏してお詫び申し上げます。本当に永年ありがとうございました。

「澱江」購読料のお願い

「自らの購読料で、『澱江』を育てよう!」1,000円にご協力をお願いします。昭和59年度からスタートしました澱江購読料は、お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。

われわれ編集子一同は、この力強いご声援に励み、親しまれる『澱江』を目指し、一ふんばり、二ふんばり頑張っております。ですので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いたします。(ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。郵便局、三和銀行本支店をご利用になれば振込手数料は不要です。)

編集後記

▼「母校で再会、学生気分」を合言葉に、本年も大学で開催された総会。学園祭の熱気と新学科新設の槌音に、活気溢れんばかりでした。▼淡路島、熊本に支部が誕生、全国で37支部となりました。支部ガイド「同窓会のしおり」改訂版を同封しました。ご利用ください。▼本年度の『澱江』いかがでしょうか。若手スタッフの新機軸をお楽しみ下さい。澱江購読料へのご協力もお願いいたします。▼表紙はしばらく、同窓生の作品で飾りたいと思っております。自薦他薦をお待ちします。▼数々のご投稿、直撃インタビュー等でご協力いただいた方々に感謝し、やむなく原稿を掲載できなかった方に心から深謝します。

逍遙歌

作詞 中村行男 (16回卒)
作曲 松川圭一 (15回卒)

1. 此处 城北に迎えたる
紺碧淀の春の夢
惜春の賦のただよえば
薫風静かに流れ来て
逝きし苦節の十余年
歴史は吾等に教うなり

2. 水や濁れる人の世に
真理求めて遊ぶ子の
友愛久遠に変わるまじ
汝が悲しみに我は泣き
吾が喜びに君や舞う
惜しみて励め我が青春を

3. 踏めば小草も柔き
弥生の庭に集い来し
我が学舎の乙女子は
生命新たな此の曲に
花咲く野山花の下
声美しく歌うかな

学歌

作詞 秋本吉郎 (元本学教授)
作曲 柴田南雄 (放送大学教授)

1. 大淀の 水は春ゆく ゆたかな春だ
芽立つ葦原 緑が泌みる この若さ
希望は明るい 蒼穹かけて
永遠の青春 みなぎる学園
大阪 大阪経済大学

2. 大樟の 蔭は裕々 夏風そよぐ
学徒師弟が 幹負いもちて 諸汗に
確かと植えた 融和の象徴
繁れ自由の 花さく学園
大阪 大阪経済大学

学園歌

作詞 黒正 巖 (昭和高商初代校長)
作曲 水野康孝 (元本学教授)

1. 商都の東北澱江に 臨みて高く聳り立つ
我等が昭和学園は 産業日本を双肩に
担うて進む若人の 力の糧の広野原

澱江
1990

■発行日 1990年12月25日
■編集 同窓会広報部
■発行所 大阪経済大学同窓会
〒533大阪市東淀川区大隅2-2-8
電話(06)328-2431
■印刷 凸版印刷株式会社
〒553大阪市福島区海老江3-22-61
電話(06)454-3256

經